

令和6年度

# 岩手大学農学部年報

---

Vol.30

IWATE UNIVERSITY

---

2024

岩手大学農学部



## 農学部年報第 30 号の刊行によせて

岩手大学農学部長 小出章二

本誌は、令和 6 年度（2024 年度）における農学部の全活動を網羅したデジタル年報です。本誌をご覧いただければ、この一年間に本学部教員が取り組んだ教育・研究活動の詳細をご理解いただけることと存じます。学部のアイデンティティを形作るのは、まさにこれら教育・研究活動に他なりません。本誌では、各教員名の右側に付した「岩手大学研究者総覧」および「researchmap」へのリンクをクリックすることで、個々の活動実績を即座に参照できるようになっております。本誌は学部ホームページでも公開しており、デジタルの特性である検索性・保存性・共有性を活かして、学内はもとより地域、国内、そして世界へと、私たちの活動を広く発信してまいります。

さて令和 6 年度は次年度の獣医学部の新設および農学部の改組を控え、新カリキュラムの作成や、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの策定などに多くの時間を費やした一年でもありました。多忙な状況下ではあったかと存じますが、例年と変わらず教育・研究活動を推進された教職員各位のご尽力に対し、深く敬意を表します。加えて、令和 7 年度の獣医学部設置に伴い移られる共同獣医学科の先生方には、今日までの農学部における多大なご功績に対し、厚くお礼を申し上げる次第です。

結びに、本誌に掲載された新しいアイデアや手法、原理、考察の数々が、農学部発のイノベーションを創出する一助となることを願っております。皆様の積極的なご活用をお願い申し上げます。

令和 8 年 3 月



# 目 次

## 農学部年報第30号の刊行によせて

### I 令和6年度の活動概要

1	トピックス	3
2	年間主要行事	5
3	広報等活動状況	7

### II 教員・スタッフ

1	学部教員	
(1)	植物生命科学科	11
(2)	応用生物化学科	12
(3)	森林科学科	13
(4)	食料生産環境学科	14
(5)	動物科学科	15
(6)	共同獣医学科	16
2	附属施設教員	
(1)	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	18
(2)	附属畜産飼料総合教育研究センター	18
(3)	附属動物病院	18
(4)	附属動物医学食品安全教育研究センター	18
3	技術部	19
4	学会等の開催	23
5	研究助成	24
6	非常勤講師	27
7	委員会一覧	33

### III 学 生

1	入試	
(1)	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等	37
(2)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点	37
(3)	入学者選抜状況	38
(4)	学校推薦型選抜入学選抜状況	39
(5)	植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況	39
(6)	大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況	39
2	カリキュラム	
(1)	植物生命科学科	42
(2)	応用生物化学科	43
(3)	森林科学科	44
(4)	食料生産環境学科	45
(5)	動物科学科	48
(6)	共同獣医学科	49

3	学部学生	
	(1) 入学年度別在籍者数	50
	(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講生受入状況	50
	(3) 卒業生数	51
	(4) 卒業者の進路状況	52
4	大学院修士課程	
	(1) 在籍者数	53
	(2) 修了者数	53
	(3) 修了者の進路状況	54
	(4) 修士論文一覧	54
5	大学院博士課程	
	(1) 岩手大学大学院獣医学研究科	57
	(2) 岩手大学大学院連合農学研究科	57
<b>IV</b>	<b>国際交流</b>	
1	海外渡航	63
2	外国人研究者の受入	65
3	留学生の受入	65
4	海外派遣と受入	66
<b>V</b>	<b>地域交流</b>	
1	セミナー・公開講座等の開催	69
	(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの	69
	(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの	72
	(3) 公開講座等	74
2	その他の地域連携事業	77
	(1) いわてアグリフロンティアスクール	77
	(2) AFR（岩手農林研究協議会）	79
3	受託研究員の受入	80
<b>VI</b>	<b>附属施設</b>	
1	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	83
	1-1 地域フィールド総合科学分野	
	(1) 概要、教育研究の内容	
	(2) 地域貢献	
	1-2 持続型農業生産技術分野（滝沢農場，御明神牧場）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 実習等	
	(4) 土地利用計画	
	(5) 家畜	
	(6) 農畜産物売払高	
	1-3 循環型森林管理技術分野（御明神演習林，滝沢演習林）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 御明神演習林	
	(4) 滝沢演習林	
	(5) 林産物の販売	
2	畜産飼料総合教育研究センター	88

	(1) 概要	
	(2) 活動内容	
3	附属動物病院	89
	(1) 概要	
	(2) 診療状況	
	(3) 臨床教育の内容	
4	附属植物園	93
	(1) 概要	
	(2) 主な構成	
	(3) 園内概況	
5	附属農業教育資料館	96
	(1) 概要	
	(2) 展示資料	
	(3) 入館者数	
	(4) 農業教育資料館蔵資料の他施設・団体への貸出実績	
6	附属動物医学食品安全教育研究センター	98
	(1) 概要	
	(2) 活動内容	
7	附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター	101
	(1) 概要	
	(2) 活動内容	
<b>VII 事務組織等</b>		
1	事務組織	107
2	令和6年度予算関係	107
3	職員の動向	108
	(1) 教育職員	
	(2) 事務職員	
	(3) 技術職員	

# I 令和6年度の活動概要



# 1. トピックス

## 【附属畜産飼料総合教育研究センターの設置】

畜産飼料の供給・流通に関する諸問題の抜本的な解決を目指し、日本の食料安全保障に資することを目的とし、令和6年6月1日に附属畜産飼料総合教育研究センター（略称：AFSeC）が設置された。同センターは、飼料生産・流通部門、飼養管理部門、データサイエンス部門及び企画調整部門の4部門で構成され、新しい飼料供給・流通モデルの開発、雑穀などの新規飼料原料の活用や魚粉などの既存飼料原料の品質改善等による新規畜産飼料の開発、そして飼料給与法など家畜飼養に関する技術革新に取り組んでいく。

初代センター長には、動物科学科の澤井健教授が就任し、7月4日には看板除幕式を、12月18日には開設記念キックオフシンポジウムを開催した。

## 【国際交流】

### (1) アメリカオーバン大学との学術交流

平成10年に締結された「学術交流に関する協定書」に基づき、学術交流の一環として平成16年から学生交流が行われている。令和6年度は、9月5日から25日の間、共同獣医学科の学生1名を派遣した。

### (2) カナダサスカチュワン大学との学術交流

平成25年3月1日に締結された岩手大学とカナダサスカチュワン大学との大学間学術交流協定に基づき、岩手大学農学部とカナダサスカチュワン大学言語センターとの学生派遣に関する合意を平成26年2月20日に締結し、学生の派遣を開始した。令和6年度は、派遣学生の募集を再開したものの、円高等の情勢から希望学生数が最少催行人数に達せず、中止となった。また、岩手大学イーハトーブサマープログラム（農学コース）を実施し、サスカチュワン大学から引率教員含め16名を受け入れた。

### (3) ドイツロッテンブルグ大学との学術交流

平成25年11月6日に締結、令和5年9月19日に更新された岩手大学農学部とドイツロッテンブルグ大学との学術交流協定に基づき、学生の派遣を行っている。令和6年度は、9月16日から23日の間、森林科学科の学生1名及び総合科学研究科地域創生専攻の大学院学生3名を派遣した。

### (4) 中国協定校等への訪問及び吉林大学との学術交流協定締結

令和6年12月1日から5日の間、農学部教員3名が学長に同行し、中国を訪問した。協定校である吉林農業大学及び福建農林大学において懇談・視察を行った。また、吉林大学への訪問の結果、協定締結を進める運びとなり、令和7年3月27日に大学間学術交流協定が締結された。

### (5) タイスラナリー工科大学農業技術学部との学術交流協定締結

令和6年9月19日に岩手大学農学部とスラナリー工科大学農業技術学部との学術交流協定が締結された。

### (6) インドネシアIPB大学との学術交流協定締結

令和7年3月4日にIPB大学との大学間学術交流協定が締結された。

## 【研究助成】

### (1) 共同研究

令和6年度における民間等との共同研究は33件行われ、岩手県内の企業等から5件であった。

### (2) 受託研究

令和6年度には19件行われ、独立行政法人の研究機関から10件であった。

## 【評議員、副学部長及び附属施設長の交代等】

教育研究評議会の組織の見直しに伴い、令和5年度までは各学部評議員が3名、うち1名が副学部長という体制であったが、令和6年度からは各学部副学部長が3名、うち1名が評議員という体制に変更となった。

### (1) 評議員の就任

澤井健教授が令和6年4月1日付けで就任した。

(2) 副学部長の就任

木崎景一郎教授、小出章二教授及び澤井健教授が令和6年4月1日付けで就任した。

(3) 附属寒冷フィールド教育研究センター長の就任

前任者の任期満了に伴い、山本信次教授が令和6年4月1日付けで就任した。

(4) 附属畜産飼料総合教育研究センター長の就任

同センターの設置に伴い、澤井健教授が令和6年6月1日付けで就任した。

**【その他】**

(1) 附属農業教育資料館特別公開及び土日祝日の公開

令和6年11月3日（日・祝）の文化の日を記念して、農業教育資料館の特別公開（無料開館）が行われ、期間中多くの入館者が訪れた。また、令和6年4月27日（土）から11月3日（日・祝）（全学一斉休業期間を除く。）まで、土日祝日も一般公開を行った。

(2) 授業公開及び教育・進路懇談会の開催

1年次、2年次及び就職を控えた3年次（共同獣医学会は5年次）学生の保護者を対象に、令和6年11月11日（月）から15日（金）まで授業公開を行い、11月16日（土）に教育・進路懇談会を開催した。懇談会当日は、全体懇談会のほか各学科の教員による個別面談も行われ、60名の保護者が訪れた。

## 2. 年間主要行事

年月日	曜日	事項
令和6年		
4. 5	金	入学式
4. 8	月	新入生オリエンテーション
5.23	木	いわてアグリフロンティアスクール開講式
6. 1	土	開学記念日
6. 8	土	公開講座「パピークラス@岩手大学」（7月6日までの毎週土曜日）
6.28	金	令和7年度岩手大学農学部（森林科学科、共同獣医学科を除く4学科）編入学試験
7. 2	火	令和7年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻推薦入学試験
7. 4	木	附属畜産飼料総合教育研究センター看板除幕式
7. 6	土	公開講座「農学部5学科（植物生命科学科、応用生物化学科、森林科学科、食料生産環境学科、動物科学科）の実験講座」
7.31	水	公開講座「大学農場で体験する食と農と生物学」（滝沢農場）
8. 5	月	夏季休業（9月30日まで）
8. 6	火	オープンキャンパス
8.21	水	令和6年10月入学・令和7年4月入学第1期岩手大学大学院総合科学研究科入学試験（22日まで）
8.23	金	令和6年10月入学・令和7年4月入学第1期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
9. 5	木	令和6年10月入学・令和7年4月入学第1期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
9.25	水	令和6年9月岩手大学卒業・修了式、連合農学研究科学位記伝達式
10. 1	火	令和6年10月入学式
10. 5	土	附属農業教育資料館特別企画「銀河鉄道の父 鑑賞会」
10.16	水	動物慰霊祭
10.21	土	公開講座「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」（滝沢演習林）
11.11	月	岩手大学農学部授業公開（15日まで）
11.16	土	令和6年度岩手大学農学部教育・進路懇談会
11.20	水	令和7年度岩手大学学校推薦型選抜（共同獣医学科を除く5学科）
12.12	金	山神祭（滝沢演習林）
12.18	水	附属畜産飼料総合教育研究センター開設記念キックオフシンポジウム
12.25	水	冬季休業（1月5日まで）
12.27	金	令和7年度岩手大学農学部総合型選抜（動物科学科を除く5学科）
令和7年		
1.18	土	大学入学共通テスト（19日まで）
1.28	火	令和7年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科第2期入学試験（29日まで）
1.30	木	令和7年4月入学第2期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
2. 6	木	令和7年4月入学第2期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
2.12	水	いわてアグリフロンティアスクール修了式
2.18	火	附属動物医学食品安全教育研究センター成果発表会
2.25	火	令和7年度岩手大学一般選抜（前期日程）

年月日	曜日	事項
3.12	水	令和7年度岩手大学一般選抜（後期日程）
3.24	月	令和6年度岩手大学学位記授与式、連合農学研究科学位記伝達式
3.25	火	春季休業（31日まで）

### 3. 広報等活動状況

種 別	日 程	高 校 名	対 応 者
大学見学	5月21日	古川学園高等学校	斎藤 靖史
	6月25日	盛岡中央高校	関 まどか
	7月9日	盛岡第二高等学校	松嶋 卯月・森田 智也
	7月23日	岩手県立花泉高等学校	出口 善隆
	7月24日	宮古高校	當山 啓介
	8月26日	一関修紅高等学校	出口 善隆
	9月18日	千厩高校	出口 善隆
	9月26日	遠野高校	横山 拓矢
	10月11日	横手城南高校	白旗 学
	10月17日	岩谷堂高等学校	河村 幸男
	10月24日	大迫高校	関 まどか
出前講義	6月4日	岩手県立花巻北高等学校	山崎 真大
	6月19日	青森県立三沢高等学校	村元 隆行
	7月3日	岩手県立大東高等学校	村元 隆行
	7月8日	岩手県立一関第一高等学校 (SSH)	関 まどか
	7月29日	東京都立農芸高等学校	武藤 由子
	9月3日	青森県立三本木高等学校	澤井 健
	9月3日	青森県立田名部高等学校	小林 沙織
	9月11日	岩手県立宮古高等学校	斎藤 靖史
	9月12日	青森県立五所川原高等学校	下野 裕之
	9月12日	青森県立青森東高等学校	一條 俊浩
	10月3日	岩手県立福岡高等学校	村元 隆行
	10月10日	愛知県立安城東高等学校	八重樫 元
	10月23日	福島県立橘高等学校	下野 裕之
	10月24日	青森県立青森高等学校	斎藤 靖史
	10月25日	福島県立郡山東高等学校	畠山 勝徳
	10月29日	宮城県古川高等学校	佐原 健
	10月31日	秋田県立秋田北高等学校	木村 賢一
	10月31日	静岡県星陵高等学校	木村 賢一
11月1日	市立札幌藻岩高等学校	小出 章二	
12月6日	青森県立弘前高等学校	飯田 俊彰	
12月12日	茨城県立水戸第二高等学校	伊藤 芳明	



## Ⅱ 教員・スタッフ



## 1. 学部教員

### (1) 植物生命科学科

#### ■教授

磯 貝 雅 道 (Isogai, Masamichi)	1999 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
河 村 幸 男 (Kawamura, Yukio)	2009 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
小 森 貞 男 (Komori, Sadao)	2001 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
佐 原 健 (Sahara, Ken)	2012 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
下 野 裕 之 (Shimono, Hiroyuki)	2007 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
立 澤 文 見 (Tatsuzawa, Fumi)	2009 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
中 村 勝 則 (Nakamura, Katsunori)	2024 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
畠 山 勝 徳 (Hatakeyama, Katsunori)	2015 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
ラーマン アビドゥール (RAHMAN Abidur)	2006 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

#### ■准教授

川原田 泰 之 (Kawaharada, Yasuyuki)	2016 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
松 波 麻 耶 (Matsunami, Maya)	2017 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
八重樫 元 (Yaegashi, Hajime)	2021 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

#### ■講 師

安 嬰 (An, Ying)	2001 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
----------------	----------	---

## (2) 応用生物化学科

### ■教授

伊藤 菊一	(Ito, Kikukatsu)	1994年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
伊藤 芳明	(Ito, Yoshiaki)	1999年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
木村 賢一	(Kimura, Ken-ichi)	2001年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
鈴木 雄二	(Suzuki, Yuji)	2017年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
西山 賢一	(Nishijyama, Ken-ichi)	2010年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
宮崎 雅雄	(Miyazaki, Masao)	2012年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山下 哲郎	(Yamashita, Tetsuro)	1994年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山田 美和	(Yamada, Miwa)	2011年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

### ■准教授

ウィリヤサムクン パッタマ (WIRIYASERMKUL PATTAMA)		2023年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
斎藤 靖史	(Saitoh, Yasushi)	1999年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
立石 貴浩	(Tateishi, Takahiro)	2002年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

### (3) 森林科学科

#### ■教授

國崎 貴嗣	(Kunisaki, Takashi)	1997年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
小藤田 久義	(Kofujita, Hisayoshi)	1994年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
齋藤 仁志	(Saito, Masashi)	2019年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
真坂 一彦	(Masaka, Kazuhiko)	2017年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

#### ■准教授

伊藤 幸男	(Ito, Sachio)	1997年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a>
阪上 宏樹	(Hiroki Sakagami)	2024年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
當山 啓介	(Toyama, Keisuke)	2023年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
松本 一穂	(Matsumoto, Kazuho)	2023年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山内 貴義	(Yamauchi, Kiyoshi)	2017年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

#### ■講師

東 淳樹	(Azuma, Atsuki)	2000年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
松木 佐和子	(Matsuki, Sawako)	2006年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

#### ■助教

山崎 遙	(Yamazaki, Haruka)	2020年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
------	--------------------	---------	---

#### (4) 食料生産環境学科

##### ① 農村地域デザイン学コース

###### ■教授

飯田俊彰 (Iida, Toshiaki) 2020年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

###### ■准教授

荒木笙子 (Shoko Araki) 2024年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

杉田早苗 (Sugita, Sanae) 2023年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

濱上邦彦 (Hamagami, Kunihiko) 2011年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

武藤由子 (Muto, Yoshiko) 2006年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

山本清仁 (Yamamoto, Kiyohito) 2009年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

##### ② 食産業システム学コース

###### ■教授

小出章二 (Koide, Shoji) 1996年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

###### ■准教授

折笠貴寛 (Orikasa, Takahiro) 2012年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

前田武己 (Maeda, Takeki) 2001年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

松嶋卯月 (Matsushima, Uzuki) 2005年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

###### ■助教

舛谷悠祐 (Yusuke Masuya) 2024年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

##### ③ 水産システム学コース

###### ■教授

袁春紅 (YUAN, Chunhong) 2016年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

平井俊朗 (Hirai, Toshiaki) 2016年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

下瀬環 (Tamaki, shimose) 2024年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■准教授

石村学志 (Ishimura, Gakushi) 2015年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)  
塚越英晴 (Tsukagoshi, Hideharu) 2016年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(5) 動物科学科

■教授

澤井健 (Sawai, Ken) 2007年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)  
出口善隆 (Deguchi, Yoshitaka) 2002年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)  
西向めぐみ (Nishimukai, Megumi) 2013年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)  
村元隆行 (Muramoto, Takayuki) 2006年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■准教授

藤井貴志 (Fujii, Takashi) 2023年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)  
牧野良輔 (Makino, Ryosuke) 2023年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■助教

斎藤梨絵 (Rie, Saito) 2024年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(6) 共同獣医学科

■教授

一條 俊 浩	(Ichijo, Toshihiro)	2016 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a>
落 合 謙 爾	(Ochiai, Kenji)	2014 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
木 崎 景一郎	(Kizaki, Keiichiro)	2004 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
佐 藤 洋	(Satoh, Hiroshi)	2015 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
佐 藤 雪 太	(Satoh, Yukita)	2023 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
高 橋 透	(Takahashi, Toru)	2013 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
古 市 達 哉	(Furuichi, Tatsuya)	2012 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
村 上 賢 二	(Murakami, Kenji)	2012 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山 崎 真 大	(Yamasaki, Masahiro)	2014 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

■准教授

大 沼 俊 名	(Ishiguro-Oonuma, Toshina)	2016 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
関 まどか	(Ichikawa-Seki, Madoka)	2013 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
高 橋 正 弘	(Takahashi, Masahiro)	2014 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
中 牟 田 信 明	(Nakamuta, Nobuaki)	2007 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
宮 崎 珠 子	(Miyazaki, Tamako)	2021 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
森 田 智 也	(Morita, Tomoya)	2020 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山 崎 朗 子	(Yamazaki, Akiko)	2015 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山 田 慎 二	(Yamada, Shinji)	2019 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
山 田 美 鈴	(Yamada, Misuzu)	2007 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a>
横 山 拓 矢	(Yokoyama, Takuya)	2023 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

## ■助 教

金 澤 朋 美	(Kanazawa, Tomomi)	2021 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
小 林 沙 織	(Kobayashi, Saori)	2009 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
佐々木 淳	(Sasaki, Jun)	2007 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
中 田 浩 平	(Nakata, Kohei)	2021 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a>
藤 原 正 俊	(Masatoshi Fujihara)	2024 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
前 原 都有子	(Maehara, Toko)	2022 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>
宮 本 良	(Ryo Miyamoto)	2024 年赴任	<a href="#">岩手大学研究者総覧</a> ・ <a href="#">researchmap</a>

## 2. 附属施設教員

### (1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

#### ■教授

山本 信次 (Yamamoto, Shinji) 1997年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

#### ■准教授

渡邊 学 (Watanabe, Manabu) 2003年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

#### ■助教

白旗 学 (Shirahata, Manabu) 1991年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

高田 乃倫予 (Takada, Noriyo) 2022年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

### (2) 附属畜産飼料総合教育研究センター

#### ■准教授

平田 統一 (Hirata, Toh-ichi) 1992年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

### (3) 附属動物病院

#### ■教授

片山 泰章 (Katayama, Masaaki) 2005年赴任 [岩手大学研究者総覧](#)

#### ■准教授

星野 有希 (Hoshino, Yuki) 2017年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

#### ■助教

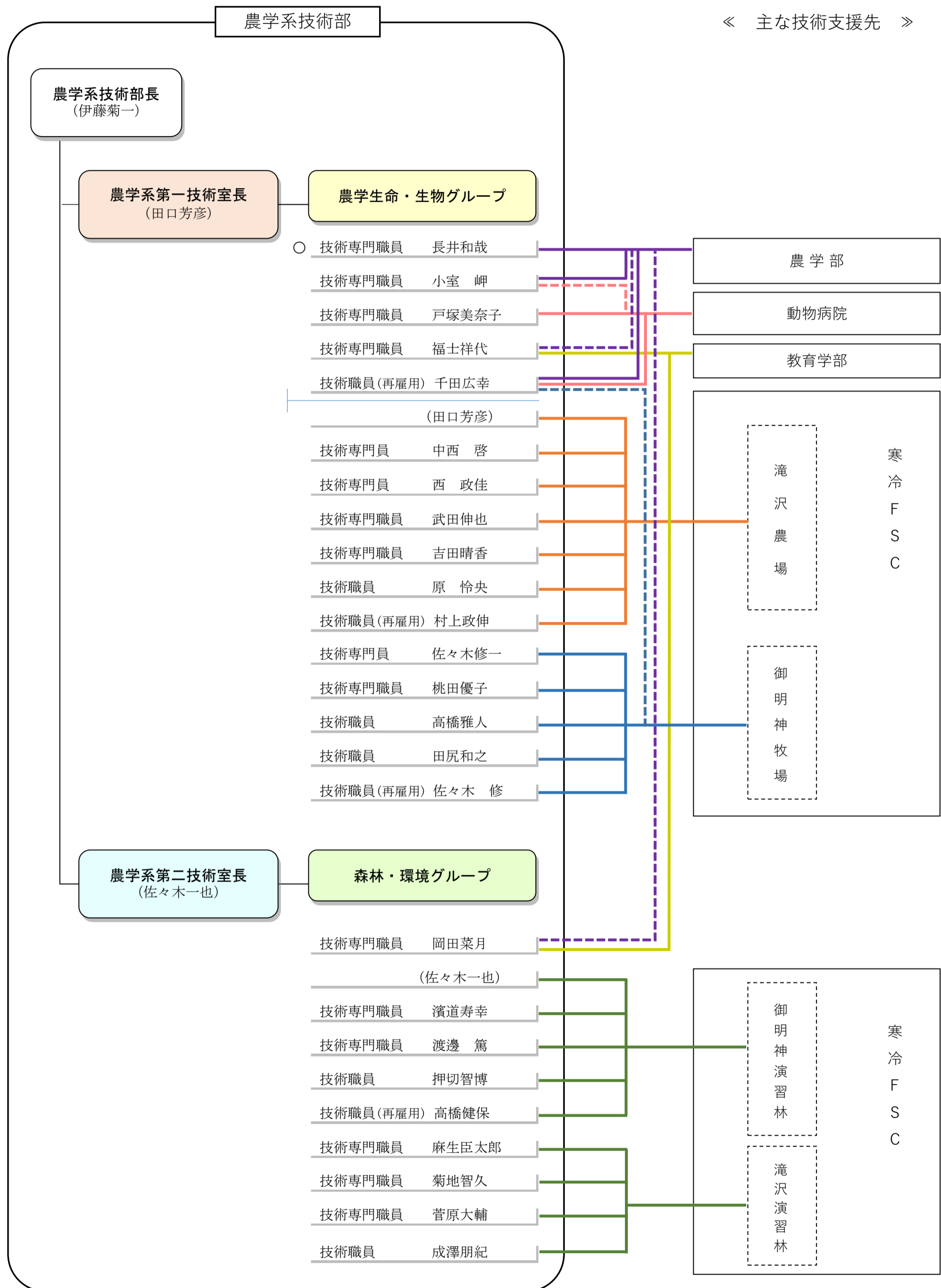
南雲 隆弘 (Nagumo, Takahiro) 2023年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

### (4) 附属動物医学食品安全教育研究センター

#### ■教授

佐藤 至 (Sato, Itaru) 1990年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

農学系技術部と主な技術支援先 (R6年度)



※ 記載は、グループ別主な技術支援先別職位別五十音順。○はグループリーダー。

氏名	赴任・職位	専門分野	学位／資格・免許等
<b>【農学系第一技術室】</b>			
長井和哉 Nagai, Kazuya	2006年 技術専門職員	分子生物学 分子生態学	博士（農学）（岩手大学） 第一種衛生管理者
小室岬 Komuro, Misaki	2010年 技術専門職員	花卉園芸学	修士（農学）（山形大学）／ 第一種衛生管理者，毒物劇物取扱者 （一般）
戸塚美奈子 Tozuka, Min	2007年 技術専門職員	臨床検査学	臨床検査技師，普通第一種圧力容器 取扱作業主任者技能講習修了
福士祥代 Fukushi, Sachiyo	2013年 技術専門職員	蔬菜・花卉 機器分析	修士（農学）（岩手大学）／ 第一種衛生管理者，毒劇物取扱者 （一般），フォークリフト
千田広幸 Chida, Hiroyuki	1979年 技術職員	飼料作物栽培学	大型自動車，けん引（農耕車）， ガス溶接，車輛系建設機械（整地 等），ボイラー技士（二級）
田口芳彦 Taguchi, Yoshihiko	1992年 技術専門員	作物栽培学	大型自動車，大型特殊自動車，フ ォークリフト，けん引，ボイラー 技士（二級），危険物乙種四類
武田伸也 Takeda, Sinya	1993年 技術専門職員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），日本農業技 術検定2級，フォークリフト
中西啓 Nakanisi, Akira	1992年 技術専門員	花卉園芸学， 蔬菜園芸学	毒物劇物取扱者（農業用品目）， 大型特殊自動車，第二種衛生管理 者，日本農業技術検定2級，フォ ークリフト
西政佳 Nishi, Masayoshi	1992年 技術専門員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），けん引（農耕 車），フォークリフト，乾燥設備作 業主任者技能講習，刈払機取扱作業 者安全衛生教育終了
村上政伸 Murakami, masanobu	1997年 技術専門職員	果樹園芸学	大型自動車，大型特殊自動車，フォ ークリフト
吉田晴香 Yoshida, Haruka	2008年 技術専門職員	果樹園芸学	修士（農学）（岩手大学）／ 第一種衛生管理者，日本農業技術検 定2級，フォークリフト

佐々木 修 一 Sasaki, Shu-ichi	1991年赴任 技術専門員	飼養, 繁殖	大型特殊自動車免許(農耕車), けん引免許(農耕車), 毒物劇物取扱者(農業用品目), 家畜人工授精師(牛), 家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習修了
桃 田 優 子 Momota, Yuko	2007年 技術専門職員	飼養, 繁殖	修士(農学)(千葉大学) / 家畜人工授精師(牛), 大型特殊自動車
高 橋 雅 人 Takahashi, Masahito	2020年 技術職員	飼料作, 機械	中型自動車免許, 大型特殊自動車免許, ガス溶接技能講習, 玉掛け技能講習
田 尻 和 之 Tajiri, Kazuyuki	2017年 技術職員	飼養・繁殖	中型自動車免許一種, 大型特殊自動車免許一種, 家畜人工授精師(牛), 二級削蹄師, 車輛系建設機械(整地・運搬・積込み用及び採掘用)
佐々木 修 Sasaki, Osamu	1994年 技術職員	飼料作, 機械	大型、大型特殊、けん引自動車一種免許, (牛)家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植, 二級ボイラー技士免許, 車両系建設機械運転技能講習, ガス溶接技能講習
<b>【農学系第二技術室】</b>			
岡 田 菜 月 Okada, Natsuki	2012年 技術専門職員	木工, 森林生態学, 森林環境教育学	修士(農学)(岩手大学) / 第一種衛生管理者, 2級ビオトープ計画管理士, 森林インストラクター, 木材加工用機械作業主任者技能講習
佐々木 一 也 Sasaki, Kazuya	2004年 技術室長	林政学, 森林管理 学	博士(農学)(岩手大学) / 社会保険労務士 有資格者, 測量士補, 森林情報士(森林GIS2級), 第一種衛生管理者
濱 道 寿 幸 Hamamichi, Toshiyuki	1999年 技術専門職員	森林生態学, 林業 機械	第一種衛生管理者, 第3種陸上特殊無線技士, 地山掘削作業主任者, ツリークライミングファシリテーター, 狩猟免許(銃、罟)
渡 邊 篤 Watanabe, Atsushi	2009年 技術専門職員	林業生産工学	第一種衛生管理者, 修習技術者, 測量士, 森林インストラクター, 中型自動車免許

押切 智博 Oshikiri, Tomohiro	2021年 技術職員	野生動物管理学	修士（農学）（岩手大学）／ 修習技術者，測量士補，第一種衛生管理者，学芸員
高橋 健保 Takahashi, Takeyasu	2004年 術職員	森林管理学、森林 生産利用学	大型特殊自動車免許，車両系建設機械（自重3t以上），はい作業主任者，不整地運搬車運転技能講習，玉掛け技能講習
麻生 臣太郎 Aso, Shintaro	2008年 技術専門職員	林業生産工学	修士（農学）（岩手大学）／ 大型特殊自動車免許，第一種衛生管理者，危険物取扱者（乙種），測量士，修習技術者
菊地 智久 Kikuchi, Tohisa	1997年 技術専門職員	森林管理学，樹木 学，樹木医学，森林 環境教育学	樹木医，森林インストラクター，第1種衛生管理者，中型自動車免許，危険物取扱者（乙種）
菅原 大輔 Sugawara, Daisuke	2012年 技術専門職員	森林管理学	修習技術者，測量士補，車両系建設機械（自重3t以上），はい作業主任者，危険物取扱者（乙種）
成澤 朋紀 Narisawa, Tomoki	2021年 技術職員	森林リモートセン シング，森林GIS	修士（農学）（東北大学）／ 森林インストラクター，危険物取扱者（乙種，第4類），第一種衛生管理者，ネイチャーゲームリーダー，学芸員
原 怜央 Hara, Reo	2023年技術職 員	蔬菜園芸学	大型特殊自動車免許、準中型自動車免許、日本農業技術検定2級、刈払機、フォークリフト

## 4. 学会等の開催

### ◇応用生物化学科

2024年度日本生物工学会北日本支部 岩手シンポジウム

- ・開催日：令和6年12月14日（土）
- ・場所：岩手大学（農学部7番講義室・ぼらんホール）
- ・参加人数：60名
- ・その他：世話人：山田美和（岩手大学教授）

第5回 細胞形成研究会

- ・開催日：令和7年2月21日（金）
- ・場所：岩手大学（図書館 生涯学習・多目的学習室）
- ・参加人数：40名
- ・その他：世話人 西山賢一（岩手大学教授）

### ◇共同獣医学科

第12回日本獣医病理学専門家協会（JCVP）学術集会

- ・開催日：令和7年3月27日～28日
- ・場所：岩手県民情報交流センター アイーナ
- ・参加人数：350名
- ・その他：大会長 落合 謙爾（岩手大学教授）

## 5. 研究助成

## 令和6年度科学研究費補助金採択状況一覧

(単位:円, 所属・職位は令和6年4月1日もしくは採用時現在)

研究種目	学科等	研究代表者 氏名	職名	研究課題名	配分額
学術変革領域研究 (A)(公募研究)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	構造類似糖脂質 MPase、BPF、ECA の生合成酵素の探索・比較による糖付加戦略の解明	4,200,000
学術変革領域研究 (A)(公募研究)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	機能的膜タンパク質のセル・フリー合成・再構成システムの開発と社会実装	3,700,000
学術変革領域研究 (A)(公募研究)	森林科学科	松本 一穂	准教授	恒常的な台風攪乱が森林生態系のバランスにもたらす影響の解明	4,000,000
基盤研究(B)	共同獣医学科	落合 謙爾	教授	神経病原性レトロウイルスがグリオーマを誘発する新しい分子機構の解明	2,200,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	山田 美和	教授	産業廃棄物を原料としたグリコール酸高分率コポリマー創製のための代謝工学戦略	2,200,000
基盤研究(B)	動物科学科	喜多 一美	教授	高血糖動物であるニワトリにおける血漿中アミノ酸アマドリ化合物濃度の制御機構	3,000,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	膜タンパク質のバイオジェネシスに関わる糖脂質 MPase の構造と機能に関する研究	3,700,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	松波 麻耶	准教授	局所養分に対するイネ根系の誘導的伸長メカニズムの解明	3,200,000
基盤研究(B)	食料生産環境学科	松嶋 卯月	准教授	海水塩濃度の塩水を用いた湛水栽培におけるコマツナの塩馴化機構	1,500,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	河村 幸男	准教授	植物の越冬中に凍結耐性を大幅に上昇させる凍結による馴化とその分子メカニズムの解明	2,000,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	ゲノム解析から迫るネコのマタタビ反応に種差と個体差が生じた原因究明	4,200,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	鈴木 雄二	教授	炭酸固定と葉緑体内 ATP 生産の同時強化による光合成・個体生育の窒素利用効率改良	3,100,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	下野 裕之	教授	大気 CO <sub>2</sub> 濃度上昇への適応を支配するイネの代謝-遺伝子ネットワークの解明	7,300,000
基盤研究(B)	共同獣医学科	古市 達哉	教授	糖ヌクレオチド輸送体が司る骨格形成メカニズムの解明	5,300,000
基盤研究(B)	共同獣医学科	山本 欣郎	教授	喉頭粘膜の感覚神経終末における上皮細胞を介した刺激受容機構	8,800,000
基盤研究(C)	動物医学職員安全教育研究センター	佐藤 至	教授	原発事故帰還困難区域で飼育されている牛の健康状態ならびに食肉の安全性に関する評価	500,000
基盤研究(C)	動物科学科	出口 善隆	教授	多雪地域におけるイノシシの土地選好性	200,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	由比 進	教授	メンデル遺伝を手軽に体験できるミニトマト教材の開発	200,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	舘田 知佳	特任助教	気孔侵入型病原菌による宿主の気孔密度操作を伴うシステム的な感受性誘導機構の解明	900,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	佐原 健	教授	モノミーカイコ出現メカニズム解明と常染色体遺伝子量補正の検証	1,000,000
基盤研究(C)	森林科学科	松本 一穂	准教授	東アジアにおける森林の蒸発散特性の多様性を説明する統合理論の構築	700,000
基盤研究(C)	森林科学科	小藤田 久義	教授	スギ樹皮に含まれる機能性抽出成分の総合的利用に関する研究	600,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	武藤 由子	准教授	作物生育と微生物活動に着目した水分移動過程における畑地土壌中の窒素動態	800,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	折笠 貴寛	准教授	減圧マイクロ波による低環境負荷型乾燥法の確立:品質と環境負荷の最適化を目指して	900,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	小林 沙織	助教	猫遺伝性多発性嚢胞腎の個体別重症度・進行度の差異のメカニズム解明	1,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	佐藤 洋	教授	ホルモン依存性腫瘍の系統差の特性解析と治療標的の可能性検証に関する研究	600,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	Wiriyasemkul Pattama	准教授	高等真核生物のアミノ酸/ハーモニーを司る交換輸送メカニズムの解析	600,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	横山 拓矢	准教授	睡眠時無呼吸症候群モデルラット頸動脈小体のグルタミン酸受容体による長期増強機構	900,000
基盤研究(C)	動物病院	片山 泰章	教授	慢性腎臓病に対する新規ナノ治療戦略の確立へ向けての前臨床研究	600,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	山下 哲郎	教授	魚類におけるイミダゾールジペプチドの生合成機構と生理機能の解明	1,100,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	小森 貞男	教授	リンゴのゲノム編集実用化のためのプロトプラストからの個体再生系の確立	1,200,000

研究種目	学科等	研究代表者 氏名	職名	研究課題名	配分額
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイ エンス教育研究セ ンター	渡邊 学	助教	リンゴ野生種 <i>Malus hupehensis</i> の相転換機構に対 する光質の影響解明	1,200,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイ エンス教育研究セ ンター	白旗 学	助教	ウルシコンテナ育苗時および植栽初期成長にお よぼす施肥の影響に関する生理生態的検討	300,000
基盤研究(C)	森林科学科	松木 佐和子	講師	北海道で繰り返されるクスサン大発生 の謎を明ら かにする	2,100,000
基盤研究(C)	森林科学科	伊藤 幸男	准教授	日本の林業雇用になぜ日給制は残存するのか— 新たな低賃金構造の解明	1,300,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	塚越 英晴	助教	三陸岩手サケの自然産卵床と種苗生産に係る親 魚数と次世代の遺伝的多様性に関する研究	1,400,000
基盤研究(C)	動物科学科	牧野 良輔	准教授	高血糖動物であるニワトリの産肉性に終末糖化 産物が与える影響	1,400,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	中牟田 祥子	特任研究 員	ハイギョの原始的鋤鼻器における 2 型鋤鼻受容 体および発生関連遺伝子の発現解析	1,200,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山崎 真大	教授	犬バベシア原虫の薬剤耐性獲得機序の解明とそ れを基盤とした新規治療法の開発	1,000,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	木村 賢一	教授	琥珀が有するユニークなケミカルスペースと多様 な生物活性との統合的解析	1,300,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	伊藤 芳明	教授	シグナル分子の相互作用に着目したイノチオシ アネート化合物による生理応答制御の解析	1,300,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	袁 春紅	教授	凍結解凍におけるホタテガイ閉殻横紋筋の生化学 特性と食品特性	1,100,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	畠山 勝徳	教授	アブラナ科野菜根こぶ病に対する抵抗性品種の デザイン育種基盤の構築	1,600,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	磯貝 雅道	教授	リンドウのゲノムに挿入された新種カリモウイル スと植物との相互作用解析	1,500,000
基盤研究(C)	森林科学科	國崎 貴嗣	教授	スギ高齢林の材積は過小推定なのか？幹形と 断面積成長に基づく新たな材積式の調製	500,000
基盤研究(C)	森林科学科	山内 貴義	准教授	ツキノワグマは何頭生息すべきか？過去の個体 群動態から適正生息頭数を把握する	1,500,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	小出 章二	教授	果実・果菜の冷凍法の研究: 裂果抑制因子マイニ ングと基礎学理構築	1,700,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	前田 武己	准教授	流通と保管時における家畜ふん堆肥の品質変化 に関する研究	1,600,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	木崎 景一郎	教授	血液中の環状 RNA を指標としたウシの早期妊娠 診断の可能性	1,600,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	佐藤 雪太	教授	国内における鳥類住血原虫の伝播様式の最終解 明: シラミバエからの原虫検出	1,400,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山崎 朗子	准教授	ウマおよびシカが保有する住肉胞子虫の危害性 比較と機序の解明	600,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	大沼 俊名	准教授	血管新生阻害薬の休薬によって引き起こされる腫 瘍リバウンド機構の解明	1,400,000
基盤研究(C)	動物病院	星野 有希	准教授	犬の膀胱移行上皮癌微小環境における FGFR 遺 伝子群の関与	1,600,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山田 慎二	准教授	B 細胞刺激アジュバント内蔵型の免疫抗原を発現 する二重機能性核酸 BVD ワクセンの創製	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	佐々木 淳	助教	福島県の帰還困難区域で飼育されている被曝牛 における身体的影響に関する研究	700,000
挑戦的研究(萌芽)	食料生産環境学科	石村 学志	准教授	日本独自の経済データと漁獲行動衛星データ解 析の統合が可能にする全球水産資源可視化	1,000,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	現代人はネコの脂質代謝を模倣して高コレステロ ール血症を克服できるか？	1,700,000
挑戦的研究(萌芽)	植物生命科学科	川原田 泰之	准教授	細菌性揮発性物質を介した植物の新たな窒素源 獲得メカニズムの解明	1,600,000
若手研究	森林科学科	山崎 遥	助教	多様な樹種に適用可能な天然更新補助作業技術 の開発	800,000
若手研究	動物科学科	藤井 貴志	准教授	ウシ胚における低温傷害の発生機序解明と低温 保存技術への応用	1,600,000
若手研究	共同獣医学科	中田 浩平	助教	イヌの椎体固定術における安全域の構築とドリル ガイドの開発研究	900,000
若手研究	共同獣医学科	金澤 朋美	助教	酸化ストレスが牛黄体血流および受胎性に及ぼ す影響と抗酸化治療効果の解明	900,000
研究活動スタート 支援	寒冷フィールドサイ エンス教育研究セ ンター	瀬戸 花香	特任助教	開花後の色変わりを引き起こす高分子アントシア ニンの解析と育種素材としての有用性	1,100,000
ひらめき☆ときめ きサイエンス	共同獣医学科	宮崎 珠子	准教授	牛乳の魅力～子牛の消化のひみつ～	500,000

研究種目	学科等	研究代表者 氏名	職名	研究課題名	配分額
ひらめき☆ときめ きサイエンス	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	にょいの科学～なぜネコだけがマタタビを大好 物とするのか?～	500,000
特別研究員奨励費	植物生命科学科	蘭 正人	特別研究 員(PD)	根粒形成時におけるレグヘモグロビンの新機能 の解明	3,900,000
合 計					115,100,000

## 6. 非常勤講師

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
植物生命科学科	金澤 俊成	園芸学 I	岩手大学教育学部	28
	高畑 裕樹	農業経済学	盛岡大学	28
応用生物化学科	木村 毅	有機化学概論	岩手大学研究支援・産学連携センター	28
	小野田 敏行	公衆衛生学	岩手大学保健管理センター	14
	下飯 仁	産業微生物学	元岩手大学教授、(公財)日本醸造協会	12
	清水 康多郎	産業微生物学	雪印メグミルク(株)	6
	長澤 孝志	美味学	岩手大学名誉教授	14
森林科学科	佐藤 康	森林科学基礎演習	小岩井農場	3
	関野 登	森林科学基礎演習	岩手大学名誉教授	9
	関野 登	木材と住宅	岩手大学名誉教授	28
	立川 史郎	森林測量学 I	岩手大学名誉教授	28
	立川 史郎	森林測量学実習 I	岩手大学名誉教授	42
	井倉 洋二	暖帯林概論	鹿児島大学農学部	28
	山本 清龍	自然環境保全論	東京大学大学院農学生命科学研究科	28
関野 登	森林科学入門	岩手大学名誉教授	2	
食料生産環境学科	倉島 栄一	構造力学	岩手大学名誉教授	28
	倉島 栄一	構造力学演習	岩手大学名誉教授	28
	森 洋	土質力学	弘前大学農学生命科学部	28
	颯田 尚哉	水資源論	大同大学情報学部総合情報学科/工学部建築学科併任	28
	工藤 将英	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	工藤 浩一	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	山口 勝洋	緑地環境学	紫波グリーンエネルギー(株)	2
	三宅 諭	地域景観保全論	三重大学大学院工学研究科	28
	及川 一輝	地域振興政策論	(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス	28
	相川 次郎	海外農林開発論	国際協力機構	28
	溝口 勝	環境修復学	東京大学大学院農学生命科学研究科	12
	松田 英樹	農村地域デザイン学演習	東北農政局農村振興部	3
	久野 叔彦	農村地域デザイン実践論	(株)三祐コンサルタンツ	4
	登尾 浩助	農村地域デザイン実践論	明治大学農学部	8
	長崎 桃子	農村地域デザイン実践論	農林水産省農村振興局	2
	嵯峨 直樹	農村地域デザイン実践論	農林水産省農村振興局	2
	東野 徹男	スマート農業概論	東北農政局農村振興部	2
	阿部 節男	スマート農業概論	(株)みちのくクボタ	2
	武田 純一	応用数学	岩手大学名誉教授	10
	小舘 琢磨	6次産業化論	静岡県立農林環境専門職大学 生産環境経営学部	4
	岡田 益己	農業気象・環境学	岩手大学名誉教授	20
	武田 純一	農作業システム学	岩手大学名誉教授	28
	武田 純一	農業動力利用学	岩手大学名誉教授	28
	及川 一也	フィールドロボティクス及び農作業安全	(株)クボタ アグリソリューション推進部	6
	片平 光彦	フィールドロボティクス及び農作業安全	山形大学農学部食料生命環境学科	2

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	菊池 豊	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業機械研究部門	14
	熊谷 悦史	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門	2
	清水 一孝	フィールドロボティクス及び農作業安全	(株)西部開発農産	2
	盛川 周祐	フィールドロボティクス及び農作業安全	(有)盛川農園	2
	山下 善道	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター農業放射線研究センター	2
	山本 聡史	フィールドロボティクス及び農作業安全	秋田県立大学生物資源科学部	2
	森田 明	食料・農業政策論	宮城大学食産学学群	28
	武田 純一	食産システム学実験Ⅰ	岩手大学名誉教授	12
	武田 純一	食産システム学実験Ⅱ	岩手大学名誉教授	12
	羽野 誠一郎	食産システム学実験Ⅱ	(株)キセキ東北	3
	大野 和彦	6次産業化論	海光物産(株)	2
	木村 拓哉	6次産業化論	(一社)東の食の会	4
	鈴木 允	6次産業化論	日本サステナブルシーフード協会	2
	難波 信由	水産植物学	北里大学海洋生命科学部	28
	于 克鋒	水圏環境学	元岩手大学農学部特任研究員	18
	藤井 賢彦	水圏環境学	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター	2
	福田 秀樹	水圏環境学	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター	4
	峰岸 有紀	水圏環境学	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター	2
	早川 淳	水圏環境学	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター	2
	落合 芳博	水産食品加工学	元東北大学大学院農学研究科	4
	神谷 慎一	水産食品加工学	神谷食品研究所	2
	前多 隼人	水産食品加工学	弘前大学農学生命科学部食料資源学科	4
	渡部 終五	水産食品加工学	東京大学名誉教授	2
	内田 基晴	水産食品化学	合同会社シーベジタブル	2
	今野 久仁彦	水産食品化学	北海道大学名誉教授	4
	田中 教幸	水産食品化学	元岩手大学教授	4
	任 恵峰	水産食品化学	元東京海洋大学教授	2
	于 克鋒	水産食品化学	元岩手大学農学部特任研究員	2
	中村 修	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	28
	赤木 徳顕	経営管理学入門	帝京大学経済学部経営学科	14
	稲垣 秀悦	経営管理学入門	いわぎん事業創造キャピタル(株)	2
	木村 拓哉	経営管理学入門	(一社)東の食の会	2
	垣添 直也	経営管理学入門	日本水産(株)/マリン・エコラベル・ジャパン協議会	4
	阿部 拓三	自然環境論	南三陸町	8
	尾針 由真	自然環境論	北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所	4
	野村 一郎	環境経済学・資源経済学入門	農林水産省	2
	阿部 景太	環境経済学・資源経済学入門	武蔵大学経済学部	4
	岡崎 宗昭	水産物流・マーケティング論	知恵工房	2
	神谷 慎一	水産物流・マーケティング論	神谷食品研究所	2
	高橋 剛一	水産物流・マーケティング論	岩手県すし業生活衛生同業組合	2

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	太田 慎吾	水産制度学	(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構	4
	長谷 成人	水産制度学	(一財)東京水産振興会	4
	阿部 景太	水産制度学	武蔵大学経済学部	8
	山内 愛子	水産政策学	(株)シーフードレガシー	4
	森 晃也	コミュニケーション論	トゥモローゲート株式会社東京支社	4
	末武 弘章	水産生命科学特別講義	福井県立大学	14
	深田 陽久	水産生命科学特別講義	高知大学 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源 研究所 八戸庁舎	14
	藤原 邦浩	漁業資源管理学	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源 研究所 八戸庁舎	4
	甲本 亮太	漁業資源管理学	秋田県水産振興センター増殖部	2
	野呂 恭成	漁業資源管理学	(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所	4
	平嶋 正則	漁業資源管理学	岩手県農林水産部水産振興課	2
	森 友彦	漁業資源管理学	岩手県水産技術センター	2
	石川 哲郎	漁業資源管理学	宮城県水産技術総合センター	4
動物科学科	谷口 和美	動物形態学Ⅰ	元北里大学獣医学部准教授	28
	谷口 和美	動物形態学Ⅱ	元北里大学獣医学部准教授	28
	平松 浩二	動物組織学	信州大学農学部	14
	小田 伸一	動物栄養学	元岩手大学准教授	28
	小田 伸一	愛玩動物栄養学	元岩手大学准教授	14
	築城 幹典	草地学	元岩手大学教授	28
	小松 守	動物園学	秋田市大森山動物園	14
	西 千秋	野生動物学	(合)岩手野生動物研究所	14
	水谷 啓司	動物科学実験Ⅱ	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	3
	中村 哲雄	牧場実習	葛巻町畜産開発公社	17
共同獣医学科	山手 寛嗣	獣医倫理	松園動物病院	2
	下川 哲哉	解剖学実習	愛媛大学大学院医学系研究科	6
	福田 智一	獣医遺伝育種学	岩手大学理工学部	4
	秦 英司	病原微生物学	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生 研究部門	2
	豊田 武士	動物病理学総論	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究セ ンター	4
	寺嶋 淳	人獣共通感染症学	元岩手大学教授	16
	寺嶋 淳	人獣共通感染症学	元岩手大学教授	14
	白岩 利恵子	公衆衛生学実習	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	3
	辻本 恒徳	野生動物学	盛岡市動物公園	15
	白岩 利恵子	食品衛生学実習	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	3
	渡辺 麻衣子	食品衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	6
	大田 寛	消化器病学	酪農学園大学獣医学群	4
	渡邊 一弘	消化器病学	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科	2
	伊丹 貴晴	麻酔学・手術学	酪農学園大学獣医学群獣医学類	12
	伊丹 貴晴	小動物外科学実習・基礎編	酪農学園大学獣医学群獣医学類	6
	大野 晃治	小動物内科学実習・応用編	(株)男鹿水族館 GAO	3
	松原 ゆき	小動物内科学実習・応用編	(株)もりおかパークマネジメント	3
	稲葉 睦	血液免疫病学	北海道大学大学院獣医学研究院	4
	内田 直宏	臨床腫瘍学	東京農工大学	8
	高木 哲	臨床腫瘍学	麻布大学獣医学部	12
足立 眞也	総合参加型臨床実習	小岩井農牧(株)	20	

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
共同獣医学科	石澤 信人	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	渡辺 崇	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	大澤 健司	臨床繁殖学実習	宮崎大学農学部	6
	岡村 雄司	臨床繁殖学実習	おかもらアニマルクリニック	6
	野口 倫子	臨床繁殖学実習	麻布大学獣医学部	6
	佐藤 繁	産業動物臨床学Ⅰ	岩手大学名誉教授	30
	岡田 啓司	産業動物臨床学Ⅱ	岩手大学名誉教授	20
	笠嶋 快周	産業動物臨床学Ⅱ	JRA 競走馬総合研究所	2
	笠嶋 快周	馬臨床学	JRA 競走馬総合研究所	15
	安田 出	大動物臨床実習・基礎編	安田動物病院	3
	鈴木 一由	大動物臨床実習・応用編	酪農学園大学獣医学群	6
	木村 祐哉	人と動物関係学	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部	10
	辻本 恒徳	人と動物関係学	盛岡動物公園	10
	松浦 晶央	人と動物関係学	北里大学獣医学部動物資源科学科	8
	岡田 啓司	動物品種論	岩手大学名誉教授	8
	佐藤 れえ子	動物品種論	岩手大学名誉教授	4
	辻本 恒徳	動物品種論	盛岡市動物公園	4
	曾我 慶介	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所生化学部	2
	岡田 啓司	食品安全管理学	岩手大学名誉教授	2
	白岩 利恵子	食品安全管理学	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	2
寺嶋 淳	食品安全管理学	元岩手大学教授	8	
六鹿 元雄	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	2	
渡辺 麻衣子	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	2	
専門基礎科目・学部共通科目	三浦 康秀	基礎数学入門	岩手大学名誉教授	28
	三浦 康秀	線形代数学入門	岩手大学名誉教授	28
	花原 和之	微分積分学入門	岩手大学理工学部	28
	花見 仁史	物理学入門	岩手大学名誉教授	28
	花見 仁史	物理学	岩手大学名誉教授	28
	嶋田 和明	化学	岩手大学名誉教授	28
	厚井 高志	地学入門	北海道大学広域複合災害研究センター	4
	柳澤 忠昭	地学入門	盛岡中央ゼミナール	4
	山田 卓司	地学入門	茨城大学大学院理工学研究科	4
	築城 幹典	生物統計学	元岩手大学教授	28
	石垣 剛	基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
	木村 毅	基礎化学実験	岩手大学研究支援・産学連携センター	42
	ベンジャミン・ブレア	科学英語(植物)	フリーランス(英語)	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語(食料)	フリーランス(英語)	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語(動物)	フリーランス(英語)	28
	若生 和江	地域おこし論	惣菜弁当加工販売「やまんば工房」	2
	岡本 翔馬	地域おこし論	NPO 法人桜ライン 311	2
	田中 亜弓	地域おこし論	一般財団法人ペットの里	2
	山内 まどか	地域おこし論	みんなのまなびばぐるぐるの森	2
	黍原 豊	地域おこし論	(一社)三陸駒舎	2
	高浜 大介	地域おこし論	(株)アースカラー	2
	藤原 朋	地域おこし論	(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス	2

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
専門基礎・学部共通科目	若菜 千穂	地域おこし論	NPO 法人いわて地域づくり支援センター	2
	富川 岳	地域おこし論	(株)富川屋	2
	松本 篤英	地域おこし論	ピネムの森	2
	渡邊 和義	地域おこし論	Office SUGOROKU 合同会社	2
	須川 翔太	地域おこし論	紫波町役場	2

### 大学院総合科学研究科農学専攻

専攻	氏名	科目	勤務先	時間数
植物生命科学コース	陰山 大輔	植物生命科学特別講義	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 昆虫利用技術研究領域 昆虫制御技術グループ	14
	根本 圭一郎	植物バイオテクノロジー特論	(公財)岩手生物工学研究センター	28
応用生物化学コース	永森 収志	応用生物化学特別講義	東京慈恵会医科大学	14

### 大学院獣医学研究科

氏名	科目	勤務先	時間数
笠嶋 快周	獣医臨床医科学学外演習	JRA 競走馬総合研究所	16
山本 健久	獣医衛生科学学外演習 (農研機構)	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域 疫学・昆虫媒介感染症グループ	30
辻本 恒徳	動物と人の共存学	盛岡動物公園	6
宮田 真智子	動物と人の共存学	岩手大学農学部附属動物病院	2

### 客員教授・客員准教授

施設等	氏名	研究テーマ	勤務先	時間数
動物医学食品安全センター	吉富 真理 (客員教授)	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センターの健康な家畜の生産と食の安全・安心に関する研究における、専門的立場から指導・助言	国立保健医療科学院生活環境研究部 衛生環境管理研究領域	15
	今村 彩貴 (客員教授)		農林水産省消費・安全局食品安全政策課	15
	岡村 行岳 (客員教授)		農林水産省消費・安全局動物衛生課	15
	和田 賢二 (客員教授)		山形県農業共済組合家畜部	15
共同獣医学科	中牟田 祥子 (客員准教授)	脊椎動物の嗅覚器における遺伝子発現解析	現岩手大学農学部特任研究員	480
動物病院	宮田 真智子 (客員教授)	犬と猫の問題行動に関する研究における、専門的立場からの指導・助言	岩手大学農学部附属動物病院	192

施設等	氏名	研究テーマ	勤務先	時間数
獣医学研究科	山本 健久 (客員教授)	岩手大学大学院獣医学研究科における、専門的立場からの指導・助言	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門	48
	笠嶋 快周 (客員教授)		JRA 競走馬総合研究所	48
植物生命科学科	片山 寛則 (客員准教授)	果樹園芸学研究室におけるイワテヤマナシを用いたナシの育種指導	片山農園やまなし&アップルファーム	144
食料生産環境学科	今野 久仁彦 (客員教授)	学生研究指導	北海道大学名誉教授	16
	任 恵峰 (客員教授)		元東京海洋大学教授	16
	安住 和久 (客員教授)		北海道大学特任教授	16
	渡部 終五 (客員教授)		東京大学名誉教授	16
	梶原 昌五 (客員准教授)		元岩手大学准教授	40
	阿部 景太 (客員准教授)		米国 Pew 財団研究プロジェクトの研究推進と業務管理、Google の研究プロジェクト及び Global Fishing Watch の研究プロジェクトの研究推進のための専門的立場からの指導・助言	武蔵大学経済学部

# 令和6年度各種委員会名簿（農学部）

（◎印は委員長【室長】・議長、○印は副委員長【班長】）

令和6年4月1日以降

委員会		学科等	植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学	共同獣医	寒冷フィールド*	動物病院	動物センター	臨床・疾病制御センター	畜産飼料センター	植物園	農業教育資料館	副学部長	事務部等	任期等	
1	学部運営会議		立澤	西山	國崎	袁	西向	佐藤(洋)	山本(信)	片山	佐藤(至)	一條	澤井			木崎 小出 澤井	◎学部長 事務長	学部長、副学部長 学科長6、施設長5、事務長 学科長・FSC長 R6.4.1～R8.3.31 病院長・FAMS長・FCD長 R5.4.1～R7.3.31	
2	教員人事委員会		小森、村上、山本(信)													木崎 小出 澤井	◎学部長	2年 R5.4.1～R7.3.31 教授会において選出された教授3名	
3	教員評価委員会		×													木崎 小出 澤井	◎学部長	学部長指名の副学部長 その他学部長指名	
4	企画室		○澤井、小森、川原田、山田(和)、齋藤(仁)、折笠、西向、山崎(真)													木崎 小出 澤井	◎学部長 副学部長 事務長	2年 R5.4.1～R7.3.31(特命班を除く) 学部長(室長)、副学部長、学部長指名の教員、 事務長  特命班は必要に応じ設置 各班5名程度	
	将来計画班		○澤井、小森、川原田、山田(和)、齋藤(仁)、折笠、西向、山崎(真)																
	財務班		○木崎、ラーマン、齋藤(靖)、武藤、渡邊																
	カリキュラム特命班		○澤井、小出、畠山、伊藤(芳)、河村、西山、尾崎、國崎、平井、山本(信)																
	80周年PJ特命班		○小出、真坂、松本、杉田、荒木、（北水会専務理事） ※創立80周年・農学部附属植物園エリア・リボーンプロジェクト・特命班																
5	点検評価委員会		八重樫	山下	國崎	杉田	澤井	中牟田	高田								◎木崎		2年 R5(R6).4.1～R7(R8).3.31(半数交代) 副学部長 各学科各1、3施設1、その他学部長指名
6	教務委員会		松波 小森	立石 山田(和)	伊藤(幸)	濱上 折笠 平井	◎西向	佐藤(雪) 前原									澤井		2年 R5(R6).4.1～R7(R8).3.31(半数交代) 副学部長、食料生産環境各コース及び 森林科学及び動物科学各1、他3学科各2
7	学生支援委員会		川原田	立石	◎真坂	○折笠	澤井	一條											2年 R5(R6).4.1～R7(R8).3.31(半数交代)
8	入試委員会		下野	◎宮崎(雅)	東	◎前田 袁	○出口	森田 山田(慎)											2年 R5(R6).4.1～R7(R8).3.31(半数交代) 食料生産環境(農村コースか食産業コースから 1、水産コースから1)及び共同獣医から各2、他 4学科から各1
9	施設委員会		磯貝	伊藤(芳)	松本	武藤	西向	高橋(透)	平田	小林	佐藤(至)		川原田				◎澤井		2年 R5(R6).4.1～R7(R8).3.31(半数交代) 副学部長1、各学科各1、4施設各1
10	国際交流委員会		ラーマン ～R7.3.31	○鈴木 ～R9.3.31	齋藤(仁) ～R9.3.31	◎飯田 ～R8.3.31	◎澤井 ～R7.3.31	宮崎(珠) ～R8.3.31											3年 R4(R6).4.1～R7(R9).3.31(3分の1交代) 各学科から各1
11	広報委員会		河村	齋藤(靖)	當山	山本(清) 松嶋 塚越	○出口	横山 関	白旗	森田	山崎(朗) ～R6.8.31 大沼 R6.9.1～						◎木崎		2年 R5(R6).4.1～R7(R8).3.31(半数交代) 副学部長1、共同獣医学科から2、食料生産 環境各コース及び他4学科から各1、 3施設から各1
12	農学系技術部 運営委員会		佐原	パッタマ	松本	前田	藤井	高橋(正)	山本(信)	金澤								◎技術部長 技術室長 事務長	2年 R6.4.1～R8.3.31 各学科から各1、2施設から各1 (教授又は准教授) 農学系技術部長、 技術室長、事務長、技術室企画運営室員
13	教育研究圃場 運営委員会		◎下野	立石	山崎(遥)	石村	藤井	金澤	○渡邊	中田	佐々木								2年 R6.4.1～R8.3.31 各学科から各1、3施設から各1
14	寒冷フィールド サイエンス教育研究 センター運営委員会		畠山	立石	真坂	山本(清)	澤井	山田(鈴)	◎山本 (信) 平田 白旗 渡邊 高田	片山	佐藤(至)							事務長	2年 R6.4.1～R8.3.31 センター長、次長、専任教員 各学科から各1、2施設から各1 農学系技術部(農学系第一技術室及び 農学系第二技術室)から各1
15	動物病院運営協議会		佐原	伊藤(芳)	東	塚越	村元	佐藤(洋) 山崎(真) ※一條 ※星野		◎片山 星野								病院事務 職員	2年 R6.4.1～R8.3.31 病院長、各学科(共同獣医を除く)から 各1、共同獣医学科2、※診療主任2、 病院専任教員、病院事務職員

委員会		学科等	植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学	共同獣医	寒冷フィールド	動物病院	動物センター	臨床・疾病制御センター	畜産飼料センター	植物園	農業教育資料館	副学部長	事務部等	任 期 等
16	動物医学食品安全教育研究センター運営委員会		小森	伊藤(芳)	當山	小出	澤井	×		片山	◎佐藤(至)							2年 R6.4.1~R8.3.31 センター長、副センター長、部門長、ユニット長、各学科から教授又は准教授を各1(※センター長、副センター長、部門長の所属学科を除く)、 2施設いずれかから教授又は准教授1、センター専任教員、その他センター長指名
17	産業動物臨床・疾病制御教育研究センター運営委員会		小森	山下	國崎	濱上	澤井	×		片山		◎一條						2年 R6.4.1~R8.3.31 センター長、副センター長、部門長、センター特任教員、各学科から教授又は准教授を各1(※センター長、副センター長、部門長の所属学科を除く)、 2施設いずれかから教授又は准教授1、その他センター長指名
18	畜産飼料総合教育研究センター運営委員会		松波	伊藤(芳)	山内	杉田	×	高橋(正)		山本(信)			◎澤井					2年 ただし、R6年度のみR6.10.1~R7.3.31 センター長、副センター長、部門長、センター特任教員、各学科から教授又は准教授を各1(※センター長、副センター長、部門長の所属学科を除く)、 2施設いずれかから教授又は准教授1、その他センター長指名
19	植物園運営委員会		川原田	立石	松本	袁	澤井	佐々木						◎真坂				2年 R6.4.1~R8.3.31 植物園長、各学科から各1
20	農業教育資料館運営委員会		松波	山田(和)	東	武藤	藤井	小林							◎佐藤(至)			2年 R6.4.1~R8.3.31 館長、副館長、各学科から各1
21	自然エネルギー利用温室運営委員会		◎下野	鈴木	齊藤(仁)	濱上	村元	中田										2年 R6.4.1~R8.3.31 各学科から各1
22	生物環境制御装置室運営委員会		◎畠山	鈴木	山内	松嶋	村元	前原										2年 R6.4.1~R8.3.31 各学科から各1
23	環境管理委員会		佐原	斎藤(靖)	松木	前田	藤井	山崎(朗) ~R6.8.31 藤原 R6.9.1~	山本(信)	南雲							◎小出	2年 R6.4.1~R8.3.31 各学科から各1、2施設から各1、 その他学部長指名

(総合科学研究科農学専攻)

委員会		コース等	植物生命科学	応用生物化学	動物科学	事務部等	任 期 等
24	農学専攻運営委員会		立澤	西山	西向	◎専攻長 副専攻長 事務長	2年 R6.4.1~R8.3.31 専攻長(伊藤菊)、副専攻長(西山)、コース長3
25	農学専攻学務委員会		佐原	鈴木	村元	◎副専攻長	2年 R5.4.1~R7.3.31 副専攻長、各コースから各1

# III 学 生



# 1. 入試

## (1) 令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等

学科・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名	個別学力検査実施教科・科目名等
食料農学科 (農学コース, 食品健康科学科)  生命科学科 (分子生物機能学コース, 分子生命医科学コース)  地域環境科学科 (革新農業コース, 森林科学コース)  動物科学・水産科学科 (動物科学コース, 水産システム学コース)	前期日程	国(国)  地歴「地総, 地探」, 「歴総, 日探」, 公民「歴総, 世探」, 「地総/歴総/公」 「公, 倫」, 「公, 政, 経」 } から1  数「数I, 数A」, 「数I」から1と「数II, 数B, 数C」	数(数I・II・A・B・C) 理(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物) } から1 [1教科1科目]
	後期日程	理(物理, 化学, 生物, 地学から2)  外 英(リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1  情 情報1 [6教科8科目]	個人面接

## (2) 令和7年度大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース	大学入学共通テストの配点							個別学力検査等の配点					合計		
		国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小計	理科				面接		大学入学 希望 理由書	小計
									数I・ A・B・C	物理基礎 ・物理	化学基礎 化学	生物基礎 生物				
前期 日程	食料農学科 農学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	食料農学科 食品健康科学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	生命科学科 分子生物機能学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	生命科学科 分子生命医科学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	地域環境科学科 革新農業コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	地域環境科学科 森林科学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	動物科学・水産科学科 動物科学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
	動物科学・水産科学科 水産システム学コース	200	100	200	200	200	50	950	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,270
後期 日程	食料農学科 農学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	食料農学科 食品健康科学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	生命科学科 分子生物機能学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	生命科学科 分子生命医科学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	地域環境科学科 革新農業コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	地域環境科学科 森林科学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	動物科学・水産科学科 動物科学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050
	動物科学・水産科学科 水産システム学コース	200	100	200	200	200	50	950					100		100	1,050

備考: 表中の ( ) は, 選択科目であることを表す。

## (3) 令和7年度入学者選抜状況

大学入学共通テスト 令和7年1月18日～令和7年1月19日

総合型 出願期間 令和6年12月2日～令和6年12月6日  
 個別学力検査 令和6年12月27日  
 合格発表 令和7年2月10日

一般選抜（前期日程・後期日程） 出願期間 令和7年1月27日～令和7年2月5日  
 前期日程 個別学力検査 令和7年2月25日  
 合格発表 令和7年3月6日  
 後期日程 個別学力検査 令和7年3月12日  
 合格発表 令和7年3月20日

学科	コース名	区分	募集人員	志願者	合格者	入学者
食料農学科	農学コース	前期	20	39	23	22
		後期	3	9	2	1
		学校推薦型	4	11	4	4
		総合型Ⅱ	3	7	3	3
		私費外国人	若干名	1	0	0
	食品科学コース	前期	13	22	15	14
		後期	2	5	2	2
		学校推薦型	3	15	3	3
		総合型Ⅱ	2	6	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
生命科学科	分子生物機能学コース	前期	17	24	20	19
		後期	3	14	3	3
		学校推薦型	3	9	2	2
		総合型Ⅱ	2	3	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
	分子生命医科学コース	前期	17	61	20	18
		後期	5	33	9	8
		学校推薦型	2	13	2	2
		総合型Ⅱ	2	4	1	1
		私費外国人	若干名	1	0	0
地域環境学科	革新農業コース	前期	21	29	28	27
		後期	4	11	3	3
		学校推薦型	7	6	4	4
		総合型Ⅱ	5	4	1	1
		私費外国人	若干名	0	0	0
	森林科学コース	前期	20	41	22	21
		後期	3	21	3	1
		学校推薦型	7	9	7	7
		総合型Ⅱ	3	6	3	3
		私費外国人	若干名	0	0	0
動物科学	動物科学コース	前期	23	60	27	24
		後期	3	27	6	5
		学校推薦型	9	22	9	9
		私費外国人	若干名	2	0	0

・水産科学科	水産システム学コース	前期	10	29	10	9
		後期	3	15	5	4
		学校推薦型	5	9	5	5
		総合型Ⅱ	2	8	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
合 計			226	576	248	231

(4) 令和7年度学校推薦型選抜状況

選考方法 小論文, 面接, 推薦書, 調査書及び本人の出願理由書

出願期間 令和6年11月1日～令和6年11月7日

選考試験 令和6年11月20日 小論文及び面接

合格発表 令和6年12月2日

学科名	コース名	募集人員	志願者	合格者	入学者
食料農学科	農学コース	4	11	4	4
	食品健康科学コース	3	15	3	3
生命科学科	分子生物機能学コース	3	9	2	2
	分子生命医科学コース	2	13	2	2
地域環境科学科	革新農業コース	7	6	4	4
	森林科学コース	7	9	7	7
動物科学・水産科学科	動物科学コース	9	22	9	9
	水産システム学コース	5	9	5	5

(5) 令和7年度植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況

選考方法 調査書, 小論文及び面接 (口頭試問を含む)

出願期間 令和6年6月4日～令和6年6月6日

選考試験 令和6年6月28日 小論文及び面接

合格発表 令和6年7月12日

学科・コース		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		1	4	1	1
応用生物化学科		1	2	1	1
食料生産環境学科	農村地域デザイン学コース	2	3	1	1
	食産業システム学コース		4	0	0
	水産システム学コース		0	0	0
動物科学科		1	1	0	0

(6) 令和6年10月入学及び令和7年4月入学大学院総合科学研究科 (修士課程) 選抜状況

ア 日程

推薦入試

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
6. 6. 5～6. 6. 7	6. 7. 2	6. 7. 11

令和6年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
6. 7. 12～ 6. 7. 17	6. 8. 21～ 6. 8. 22	6. 9. 5

令和6年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	6. 7. 12～ 6. 7. 17	6. 8. 21～ 6. 8. 22	6. 9. 5
第2期	6. 12. 4～ 6. 12. 6	7. 1. 28～ 7. 1. 29	7. 2. 12

イ 志願者・合格者・入学者

推薦入試

専攻・コース名	募集人員	志願者	合格者	入学者
地域創生専攻 地域産業コース	—	15	15	15
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	—	1	1	1
合 計	—	16	16	16

令和6年10月入学

専攻名	募集人員	志 願 者			合格者	入学者
		一 般 入 試	社 会 人 入 試	外国人 留学生 入 試		
農学専攻 植物生命科学コース	若干名	0	0	0	0	0
農学専攻 応用生物化学コース		0	0	0	0	1
農学専攻 動物科学コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域産業コース	—	0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	—	0	0	0	0	0
合 計	—	0	0	0	0	0

令和7年4月入学

専攻・コース名	募集人員	第1期募集				第2期募集				入学者
		志願者			合格者	志願者			合格者	
		一般入試	社会人入試	外国留學生入試		一般入試	社会人入試	外国留學生入試		
農学専攻 植物生命科学コース	50	19	0	0	17	1	0	0	1	18
農学専攻 応用生物化学コース		14	0	0	14	3	0	0	1	15
農学専攻 動物科学コース		11	0	0	10	1	0	0	1	11
地域創生専攻 地域産業コース	—	5	0	0	5	2	0	0	1	6
地域創生専攻 地域・コミュニティ デザインコース	—	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	—	50	0	0	47	5	0	0	4	51

## 2. カリキュラム

### (1) 植物生命科学科

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数学入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	物理学		2	
	化学入門		2	
	化学		2	
	生物学入門		2	
	生物学		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
インターンシップ			1	
科学英語		2		
科学文献読解法			2	
統計的機械学習実践			2	
海外特別実習			1	
卒業研究	6			
専門重点科目	農学概論	2		
	作物栽培学	2		
	食用作物学Ⅰ	2		
	食用作物学Ⅱ		2	
	園芸学Ⅰ	2		
	園芸学Ⅱ	2		
	園芸学Ⅲ		2	
	基礎遺伝学	2		
	植物育種学Ⅰ	2		
	植物育種学Ⅱ	2		
	遺伝育種学		2	
	環境植物生理学		2	
	General Plant Biology	2		
	植物生理学	2		
	植物病理学Ⅰ	2		
	植物病理学Ⅱ	2		
	植物ウイルス学		2	
	応用昆虫学Ⅰ	2		
	応用昆虫学Ⅱ	2		
	昆虫生理学		2	
	農業経済学	2		
	食料・農業政策論		2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	農業経営学		2
	植物生命科学実験Ⅰ	1	
	植物生命科学実験Ⅱ	1	
	植物生命科学実験Ⅲ	1	
	植物生命科学実験Ⅳ	1	
	農学のための倫理		1
	植物生命科学と倫理	1	
	農業時事演習		1
	植物生命科学演習Ⅰ	1	
	植物生命科学演習Ⅱ	1	
	フィールド管理学		2
	農場実習Ⅰ	1	
農場実習Ⅱ		1	
農場特別実習		1	
生化学Ⅰ	2		
生化学Ⅱ		2	
分子生物学Ⅰ	2		
専門展開科目	土壌資源利用論		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	植物栄養学・肥料学		2
	植物栄養生理学		2
	生化学Ⅲ		2
	分子生物学Ⅱ		2
	基礎分析化学		2
	農業気象・環境学		2
	有機化学概論		2
植物ストレス応答学		2	
微生物学概論		2	
生鮮食品保存科学		2	
必要修得単位数		53	38
合計必要修得単位数		91	

(2) 応用生物化学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数入門		2
	微分積分学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習	1	
	物理学入門		2
	基礎物理学実験	1	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	基礎生物学実験		1
	生物学		2
	地学入門		2
	基礎化学実験	1	
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	統計的機械学習実践		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	有機化学概論	2	
	生化学Ⅰ	2	
	基礎分析化学	2	
	生化学Ⅱ	2	
	土壌資源利用論	2	
	食品化学・食品学	2	
	食品化学工学	2	
	天然物化学	2	
	微生物学概論	2	
	栄養化学・栄養学	2	
	分子生物学Ⅰ	2	
	植物栄養生理学	2	
	細胞生物学		2
	農学のための倫理		1
	ケミカルバイオロジー	2	
	微生物生理学	2	
	植物栄養学・肥科学	2	
	食品衛生学	2	
	生化学Ⅲ		2
	食品加工物理化学		2
	遺伝子工学		2
	分子生物学Ⅱ		2
	公衆衛生学		1
	機器分析化学	2	
	産業微生物学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	土壌環境微生物学・生化学		2
	食品保蔵学		2
	食品機能学		2
	植物ストレス応答学		2
	応用生物化学プレゼンテーション演習	1	
	応用生物化学演習Ⅰ	1	
	応用生物化学演習Ⅱ	1	
	応用生物化学実験Ⅰ 応用生物化学実験Ⅱ	3 5	
専門展開科目	植物生理学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology		2
	林産化学		2
	作物栽培学		2
	食用作物学Ⅰ		2
	植物育種学Ⅰ		2
	植物病理学Ⅰ		2
	応用昆虫学Ⅰ		2
	農業経済学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生鮮食品保存科学		2
	動物資源利用学Ⅰ		2
	動物資源利用学Ⅱ		1
	水産微生物学		2
水産食品加工学		2	
水産食品化学		2	
生命情報学		2	
医薬科学		2	
必要修得単位数		57	34
合計必要修得単位数		91	

(3) 森林科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	
	線形代数入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学	2	
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		4	3
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ	1	
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	統計的機械学習実践		2
	海外特別実習		1
卒業研究	6		
専門重点科目	森林科学入門	2	
	森林科学基礎演習	1	
	木材と住宅	2	
	森林計測学	2	
	林業・木材産業論	2	
	森林測量学Ⅰ	2	
	森林測量学実習Ⅰ	2	
	環境防災学		2
	樹木学	2	
	樹木学実習	1	
	暖帯林概論		1
	森林科学研修	1	
	技術者倫理入門	2	
	林産化学	2	
	森林・雪氷水文学		2
	山村経済・地域おこし論		2
	森林測量学Ⅱ	2	
	森林測量学実習Ⅱ	2	
	森林利用学	2	
	地域生態系保全論		2
	野生動物管理学	2	
	森林保全生態学		2
	森林バイオマスの成分利用		2
	森林化学演習		1
	砂防学	2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	森林利用学実習	2	
	海外・日本の林業	2	
	森林政策学	2	
	森林造成学	2	
	森林造成学実習	2	
	森林計測学実習	1	
	自然環境保全論		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	野生動物管理学実習		1
	環境と樹木の生理		2
	森林保護学		2
	森林科学応用演習Ⅰ	1	
	砂防学実習	1	
森林計画学		2	
データ分析演習		1	
森林科学応用演習Ⅱ	1		
公開森林実習		1	
専門展開科目	応用昆虫学Ⅰ		2
	植物生理学		2
	植物病理学Ⅰ		2
	植物病理学Ⅱ		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	生化学Ⅰ		2
	微生物学概論		2
	分子生物学Ⅰ		2
	機器分析化学		2
	応用力学		2
	応用数学		2
	構造力学		2
	水理学		2
	緑地環境学		2
	施設開発管理学		2
	地域景観保全論		2
フィールドロボティクス		2	
必要修得単位数		59	32
合計必要修得単位数		91	

(4)-1 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	統計的機械学習実践		2
	海外特別実習		1
卒業研究	6		
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	構造力学	2	
	構造力学演習		1
	土質力学	2	
	土質力学演習		1
	測量学	2	
	測量学基礎実習	1	
	測量学フィールド実習	1	
	地理情報処理学	2	
	地理情報処理演習		1
	スマート農業概論	2	
	水理学	2	
	水資源論	2	
	水理学実験演習		1
	土壌物理学	2	
	施設開発管理学	2	
	水文・水利学	2	
	農地工学	2	
	土壌・土質実験		1
	材料実験		1
	地域デザイン論	2	
コミュニティデザイン論		2	
環境防災学		2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	環境防災学		2
	農村計画学	2	
	緑地環境学		2
	地域生態系保全論		2
	地域景観保全論	2	
	地域振興政策論		2
	海外農林開発論		2
	環境修復学		2
	農村地域デザイン学演習	1	
	農村地域デザイン実践論	2	
農村地域デザイン学セミナー		1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	農業経済学		2
	農業気象・環境学		2
	栽培施設学Ⅰ		2
	食料・農業政策論		2
	土壌資源利用論		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	栽培施設学Ⅱ		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	基礎分析化学		2
	機器分析化学		2
	食品化学工学		2
	食品加工物理化学		2
	木材と住宅		2
	野生動物管理学		2
	砂防学		2
	農業循環工学		2
NPO・環境ガバナンス論		2	
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(4)ー2 食料生産環境学科 食産業デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	統計的機械学習実践		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	栽培施設学Ⅰ	2	
	農業気象・環境学	2	
	栽培施設学Ⅱ		2
	スマート農業概論		2
	農作業システム学	2	
	フィールドロボティクス		2
	農業循環工学	2	
	機械と施設的设计	2	
	ものづくり実習	1	
	ポストハーベスト工学	2	
	熱工学	2	
	農産食品プロセス工学	2	
	生鮮食品保存科学	2	
	農業経済学	2	
	農業経営学		2
	食料・農業政策論	2	
	農業時事演習	1	
	食産業システム学実験Ⅰ	1	
	食産業システム学実験Ⅱ	1	
食産業システム学演習	1		

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	農場実習Ⅰ	1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	基礎遺伝学		2
	フィールド管理学		2
	食用作物学Ⅰ		2
	園芸学Ⅰ		2
	園芸学Ⅱ		2
	園芸学Ⅲ		2
	植物育種学Ⅰ		2
	植物病理学Ⅰ		2
	応用昆虫学Ⅰ		2
	植物生理学		2
	農場実習Ⅱ		1
	農場特別実習		1
	制御工学		2
	ロボティクス工学		2
	土質力学		2
	地域生態系保全論		2
	地理情報処理学		2
	水資源論		2
	水理学		2
	土壌物理学		2
	農地工学		2
	農村計画学		2
土壌資源利用論		2	
植物栄養学・肥料学		2	
食品化学工学		2	
食品化学・食品学		2	
微生物学概論		2	
食品機能学		2	
食品保蔵学		2	
食品衛生学		2	
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		49	42
合計必要修得単位数		91	

(4)－3 食料生産環境学科 水産システム学コース

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	物理学		2	
	化学入門		2	
	化学		2	
	生物学入門		2	
	生物学		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
インターンシップ			1	
科学英語			2	
科学文献読解法			2	
統計的機械学習実践			2	
海外特別実習			1	
卒業研究	6			
学科共通科目	食料生産環境学概論	2		
	応用数学		2	
	応用力学		2	
	情報処理演習	1		
専門重点科目	6次産業化論	2		
	水産科学入門	2		
	水産増殖学	2		
	水産動物学	2		
	水産植物学	2		
	水族ゲノム生物学		2	
	水族生理学	2		
	漁業資源生態学	2		
	水圏環境学		2	
	数理漁業資源学	2		
	水産食品加工学	2		
	水産食品化学		2	
	水産微生物学		2	
	マイクロ経済学入門	2		
	経営管理学入門	2		
	地域振興経済・政策論		2	
	自然環境論		2	
	環境経済学・資源経済学入門	2		
	水産物流・マーケティング論	2		
	水産政策学	2		
	コミュニケーション論	1		

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	水産生物学実験	1	
	分析化学実験	1	
	海洋実習Ⅰ	1	
	海洋実習Ⅱ	1	
	漁村調査実習	1	
	漁業資源管理学		2
	水産生命科学特別講義		2
	水産システム学演習Ⅰ	1	
	水産システム学演習Ⅱ	1	
	専門展開科目	基礎遺伝学	
熱工学			2
農産食品プロセス工学			2
生鮮食品保存科学			2
地域デザイン論			2
地域生態系保全論			2
遺伝子工学			2
基礎分析化学			2
細胞生物学			2
食品衛生学			2
食品化学・食品学			2
食品機能学			2
食品加工物理化学			2
公衆衛生学			1
生化学Ⅰ			2
食品化学工学			2
食品保蔵学			2
NPO・環境ガバナンス論			2
動物組織学			1
動物発生学			1
ロボティクス工学		2	
制御工学		2	
必要修得単位数		48	43
合計必要修得単位数		91	

## (5) 動物科学科

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数学入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	化学入門		2	
	生物学入門		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
	物理学		2	
	化学		2	
	生物学		2	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
インターンシップ			1	
科学英語			2	
科学文献読解法			2	
統計的機械学習実践			2	
海外特別実習			1	
卒業研究		6		
専門重点科目	動物科学総論	2		
	実験動物学概論	1		
	動物生理学Ⅰ	2		
	動物生理学Ⅱ	2		
	動物形態学Ⅰ	2		
	動物形態学Ⅱ	2		
	動物組織学	1		
	動物遺伝育種学	2		
	動物発生学	1		
	動物生殖学	2		
	動物生殖学各論	1		
	家畜生殖技術論	1		
	動物栄養学	2		
	飼料機能学	2		
	家畜飼養学	2		
	愛玩動物栄養学		1	
	草地学	2		
	動物管理学	2		
	動物行動学	2		
	動物園学		1	
	野生動物学		1	
	動物資源利用学Ⅰ	2		
	動物資源利用学Ⅱ		1	
農学のための倫理		1		
動物科学実験Ⅰ	3			

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	動物科学実験Ⅱ	3	
	牧場実習	1	
専門展開科目	農業経営学		2
	食品化学工学		2
	応用昆虫学Ⅰ		2
	食品化学・食品学		2
	生化学Ⅰ		2
	生化学Ⅱ		2
	野生動物管理学		2
	分子生物学Ⅰ		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	食品保蔵学		2
	地域生態系保全論		2
	基礎遺伝学		2
	微生物学概論		2
	植物栄養学・肥料学		2
	有機化学概論		2
	植物生理学		2
天然物化学		2	
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		49	42
合計必要修得単位数		91	

(6) 共同獣医学科

区分1	区分2	授業科目	単位数				
			必修	選択			
基礎獣医学科目	基礎獣医学科目群	獣医学概論	2				
		獣医倫理	2				
		獣医事法規	1				
		運動器・神経系解剖学	2				
		内臓・脈管系解剖学	2				
		解剖学実習	3				
		組織学	2				
		組織学実習	1				
		発生学	1				
		統合生理学	2				
		器官制御生理学	2				
		内分泌学	2				
		生理学実習	1				
		獣医遺伝育種学	1				
		動物行動学	2				
		実験動物学	2				
		実験動物学実習	1				
		基礎放射線学	2				
		獣医基礎生化学	2				
		獣医代謝生化学	2				
		生化学実習	1				
		基礎薬理学	2				
		統合薬理学	2				
		薬理学実習	1				
		小計	41				
	病態獣医学科目群	病態獣医学科目群	微生物学総論	2			
			病原微生物学	2			
			微生物学実習Ⅰ	1			
			微生物学実習Ⅱ	1			
			免疫学	2			
			原虫・原虫病学	2			
			蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	2			
			寄生虫学実習	1			
			動物感染症学	3			
			家禽疾病学	2			
			魚病学	2			
			動物病理学総論	2			
			動物病理学各論A (主要臓器)	2			
			動物病理学各論B (他臓器・組織)	2			
			病理学実習Ⅰ	1			
			病理学実習Ⅱ	1			
			小計	28			
			応用獣医学科目群	応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	1	
					疫学	2	
	人獣共通感染症学	2					
	環境衛生学	2					
公衆衛生学実習	1						
毒性学	2						
毒性学実習	1						
動物衛生学	2						
動物衛生学実習	1						
野生動物学	1						
食品衛生学 (獣医)	2						
食品衛生学実習	1						
公衆衛生実践実習	1						
小計	19						

区分1	区分2	授業科目	単位数		
			必修	選択	
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	1		
		呼吸器病・循環器病学	2		
		消化器病学	2		
		外科学総論	1		
		麻酔学・手術学	1		
		軟部外科学	1		
		小動物内科学実習・基礎編	1		
		小動物内科学実習・応用編	1		
		小動物外科学実習・基礎編	1		
		小動物外科学実習・応用編	1		
		内分泌病・皮膚病学	2		
		代謝病・中毒学	1		
		血液免疫病学	1		
		神経病・運動器病学	2		
		泌尿器病・生殖器病学	2		
		臨床病理学	2		
		臨床薬理学	1		
		臨床腫瘍学	2		
		臨床栄養学	1		
		画像診断学	2		
		画像診断実習	1		
		眼科学	1		
		動物行動治療学	1		
		総合参加型臨床実習Ⅰ	1		
		総合参加型臨床実習Ⅱ	1		
	総合参加型臨床実習Ⅲ	1			
	総合参加型臨床実習Ⅳ	1			
	小計	35			
	大動物臨床獣医学科目群	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	2	
			臨床繁殖学	2	
			繁殖機能制御学実習	1	
			臨床繁殖学実習	1	
			産業動物臨床学Ⅰ	2	
			産業動物臨床学Ⅱ	2	
			馬臨床学	1	
大動物臨床実習・基礎編			1		
大動物臨床実習・応用編			1		
総合参加型臨床実習Ⅴ			1		
総合参加型臨床実習Ⅵ	1				
小計	15				
選択科目	選択科目	インターンシップ (獣医)		1	
		海外実習		1	
		人と動物関係学		2	
		動物品種論		2	
		食品安全管理学		2	
		動物園動物学		2	
		国際感染症制御学		2	
		動物病院経営学		2	
小計		6			
専修科目	専修科目	獣医学演習	4		
		卒業研究	10		
		小計	14		
計			152	6	
合計			158		

### 3. 学部学生

#### (1) 入学年度別在籍者数

令和6年4月1日現在

入学年度 学科・課程	定 員			令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度			平成2年度		
	入学	編入	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	40	1	162	25	17	42	26	18	44	26	16	42	22	17	39	5	4	9
応用生物化学科	40	1	162	13	30	43	13	28	41	14	25	39	22	18	40	1	-	1
森林科学科	30	-	120	19	12	31	13	17	30	20	15	35	16	13	29	3	2	5
食料生産環境学科	60	2	244	45	20	65	42	22	64	37	23	60	33	25	58	6	-	6
動物科学科	30	1	122	7	23	30	9	21	30	8	24	32	7	20	27	-	2	2
共同獣医学科	30	-	180	13	20	33	12	21	33	15	18	33	18	15	33	17	15	32
計	230	5	990	122	122	244	115	127	242	120	121	241	118	108	226	32	23	55

入学年度 学科・課程	平成31年度			平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105	73	178
応用生物化学科	1	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	102	167
森林科学科	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	72	59	131
食料生産環境学科	3	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166	91	257
動物科学科	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	90	123
共同獣医学科	12	22	34	3	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	113	203
計	18	23	41	5	4	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	531	528	1059

#### (2) 研究生・科目等履修生・特別聴講学生受入状況

令和6年4月1日現在

区 分	研 究 生	科目等履修生	特別聴講学生	合 計
学 部	0	0	4	4
大 学 院	1	0	0	1
計	1	0	4	5

(3) 卒業者数

学科・課程	令和6年度	備考
植物生命科学科	39	
応用生物化学科	35	
森林科学科	30	
食料生産環境学科	54	
動物科学科	27	
共同獣医学科	32	
計	217	



## 4. 大学院修士課程

### (1) 在籍者数

総合科学研究科

令和6年10月1日現在

専攻・コース	定員		令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度			合計		
	入学	収容	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
地域創生専攻 地域産業コース (※農学部に所属する教員が指導する学生)			9	9	18	6	10	16	4	-	4	-	-	-	19	19	38
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース (※農学部に所属する教員が指導する学生)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農学専攻 植物生命科学コース	50	100	5	4	9	4	2	6	1	-	1	-	-	-	10	6	16
農学専攻 応用生物化学コース			13	8	21	10	12	22	-	-	-	-	-	-	23	20	43
農学専攻 動物科学コース			4	8	12	4	3	7	-	-	-	-	-	-	8	11	19
計			31	29	60	24	27	51	5	-	5	-	-	60	56	116	

### (2) 修了者数

総合科学研究科

専攻・コース	令和6年度	備考
地域創生専攻 地域産業コース (※農学部に所属する教員が指導する学生)	18	
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース (※農学部に所属する教員が指導する学生)	0	
農学専攻 植物生命科学コース	5	
農学専攻 応用生物化学コース	20	
農学専攻 動物科学コース	7	
計	50	

(3) 修了者の進路状況 (令和6年度)

産業別 就職者数	専攻名	性別	大学院進学	農業	漁業	鉱業 採石業	建設業	製造業										電気 ガス 水道 業	情報 通信 業	運輸 郵便 業	卸売業、 小売業		金融業、 保険業				
								食料 たばこ 飲料 業	繊維 工業 業	印刷 業	化学 工業 業	石油 石炭 業	鉄鋼 製品 業	非金属 製品 業	金属 製品 業	電気 機械 器具 業	電子 部品 製造 業				電気 機器 器具 業	輸送 機械 器具 業	製造 業 その他	卸売 業	小売 業	金融 業	保険 業
地域創生専攻	男	1				2	1						5	1			2		2	1	1						
	女					2	1							2	1							1					
農学専攻	男	1					3					4														1	1
	女						3					6		1						1							
計	男	2	0	0	0	2	4	0	0			4	5	1	0	0	2	0	2	1	1	0	1	0	1	1	
	女	0	0	0	0	2	4	0	0			6	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	

産業別 就職者数	専攻名	性別	不動産業、 物品賃貸業		学術研究、 専門・技術 サービス業		宿泊業、 娯楽業、 飲食業	生活 サービス 業	教育、 学習支援業		医療、 福祉		複合 サービス 業	サービス業 (他に分類されない もの)		公務 (他に分類されるもの を除く)		左 記 以 外	計 (a)
			不 動 産 取 引 業	物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 機 関 業	法 務 業			そ の 他 の 専 門 業	学 校 教 育	そ の 他 の 学 習 支 援 業	医 療 業		社 会 保 険 業	宗 教	そ の 他 の 業	国 家 公 務		
地域創生専攻	男						9							1	1	3		30	
	女					3					1	1		2	1	5		20	
農学専攻	男												1	3	1	2		17	
	女							1						1		2		15	
計	男	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	5	0	47
	女	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	1	0	0	3	1	7	0	35

(4) 修士論文一覧

令和6年9月修了

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム (※農学部に所属する教員が指導する学生)	澤口 岳志	クスサン(Caligula japonica)の幼虫期および蛹期の死亡要因

令和7年3月修了

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム (※農学部に所属する教員が指導する学生)	会田 裕雅	ウルシ林の動態および漆液収量の予測とそれに基づく経営形態別の収益性評価
	大泉 龍太郎	北東北地方におけるコムクドリの生息環境並びに営巣環境の解明と生息分布予測に関する研究
	菊地 夏奈	混和材料の添加によるモルタルの硬化時変形挙動と力学特性の変化
	齋藤 楓華	ウリハダカエデにおける樹液採取木の効率的な育成と選択
	佐野 佑真	青果物の冷凍解凍時の裂果およびドリップの抑制に関する研究
	谷目 葉	林業公社における森林カーボンクレジットの事業参画に関する研究
	都地 菜摘	減圧マイクロ波乾燥によるドライキウイフルーツ製造工程のライフサイクルアセスメント
	針谷 胡桃	塩ストレス下におけるコマツナの光合成応答—もみ殻培地による塩水湛水栽培での検討—
地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム (※農学部に所属する教員が指導する学生)	星野 彩優花	Quantitative evaluation of the reduction in the environmental burden during the life cycle of soy sauce (しょうゆのライフサイクルにおける環境負荷低減の定量的評価)
	金澤 海斗	多魚種漁獲がもたらす自然災害に対するレジリエンス：岩手県宮古市沖合底曳網漁を事例として
	阿部 成那	北上川水系におけるカジカ大卵型の遺伝的集団構造に関する研究
	太田 遊野	殻付き活ホタテガイの輸送と流通保管条件が活力に与える影響
	下山 奈津美	三陸産ワカメの消費文化と嗜好の国際比較：レシビ解析と官能評価による統合的アプローチ
	林 蒼太	マガキ <i>Crassostrea gigas</i> の空気曝露保管中の生化学的変化及び簡易的な活力測定法の検討
農学専攻 植物生命科学コース	三橋 瑛絵	漁船行動機械学習推定と経済ビックデータの統合解析による海洋生物資源量可視化
	加賀 惇	リンゴ奇形果病由来リンゴステムピットウイルス分離株の病原性に関する研究
	菊池 将騎	カイコ実用系統を用いた栄養と無核精子形成との関係の解明
	佐藤 桃李	植物を凍結することにより発生するカルシウムシグナルの特徴とその解析
	杉澤 奏	モノソミーカイコF <sub>4</sub> 世代の確定診断と初期選抜の効率化
鈴村 祐也	リンゴ‘はるか’における果実品質の樹内変動要因の解明	

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
農学専攻 応用生物化学コース	伊藤 優梨亜	イエネコにおける排泄物のおいし識別能力に関する研究
	大瀧 結衣	プラスマローゲン合成酵素の優良変異体創出に向けたアッセイ系の検討
	小原 紀	アロマデザイナーを活用した特徴的な香り成分の探索法に関する研究
	加藤 恵太	がん精巢抗原 KK-LC-1 の生殖細胞における動態に関する研究
	木村 樹南	タンパク質膜挿入機構解明を目的とした基質膜タンパク質の構築と精製
	齋藤 芽翠	ストレス応答シグナルの調節によるフェネチルイソチオシアネートの筋タンパク質代謝制御への影響
	佐藤 圭恭	Nectrianolin A と kolavenic acid analog の細胞における抗がんメカニズム
	佐藤 駿光	<i>Pseudoxanthomonas</i> sp. TN-N1 由来ポリアミド4分解酵素に関する研究
	須賀 絢香	ネコがコレステロール生合成を特異的に抑制する分子メカニズムに関する研究
	鈴木 芳	リンゴ園土壌の施肥管理の違いがリンゴ試験木の養分吸収と果実の品質に及ぼす影響
	高橋 春香	グリコール酸高分率ポリマー生合成に適した大腸菌宿主の探索
	中村 優太	イネにおける光化学系 II・光化学系 I の過剰光ストレスに対する協調的応答に関する研究：Rubisco 量の特異的抑制とリン欠乏における解析
	根本 真夕	中性 pH における大腸菌由来 lactaldehyde dehydrogenase の機能改変に関する研究
	長谷川 響	シスタミンおよびイミダゾールジペプチドによる視細胞保護効果の研究
	松本 千里	植物化石由来の生物活性物質の細胞を用いた活性の探索と作用メカニズム
	三浦 梨萌	生体膜形成に関わる GDP ジアシルグリセロール生合成酵素の構造と機能に関する研究
	門傳 春菜	ザゼンソウ発熱組織における温度応答性遺伝子の構造と発現に関する研究
	山本 波知	大腸菌における細胞質膜形成機構の解明
	LE THI NGOC ANH	オーキシンドェロン法を用いた天然資源からの植物ホルモン様物質の探索
渡会 未夢	マウス刷子縁膜小胞由来の生体膜保護因子の精製と構造機能解析	
専攻・コース等	氏名	修士論文題目
農学専攻 動物科学コース	五十嵐 あかり	高 pH 鹿肉の肉質に及ぼす要因に関する研究
	内橋 春香	ブタ初期胚における胞胚腔形成機序に関する研究
	大久保 航太	ウシ体外受精胚の遺伝子発現動態およびゲノム育種価同時評価法の確立
	尾畑 宏季	乾燥中の牛肉乾塩漬ハムの重量および水分含量に関する研究
	櫻井 晃佑	飼育ニホンジカによる放飼場の植生変化およびシバマットによる緑地化方法の検討
	二本木 紗耶	慢性腎臓病モデル動物における体内エーテル型リン脂質動態に関する研究
	山口 碧斗	インピーダンス測定による牛肉乾塩漬ハムの内部の水分含量の非破壊推定

## 5. 大学院博士課程

### (1) 岩手大学大学院獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 5名】

令和7年3月24日

入学年度	専攻	講座	氏名	学位論文題目	指導教員
R3	共同獣医学	動物基礎医学	菊地 美緒	ウマ血漿中マイクロRNAの発現プロファイルに関する基礎的研究 (Studies on expression profiles of circulating microRNAs in horses)	木崎景一郎

### (2) 岩手大学大学院連合農学研究科

【課程修了による学位取得者 8名】

令和6年9月25日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
R2	生物生産科学	動物生産学	MENG TONG	山形大学	人工知能の画像認識を利用した肉用鶏の摂食姿勢の検出と摂取量の推定 (Ingestion posture detection and intake estimation of broilers using image recognition of artificial intelligence)	堀口健一
R3	生物生産科学	動物生産学	高村 聡美	岩手大学	放射性物質汚染草地のカリウム施肥による除染に関する研究 (Study on decontamination of radioactive contaminated grassland by potassium fertilization)	澤井健
R3	生物資源科学	ゲノム・細胞システム学	杉田 健史	岩手大学	Mechanism of how plants survive freezing temperatures in winter ～The effects of freezing and light on cold acclimated plants～ (植物が冬の凍結を耐えるメカニズム ～低温馴化植物における明所での凍結処理が凍結耐性に及ぼす影響～)	河村幸男
R3	生物資源科学	ゲノム・細胞システム学	谷本 悠	岩手大学	トランスオミクス統合解析によるザゼンソウの組織および時期特異的熱産生機構の解明 (Integrated trans-omics analyses for unraveling mechanisms for tissue- and stage-specific thermogenesis in skunk cabbage ( <i>Symplocarpus renifolius</i> ))	伊藤菊一
R3	生物資源科学	ゲノム・細胞システム学	藤掛 雄馬	弘前大学	カタユウレイボヤの心臓における拍動反転機構の解明 (Elucidation of mechanisms of heart reversals in the ascidian <i>Ciona</i> )	西野敦雄

R3	生物資源科学	食品科学	WANG ZHUOLIN	岩手大学	Seasonal variation in thermal stability of silver carp ( <i>Hypophthalmichthys molitrix</i> ) muscle proteins and the properties at low salinity (ハクレン筋肉タンパク質の熱安定性の季節変化と低塩濃度条件下での特性)	袁春紅
R3	生物資源科学	食品科学	倉田 大丞	岩手大学	Search for optimizing conditions of food drying processes using vacuum microwave and far-infrared technologies (減圧マイクロ波処理および遠赤外線処理を用いた農産物乾燥技術の最適化に向けた加工条件の探索)	折笠貴寛
R3	地域環境創生学	地域環境工学	米田 一路	山形大学	湖沼における重要な環境因子を採用した大腸菌生存モデルの開発 (Development of numerical models on <i>Escherichia coli</i> survival in lakes employing significant environment factors))	渡部徹

【論文提出による学位取得者 2名】

令和6年9月25日

氏名	博士學位論文名	推薦教員名 (所属大学)
浅沼 宏一	地域素材を活用した発酵調味料開発のための評価方法の確立と醸造過程における微生物叢の解析 (Establishment of evaluation methods for the development of fermented seasonings using local ingredients and analysis of microflora in the brewing process)	山下哲郎 (岩手大学)
李 帥	細菌の生産するグリコサミノグリカン分解酵素に関する研究 (Research on glycosaminoglycan-degrading enzymes produced by bacteria)	濱田茂樹 (弘前大学)

【課程修了による学位取得者 18名】

令和7年3月24日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
R元	生物生産科学	動物生産学	佐藤 真	山形大学	飼料用トウモロコシの不耕起栽培に関する研究 (Study of non-tilled cropping of forage corn ( <i>Zea mays</i> L.))	松山裕城
R3	生物生産科学	生物生態制御学	NKOUM METOU' OU ERNEST	山形大学	Impacts of mud snail <i>Cipangopaludina chinensis</i> density on rice ecosystems: interactions with Japanese treefrog larvae and apple snail Grazing (マルタニシ <i>Cipangopaludina chinensis</i> の密度が稲作生態系に与える影響: ニホンアマガエルの幼虫との相互作用とリンゴガイの摂食)	佐藤智
R4	生物生産科学	生物生態制御学	YUDISTIRA DWI HARYA	山形大学	Effect of food waste derived black soldier fly <i>Hermetia illucens</i> (Diptera: Stratiomyidae) frass on arthropod abundance and local varieties plant performance (食品廃棄物由来のアメリカミズアブ ( <i>Hermetia illucens</i> , Diptera: Stratiomyidae) 堆肥が節足動物の個体数及び在来植物品種の生育に及ぼす影響)	佐藤智

R3	生物資源科学	生物分子機能学	WANG MENG	弘前大学	タマネギの麟茎肥大促進因子に関する化学的研究 (Chemical studies on Bulb-forming factors in onions)	高田晃
R3	生物資源科学	生物分子機能学	SHOVON SHAHRIAR RAHMAN	弘前大学	Pre-rRNA processing upon stress in <i>Caenorhabditis elegans</i> (ストレス下での線虫 rRNA 前駆体プロセッシング)	牛田千里
R4	生物資源科学	生物分子機能学	上野山 怜子	岩手大学	The behavioral response induced by a variety of iridoids in silver vine with high safety is conserved among a large part of Felidae species (多様なイリドイドによって誘起されるマタタビ反応は、安全性が高く多くのネコ科動物で保存されている)	宮崎雅雄
R4	生物資源科学	生物分子機能学	OU XUHAN	弘前大学	ジャスモン酸メチルライブラリーの構築とその農業への応用 (Preparation of methyl jasmonate library and its agricultural application)	高田晃
R4	生物資源科学	ゲノム・細胞システム学	千葉 悠平	岩手大学	根粒共生における宿主特異性機構の研究 (Understanding the host specificity mechanisms in root nodule symbiosis)	川原田泰之
R4	生物資源科学	食品科学	柴田 真樹	弘前大学	海藻由来フコキサンチン及びその代謝物による抗肥満作用に関する研究 (Anti-obesity effects of fucoxanthin and the metabolites contained in algae)	前多隼人
R4	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	QING GELETU	山形大学	中国における内モンゴル産牛肉のフードシステムに関する研究—内モンゴルの牛肉企業の実態と消費者の評価に注目して— (Research on the food system of Inner Mongolia beef in China —Focusing on the actual situation of beef companies in Inner Mongolia and consumer evaluations—)	藤科智海
R4	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	中村 洗介	岩手大学	多魚種漁獲による大型定置網漁業の経営安定化の可能性 (Economic stability through multi-species landings: a study of large-scale set-net fishery)	石村学志

R4	地域環境創生学	地域環境工学	上田 翔	弘前大学	スマートフォンを用いたトライコーム密度測定によるトマトの肥料ストレス評価法の開発 (Development of a smartphone-based method for assessing tomato nutrient stress through trichome density measurement)	叶旭君
R2	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	MOON SUNJAE	岩手大学	縮合型タンニンモデル化合物の有機合成および生分解 (Organic synthesis and biodegradation of condensed tannin model compounds)	小藤田久義
R3	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	榎本 孝晃	山形大学	Spatial, temporal, and trophic niche variations in raccoon dogs (タヌキにおける空間・時間・栄養ニッチの変異)	斎藤昌幸
R3	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	SCHAEFER MICHAEL LEOPOLD	山形大学	Impact of slope orientation and vegetation on soil moisture dynamics during snowmelt in alpine forests and LoRaWAN technology for monitoring environmental data in remote areas (高山林における雪解け時の土壌水分動態に対する傾斜方位と植生の影響と遠隔地における環境データのモニタリングのためのLoRaWAN技術)	Lopez Caceres Maximo Larry
R4	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	富永 豪太	弘前大学	日本産ヒメカゲロウ科(昆虫綱, 脈翅目)の分類学的研究 (Systematic study of the family Hemerobiidae of Japan (Insecta, Neuroptera))	中村剛之
R4	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	森井 椋太	弘前大学	クロサンショウウオにおける自然選択と性選択がもたらす緯度パターン (The latitudinal patterns driven by natural and sexual selections in the Japanese black salamander, <i>Hynobius nigrescens</i> )	曾我部篤
R4	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	渡部 優	岩手大学	階層的計画プロセスに基づく高規格路網の広域計画手法の構築に向けた基礎的研究 (Fundamental research for developing a regional planning method for high-standard road networks based on a hierarchical planning process)	齋藤仁志

## IV 国際交流



# 1. 海外渡航

## (1) 出張

NO	所属	職名	氏名	出張開始	～	出張終了	目的国	用務内容
1	動物科学科	准教授	牧野 良輔	令和6年4月1日	～	令和7年2月1日	イギリス	令和5年度尾手大学教員長期海外渡航のため
2	共同獣医学科	特任准教授	木村 淳	令和6年5月18日	～	令和6年5月26日	メキシコ	2024年 第32回世界牛病学会(WBC)
3	共同獣医学科	教授	一條 俊浩	令和6年5月18日	～	令和6年5月26日	メキシコ	2024年 第32回世界牛病学会(WBC)
4	大学院獣医学研究科	学生	CHEE HUEYSHY	令和6年5月18日	～	令和6年5月25日	メキシコ	2024年 第32回世界牛病学会(WBC)
5	大学院連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和6年6月23日	～	令和6年6月29日	スウェーデン	国際学会(IUFRO2024)への参加と木質バイオマス利用に関する研究発表
6	森林科学科	助教	山崎 遥	令和6年9月13日	～	令和6年9月24日	ドイツ	ロッテンブルグ大学研修の引率
7	森林科学科	准教授	當山 啓介	令和6年6月21日	～	令和6年7月1日	スウェーデン	国際学会IUFRO World Congress2024参加
8	地域創生専攻	学生	熊谷 眞菜香	令和6年6月6日	～	令和6年6月27日	中国	海外インターンシップとグローバルコミュニケーション
9	大学院獣医学研究科	学生	Afrin Faria	令和6年7月13日	～	令和6年8月8日	アメリカ	海外発表とインターンシップ
10	動物科学科	教授	澤井 健	令和6年7月13日	～	令和6年7月22日	アイルランド	Society for the Study of Reproduction 2024年次大会参加
11	農学専攻	学生	大久保 航太	令和6年7月13日	～	令和6年7月22日	アイルランド	Society for the Study of Reproduction 2024年次大会参加
12	農学専攻	学生	渡部 優	令和6年6月23日	～	令和6年6月29日	スウェーデン	IUFRO 2024 参加のため
13	応用生物化学科	教授	宮崎 雅雄	令和6年7月17日	～	令和6年7月30日	ドイツ	研究打ち合わせ、動物園の実験、学会、テレビ撮影
14	大学院連合農学研究科	特別研究員	上野山 怜子	令和6年7月17日	～	令和6年7月30日	ドイツ	研究打ち合わせ、動物園の実験、学会、テレビ撮影
15	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	令和6年7月14日	～	令和6年7月20日	マレーシア	国際学会発表
16	共同獣医学科	教授	村上 賢二	令和6年7月3日	～	令和6年7月8日	インドネシア	第8回日本インドネシア獣医学研究科協議会(AJIVE)
17	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和6年7月13日	～	令和6年7月19日	中国	第11回国際園芸研究会議 参加
18	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和6年7月17日	～	令和6年7月24日	中国	先) 中国食育大会の参加発表
19	応用生物化学科	教授	山田 美和	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
20	農学専攻	学生	小森 美花	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
21	農学専攻	学生	田邊 脩太	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
22	農学専攻	学生	氏家 詩織	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
23	農学専攻	学生	神 生蒔	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
24	農学専攻	学生	林田 宗記	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
25	農学専攻	学生	高橋 春香	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
26	農学専攻	学生	根本 真夕	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
27	農学専攻	学生	佐藤 駿光	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
28	大学院連合農学研究科	学生	齋藤 祐介	令和6年10月18日	～	令和6年10月25日	マレーシア	The International Symposium on Biopolymers (ISBP)2024に参加、発表
29	食料生産環境学科	教授	小出 章二	令和6年9月25日	～	令和6年9月30日	インドネシア	11th ISMABIに参加、および現地の食産業に関する調査
30	共同獣医学科	准教授	横山 拓矢	令和6年10月22日	～	令和6年10月26日	フィリピン	国際学会発表: 9th Congress of the Asian AVA
31	大学院獣医学専攻	学生	齋藤 優気	令和6年10月22日	～	令和6年10月26日	フィリピン	国際学会発表: 9th Congress of the Asian AVA
32	地域創生専攻	学生	滝村 恋奈	令和6年9月25日	～	令和6年9月30日	インドネシア	11th ISMABIに参加発表、及び現地の食産業に関する調査
33	地域創生専攻	学生	佐野 佑真	令和6年9月25日	～	令和6年9月30日	インドネシア	11th ISMABIに参加発表、及び現地の食産業に関する調査
34	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和6年9月1日	～	令和6年9月7日	インドネシア	EAFTA2024の参加発表
35	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和6年9月19日	～	令和6年10月3日	フィンランド、デンマーク、ノルウェー	フィンランド、デンマーク、ノルウェーの研究機関との共同研究打ち合わせ
36	農学系技術部	技術職員	成澤 朋紀	令和6年9月13日	～	令和6年9月25日	ドイツ	ロッテンブルグ大学等の視察・研修
37	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和6年9月17日	～	令和6年10月1日	カナダ	共同プロジェクト
38	地域創生専攻	学生	三宅 駿矢	令和6年9月13日	～	令和6年9月26日	ドイツ	ロッテンブルグ研修(グローバルコミュニケーション)
39	大学院連合農学研究科	学生	HU ZHIHENG	令和6年9月5日	～	令和6年10月16日	中国	海外インターンシップ
40	共同獣医学科	准教授	宮崎 珠子	令和6年9月3日	～	令和6年9月11日	イギリス、フランス	学術交流

N0	所属	職名	氏名	出張開始	～	出張終了	目的国	用務内容
41	食料生産環境学科	准教授	山本 清仁	令和6年10月21日	～	令和6年10月26日	台湾	先)PAWEES 2024 INTERNATIONAL CONFERENCE に参加
42	地域創生専攻	学生	菊地 夏奈	令和6年10月21日	～	令和6年10月26日	台湾	PAWEES 2024 INTERNATIONAL CONFERENCE に参加
43	森林科学科	教授	真坂 一彦	令和6年9月13日	～	令和6年9月24日	ドイツ	ロッテンブルグ大学等の視察・学生引率
44	地域創生専攻	学生	下山 奈津美	令和6年9月1日	～	令和6年9月7日	インドネシア	EAFITA2024の参加発表
45	地域創生専攻	学生	太田 遊野	令和6年8月29日	～	令和6年9月17日	アイルランド	グローバルコミュニケーション
46	地域創生専攻	学生	臼田 晶紀	令和6年10月22日	～	令和6年10月26日	台湾	PAWEES 2024 INTERNATIONAL CONFERENCE に参加
47	地域創生専攻	学生	関口 百合子	令和6年9月9日	～	令和6年9月17日	インドネシア	グローバルコミュニケーションの実施
48	応用生物化学科	教授	宮崎 雅雄	令和6年10月15日	～	令和6年10月23日	フランス	ネコ科専門の動物園のネコを使い、マタビ反応性試験を実施する。フランス科学雑誌の撮影
49	地域創生専攻	学生	茂庭 里帆	令和6年10月22日	～	令和6年10月26日	台湾	PAWEES2024INTERNATIONAL CONFERENCEでの研究発表(地創:グローバル)
50	大学院連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和6年9月7日	～	令和6年9月17日	インドネシア	日本造園学会東北支部大会、グローバルコミュニケーション引率他
51	大学院連合農学研究科	学生	SHARMA SUBARNA	令和6年9月21日	～	令和6年9月28日	オーストラリア	第13回国際小麦会議参加
52	地域創生専攻	学生	相川 ゆきえ	令和6年9月13日	～	令和6年9月26日	ドイツ	ロッテンブルグ大学等の視察(グローバルコミュニケーション)
53	地域創生専攻	学生	宮澤 優輔	令和6年9月13日	～	令和6年9月26日	ドイツ	ロッテンブルグ大学等の視察(グローバルコミュニケーション)
54	共同獣医学科	特任助教	土谷 佳之	令和6年10月19日	～	令和6年10月27日	アメリカ	酪農セミナー出席
55	動物科学科	准教授	村元 隆行	令和6年12月1日	～	令和6年12月16日	スペイン	イベリコ種豚の生産農場およびイベリコハムの生産・販売企業の調査
56	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和6年12月19日	～	令和7年1月1日	マレーシア、インドネシア	インドネシア、マレーシアでの共同研究打ち合わせとジャワ島中部での植生調査
57	農学部	事務職員	相川 和慶	令和6年11月22日	～	令和6年11月29日	インドネシア	日本留学フェア参加、協定締結予定校訪問ほか
58	大学院連合農学研究科	学生	四宮 一隆	令和6年10月22日	～	令和6年10月24日	台湾	PAWEES 2024 INTERNATIONAL CONFERENCE に参加、発表
59	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	令和6年11月14日	～	令和6年11月19日	インドネシア	2024Pew国際会議
60	植物生命科学科	教授	畠山 勝徳	令和6年11月29日	～	令和6年12月6日	中国	中国協定校の訪問
61	動物科学科	助教	斎藤 梨絵	令和6年11月29日	～	令和6年12月6日	中国	中国協定校の訪問
62	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和6年11月29日	～	令和6年12月6日	中国	中国協定校表敬訪問
63	農学部	特別研究員	蘭 正人	令和6年1月19日	～	令和6年3月11日	タイ	二国間交流事業によるタイでの研究のため
64	植物生命科学科	准教授	川原田 泰之	令和6年2月19日	～	令和6年2月28日	タイ	二国間交流事業によるタイでの研究のため
65	大学院連合農学研究科	学生	千葉 悠平	令和6年2月19日	～	令和6年2月28日	タイ	二国間交流事業によるタイでの研究のため
66	大学院連合農学研究科	学生	JANNAT MAH	令和6年2月19日	～	令和6年2月28日	タイ	二国間交流事業によるタイでの研究のため
67	大学院連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和6年11月22日	～	令和6年12月2日	インドネシア	日本留学フェア参加、協定締結予定校訪問、卒業生訪問ほか
68	農学部	JSPS特別研究員	倉田 大丞	令和7年1月13日	～	令和7年1月19日	イギリス、ドイツ、フランス	展示会への参加及びイギリスとドイツの市場調査
69	大学院獣医学科	学生	井上 聡士	令和7年3月15日	～	令和7年3月21日	アメリカ	The SOT 64th Annual Meeting and ToxExpo 発表
70	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和7年1月19日	～	令和7年2月3日	バングラデシュ	共同プロジェクト
71	動物科学科	助教	斎藤 梨絵	令和7年2月26日	～	令和7年3月8日	カメルーン	グローバルキャリア支援海外派遣によるカメルーン出張
72	応用生物化学科	教授	木村 賢一	令和7年1月21日	～	令和7年1月26日	タイ	第25回岩手大学大学院連合農学研究科構成法人関係調整委員会、タイ協定校表敬訪問
73	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和7年3月3日	～	令和7年3月17日	マダガスカル、UAE、イタリヤ	共同研究打ち合わせ
74	食料生産環境学科	准教授	荒木 笙子	令和7年2月15日	～	令和7年2月19日	インドネシア	現地視察のため
75	応用生物化学科	教授	宮崎 雅雄	令和7年3月25日	～	令和7年3月31日	アメリカ	ACSシンポジウム発表、サンディエゴ動物園実験
76	共同獣医学科	教授	木崎 景一郎	令和7年2月21日	～	令和7年2月25日	バングラデシュ	先)16th International Symposium 2025 of BSJPSAA出席
77	地域創生専攻	学生	岩崎 隼也	令和6年10月22日	～	令和6年10月26日	台湾	PAWEES 2024 INTERNATIONAL CONFERENCE に参加、発表
78	地域創生専攻	学生	岩崎 隼也	令和6年4月1日	～	令和6年4月22日	フィリピン	NPO法人IMAGINUSIによる国際インターンシップ
79	地域創生専攻	学生	岩崎 隼也	令和6年9月29日	～	令和6年10月20日	ケニア	2024年度第1回JICAインターンシッププログラム
80	大学院連合農学研究科	学生	QI LIN	令和6年11月18日	～	令和7年1月19日	中国	大連海洋大学での実験研究
81	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和7年3月26日	～	令和7年4月7日	中国	日本水産学会、南昌大学の共同研究打ち合わせ
82	大学院連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和7年2月28日	～	令和7年3月9日	インドネシア	ジャワ農村における地域資源利用に関する調査等

## (2) 研修

令和6年度は、研修の実績なし。

## 2. 外国人研究者の受入

氏名	現職	研究(研修)期間	受入区分	受入学科等・教員名	
李 芙蓉	岩手大学	R6.4.1~R6.12.31	客員研究員	植物生命科学科	小森 貞男
Nabila Mumtahina	岩手大学	R6.4.1~R7.3.31	客員研究員	植物生命科学科	松波 麻耶
劉 光憲	江西省農業科学研究院農産物加工研究所 副研究員	R6.7.24~R7.1.23	客員研究員	食糧生産環境学科	袁 春紅
張 龍	上海海洋大学食品学院・副教授	R6.10.10~R7.10.9	客員研究員	食糧生産環境学科	袁 春紅

## 3. 留学生の受入

令和6年11月1日現在

		中国	韓国	ベトナム	バングラデシュ	ニジェール	計	
学部	植物生命科学科	1					1	
	応用生物化学科	1					1	
	森林科学科							
	食料生産環境学科							
	動物科学科	2					2	
	共同獣医学科							
計		4					4	
大学院	総合科学研究科 農学専攻		1	1			2	
	総合科学研究科 地域創生専攻(※)							
計			1	1			2	
研究生等	研究生	学部				1	1	
		大学院				1	1	2
	特別聴講学生	学部	1	1				2
		大学院	2					2
	計		3	1		2	1	7
合計		7	2	1	2	1	13	

※は、農学部に所属する教員が受け入れた留学生の人数を記載.

## 4. 海外派遣と受入

### (1) 全南大学

区分	内訳		
派遣	2024.8 (2週間)	1名	(食料生産環境学科 2年次)

### (2) アーラム大学

区分	内訳		
派遣	2024.8~2025.5	1名	(共同獣医学科 4年次)

### (3) オーバン大学

区分	内訳		
派遣	2024.9 (3週間)	1名	(共同獣医学科 5年次)

### (4) ロッテンブルク大学 (プログラム名: グローバルコミュニケーション)

区分	内訳		
派遣	2024.9 (3週間)	3名	(総合科学専攻 地域創生専攻 1年次)

### (5) ロッテンブルク大学 (プログラム名: いわてグローバル人材育成プログラム)

区分	内訳		
派遣	2024.9 (3週間)	1名	(森林科学科 3年次)

### (6) 寧波大学

区分	内訳		
派遣	2025.3 (2週間)	2名	(植物生命科学科 1年次2名)

### (7) ガネーシャ教育大学

区分	内訳		
派遣	2025.3 (2週間)	1名	(森林科学科 2年次)

### (8) 上海海洋大学

区分	内訳		
受入	2024.4-2025.2	農学部	特別聴講学生 1名
	2024.4-2024.8	農学部	特別聴講学生 2名
	2024.8 (2週間)	サマープログラム	1名

### (9) 全南大学

区分	内訳		
受入	2024.4-2025.2	農学部	特別聴講学生 1名

### (10) サスカチュワン大学

区分	内訳		
受入	2024.8 (2週間)	サマープログラム	11名

## V 地域交流



## 1. セミナー・公開講座等の開催

### (1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの （植物生命科学科）

#### 第45回 岩手育種談話会

- ・開催日：令和6年4月22日（月）
- ・場所：岩手大学農学部6番講義室
- ・テーマ①：「菌の植物ホルモン様代謝物が規定する植物感染糸状菌の病原および共生戦略」
- ・講師：晝間 敬（東京大学大学院総合文化研究科）
- ・参加人数：28名
- ・共催：岩手農林研究協議会（AFR）、植物生命科学セミナー、JST さきがけ
- ・世話人：畠山勝徳（岩手大学教授）

#### 第26回 りんどう研究会

- ・開催日：令和6年11月1日（金）
- ・場所：岩手大学農学部5号館2階 ぼらんホール
- ・テーマ①：「りんどうの花が開く仕組み」
- ・講師：根本圭一郎（岩手生物工学研究センター）
- ・テーマ②：「サボテンのようなリンドウ」
- ・講師：高橋俊明（株式会社T&G バイオナーサリー）
- ・参加人数：47名
- ・共催：岩手農林研究協議会（AFR）
- ・世話人：畠山勝徳（岩手大学教授）

### （附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

#### リカレントプログラム 牛のIVP技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・開催日：令和6年4月9日（火）～4月14日（日）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加人数：4名
- ・内容：磯動物病院の胚培養技術者に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

#### リカレントプログラム 牛のIVP技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・開催日：令和6年5月28日（火）～6月2日（日）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加人数：2名
- ・内容：磯動物病院および（株）関家畜人工授精所の胚培養技術者に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

#### 日本ブルーベリー協会全国産地シンポジウム

- ・対象：全国のブルーベリー生産者
- ・開催日：令和6年6月28日（金）～29日（土）
- ・場所：滝沢農場ほか
- ・参加人数：200名
- ・内容：渡邊教員および村上技術職員が滝沢農場でブルーベリー品種見本園を解説した。

#### 令和6年度盛岡地方りんご専門技術研修会（第2回）

- ・対象：盛岡地域のりんご生産者
- ・開催日：令和6年8月23日（金）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：20名
- ・内容：渡邊教員がりんご‘はるか’の糖蓄積およびみつ入りについて解説した。

#### いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」

- ・対象：岩手県内の農業者等
- ・開催日：令和6年9月26日（木）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：19名
- ・内容：渡邊教員がブルーベリーに関して講義した。その後、イネ初冬直播き栽培、りんご‘はるか’などを見学した。

#### リカレントプログラム 牛のIVP技術研修（産業応用編）

- ・対象：産業動物獣医師
- ・期日：令和6年10月15日（火）～10月26日（土）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内容：(株)フジモリ牛群サポートの獣医師に対し、牛の経膈採卵および体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

#### フォレストワーカー研修 森林作業道作設

- ・対象：森林技術者
- ・開催日：令和6年10月30日（水）～31日（木）
- ・場所：御明神演習林
- ・参加人数：18名
- ・内容：森林作業道作設の基本についての座学と実技実習を行った。

#### フォレストリーダー研修 森林路網計画

- ・対象：現場管理責任者
- ・開催日：令和6年11月12日（火）
- ・場所：御明神演習林
- ・参加人数：16名
- ・内容：森林路網計画のための現地踏査技術とICT技術を利用した現地踏査方法に関して実習を行った。

#### 職業的専門家 木の工房会研修

- ・対象：木の工房会
- ・開催日：令和6年10月4日（金）
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：10名
- ・内容：里山に関する講義とアカマツ林を中心とする植生の自然観察を行った。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対 象：産業動物獣医師
- ・期 日：令和7年3月10日（月）～3月22日（土）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内 容：NOSAI 山形の獣医師に対し、牛の経膈採卵および体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対 象：産業動物獣医師
- ・期 日：令和7年3月10日（月）～3月14日（金）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内 容：グーエンブリオテクノロジー(株)の獣医師に対し、牛の経膈採卵および体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対 象：産業動物獣医師
- ・期 日：令和7年3月17日（月）～3月24日（月）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内 容：(株) MU 動物病院の獣医師に対し、牛の経膈採卵および体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対 象：畜産技術者
- ・期 日：令和7年3月17日（月）～3月28日（金）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内 容：(株) MU 動物病院の畜産技術者に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

**（附属動物病院）**

令和6年度第1回岩手大学動物病院セミナー

期日：令和6年4月25日（木）19：30～20：30

場所：岩手大学動物病院産業動物臨床棟2階・遠隔講義室、オンライン

テーマ：PDA と左房への右左短絡が認められた猫の1例

講師：共同獣医学科 小動物内科学 棚橋蘭珠

テーマ：長期のステロイド投与により皮膚石灰沈着症を呈した医原性クッシング症候群の犬

講師：共同獣医学科 小動物内科学 白石ちひろ

参加人数：20名

令和6年度附属動物病院動物看護師・学生セミナー

日時：令和6年6月25日 17:00～18:00

場所：岩手大学農学部附属動物病院臨床実習室3

テーマ：麻酔中の低血圧への対応

講師：酪農学園大学獣医麻酔学ユニット 伊丹貴晴 准教授

参加人数：17名

令和6年度第2回岩手大学動物病院セミナー

期日：令和6年6月20日（木）19：30～20：30

場所：岩手大学動物病院産業動物臨床棟2階・遠隔講義室、オンライン

テーマ：治療に対する反応が弱い消化器型リンパ腫の猫

講師：共同獣医学科 小動物内科学生 浅野弘喜

テーマ：骨腫瘍により四肢麻痺を呈した症例

講師：共同獣医学科 小動物外科学生 矢下大登

参加人数：20名

令和6年度第3回岩手大学動物病院セミナー

期日：令和6年10月24日（木）19：30～20：30

場所：岩手大学動物病院産業動物臨床棟2階・遠隔講義室、オンライン

テーマ：これまでの研究内容の紹介

講師：共同獣医学科 宮本 良 助教

参加人数：29名

令和6年度第4回岩手大学動物病院セミナー

期日：令和6年12月19日（月）19：30～20：30

場所：岩手大学動物病院伴侶動物診療棟2階・臨床実習室3、オンライン

テーマ：クッシングの治療により睡眠関連呼吸障害の改善が得られた犬の1例

講師：附属動物病院 内科研修医 佐藤詩織 先生

テーマ：治療抵抗性を示したT<sub>zone</sub> lymphoma疑いの犬の1例

講師：共同獣医学科 小動物内科学生 菅原悠矢

参加人数：25名

令和6年度第5回岩手大学動物病院セミナー

期日：令和7年2月20日（金）19：30～20：30

場所：岩手大学動物病院産業動物診療棟2階・遠隔講義室、オンライン

テーマ：閉塞性尿管結石の猫10頭におけるタムスロシンの効果

講師：共同獣医学科 小動物内科学生 風間達哉

テーマ：滑膜粘液肉腫により脊髄障害を起こした犬の1例

講師：共同獣医学科 小動物外科学生 山田朋世

参加人数：18名

## （2）一般市民・児童生徒を対象とするもの

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

テンパーク冒険子ども食堂

・対象：小学4年生～中学生

・開催日：令和6年10月13日（日）

・場所：滝沢農場

・参加人数：25名

・内容：参加者が子ども食堂で調理する食材の収穫を体験した

#### 魅力化協働パートナーシップ植物科学研修会（1）

- ・対象：盛岡農業高等学校 1，2年生
- ・開催日：令和6年7月26日（金）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：46名
- ・内容：ブルーベリーの収穫体験と試食を行った。

#### 魅力化協働パートナーシップ植物科学研修会（2）

- ・対象：盛岡農業高等学校 1，2年生
- ・開催日：令和6年11月20日（水）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：46名
- ・内容：リンゴ‘はるか’に関する講義と無袋果および有袋果の試食を行った。

#### FSC 共催令6年度盛岡市中央公民館講座 「大学の森で学ぼう」～北上山系と奥羽山系それぞれの魅力～

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和6年6月14日（金）
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：18名
- ・内容：里山に関する講義とアカマツ林を中心とした北上山系の自然観察を行った。

#### 第174回フィールドセミナー（総合学習時間における森林学習（53）

- ・対象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・開催日：令和6年7月2日（火）
- ・場所：国立岩手山青年の家
- ・参加人数：66名
- ・内容：世界と日本の森林の現状と課題についての講義を行った。

#### 第175回フィールドセミナー（総合学習時間における森林学習（54）

##### ー技術職員と学ぶ森林作業ー

- ・対象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・開催日：令和6年7月3日（水）
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：66名
- ・内容：森林管理作業の体験として下草刈り作業と自然観察のためのネイチャーゲームを実施し、森林とその管理についての学習を行った。

#### サイエンススクール

- ・対象：中学生およびその保護者
- ・期日：令和6年7月29日（月）～8月5日（月）
- ・場所：上田キャンパス動物病院
- ・参加数：15名
- ・内容：子牛4頭を貸し出し、サイエンススクールの実施に協力した。

FSC 共催令6年度盛岡市中央公民館講座 「大学の森で学ぼう」～北上山系と奥羽山系それぞれの魅力～

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和6年10月4日（金）
- ・場所：御明神演習林
- ・参加人数：15名
- ・内容：中山間地域に関する講義とブナ林を中心とした奥羽山系の自然観察を行った。

#### （附属動物病院）

令和6年第1回パピークラス@岩手大学

期日：令和6年7月6日、13日、20日、27日、8月3日（土）10:00～11:30

場所：岩手大学農学部附属動物病院待合室

テーマ：子犬の社会科

講師：動物病院 宮田真智子 客員教授

参加人数：5家族（犬5頭）

令和6年第2回パピークラス@岩手大学

期日：令和6年10月5日、12日、19日、26日、11月2日（土）10:00～11:30

場所：岩手大学農学部附属動物病院待合室

テーマ：子犬の社会科

講師：動物病院 宮田真智子 客員教授

参加人数：3家族（犬3頭）

令和6年第3回パピークラス@岩手大学

期日：令和7年1月25日、2月1日、8日、15日、22日（土）10:00～11:30

場所：岩手大学農学部附属動物病院待合室

テーマ：子犬の社会科

講師：動物病院 宮田真智子 客員教授

参加人数：3家族（犬3頭）

### （3） 公開講座等

#### ア 公開講座

##### （共同獣医学科）

「動物のお医者さんになるためには 自然を守る獣医編 ～野生動物や環境も診る獣医～」

- ・対象：中高生および一般市民
- ・期日：令和7年3月13日（木）
- ・場所：ぼらんホール
- ・参加人数：対面参加者36名、Web参加者65名（計101名）
- ・内容：昨今の地球温暖化や希少動物の保護などの環境問題にも獣医学が貢献している中、獣医師に興味を抱く中高生および一般市民を対象に、野生動物や環境問題に取り組む獣医師の仕事内容と社会的役割について学ぶ機会を提供することを目的に講演会を実施した。本学獣医学部の紹介を含め、動物園獣医師、希少種保護担当の公務員獣医師による講演後にオンライン参加者も対象に質疑応答をおこなった。

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

「第5回大学農場で体験する食と農と生物学」

- ・対象：中高生および一般市民
- ・期 日：令和6年7月31日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：11名
- ・内 容：農場の見学、果樹に関する講義、ブルーベリー収穫およびブルーベリージャム加工を実施した。

## イ アグリビジネス創出フェアへの出展

- ・開催日：令和6年11月26日（火）～11月28日（木）
- ・場 所：東京ビッグサイト 南2ホール
- ・内 容：水産ブース：海洋環境の大きな変化に伴い、特定の魚種・業態に過度に依存した水産業の脱却を図るため、既存の水産業と並立した新業態水産業創生に向けて長期的視野に立ち、漁業者や公設試が負うことができないリスクの高い養殖・種苗開発研究に挑戦  
(食料生産環境学科 平井俊朗教授・三陸水産研究センター)

## ウ その他

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

花苗販売会

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和6年4月4日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：56名
- ・内 容：ビオラ、パンジー苗を中心に春の花壇の花苗を販売した。

ブルーベリー摘み取り

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和6年7月11日（木）、7月17日（水）、7月23日（火）、7月26日（金）、7月30日（火）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：343名
- ・内 容：完全予約制で実施した。

第30回森の駅市場

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和5年8月6日（火）
- ・場 所：学生センター横
- ・参加人数：約100名
- ・内 容：植物生命科学科3年生が履修する農場特別実習の一環で、学生が収穫、調整した農場生産物を販売した。販売物は、トウモロコシ、モモ、ブルーベリー、エダマメ、味噌、雑穀、花苗等であった。

第31回森の駅市場

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和6年12月6日（金）

- ・場 所：学生センター前
- ・参加人数：約 120 名
- ・内 容：植物生命科学および食料生産環境学科食産業システム学コース 2 年生が履修する農場実習Ⅱの一環で、学生が収穫、調整した農場生産物を販売した。販売物は、リンゴ、サツマイモ、ダイコン、サトイモ、コメ、シクラメン、ブルーベリージャム、味噌、雑穀等であった。

#### リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和 6 年 12 月 18 日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：130 名
- ・内 容：家庭用向け‘ふじ’などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

#### リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和 7 年 1 月 15 日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：70 名
- ・内 容：家庭用向け‘ふじ’などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

#### 牛肉販売会

- ・対 象：岩手大学職員等
- ・開 催 日：令和 6 年 11 月 22 日（金）
- ・場 所：農学部 2 号館第 2 会議室
- ・参加人数：約 100 名
- ・内 容：御明神牧場産の去勢肥育牛を株式会社いわちくで解体処理、パック詰めし、販売した。

## 2. その他の地域連携事業

### (1) いわてアグリフロンティアスクール

#### ア 事業実施の背景、目的

##### (ア) 平成 24 年度までの取組経過

日本農業の現状を背景とし、国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成するため、経営感覚・企業家マインドを持つ先進的な農業経営者を養成できる教育プログラムの開発と実践が求められた。

岩手大学では、こうした要請に応えるべく文部科学省の支援を受け、岩手大学を事業主体の中心として岩手県及び農業団体と連携し、建学の精神（地域のための農学）に立ち返る「いわてアグリフロンティアスクール」を平成 19 年度に設立して、産官学連携による先進的な農業経営者等の養成を目指す教育を展開してきた。

平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間、農業者、農業関係の県・市町村・団体職員などを対象に、農業経営、生産管理、マーケティング及び農業ビジネス戦略計画書を策定する教育プログラムを開発・展開した。この間、延べ 446 名が本スクールを受講し、延べ 254 名に学校教育法第 105 条に基づき、履修証明書を交付した。また、評価委員会で合格とされた 133 名には、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与している。

##### (イ) 新体制での取組(平成 25～27 年度)

前年度までで社会人再教育としての所期の目的が達成され、文部科学省の事業として岩手大学における取組を終了することとした。一方、農業における先導的な経営体育成に向けて岩手県や農業団体より強い継続要望があり、予算を含めた県・農業団体・岩手大学 3 者の連携によって農業者教育を続けることとした。

平成 25 年 4 月 23 日には、岩手県農林水産部長、岩手県農業協同組合中央会常務理事及び岩手大学農学部長の 3 者による「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」を新設して開講式に臨んだ。

本スクールから、岩手県内の認定農業者、農業経営者、農業後継者及び農業従事者等を対象として岩手大学が開発した教育プログラムに基づく教育を展開することとした。また、所定の条件を満たした修了者にはこれまでと同様に学校教育法に基づいて履修証明書を交付し、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与した。平成 25～27 年度の受講者は 89 名で、履修証明書は 66 名に交付、「アグリ管理士」の資格は 61 名に授与された。

##### (ウ) 平成 28 年度のカリキュラム等の再編と令和 6 年度の事業内容

岩手県及び岩手大学の長期計画等の見直しを機に、平成 28 年度より過去 3 カ年の実施状況を踏まえ、主に募集対象者や科目構成について大きく見直した。受講対象にはこれまでの認定農業者等に加えて、6 次産業に取り組む者、農村地域活動に携わる者を募集することとし、定員も 30 名から 35 名に増員した。カリキュラムとしては、従来の農業経営科目群に、6 次産業化科目群及び農村地域活動科目群を新設した。修了者の履修証明書交付やアグリ管理士資格授与の手続きは従来と同じである。

令和 6 年度はこれまでの事業内容を踏襲しながら、スマート技術に関する講義内容の充実を図るなどカリキュラムの見直しや、遠隔講義の一層の充実を図った。

平成 28～令和 6 年度の受講生は 275 名で、履修証明書は 235 名に交付され、「アグリ管理士」は 228 名に授与された。

#### イ 令和 6 年度の実施状況

- |          |  |
|----------|--|
| (ア) 開講式  | 令和 6 年 5 月 23 日 (火)                      |
| (イ) 開講期間 | 令和 6 年 5 月 23 日 (火) ～令和 6 年 1 月 24 日 (金) |
| (ウ) 修了式  | 令和 7 年 2 月 12 日 (水)                      |
| (エ) 入学者数 | 29 名                                     |
| (オ) 修了者数 | 25 名 (うちアグリ管理士資格授与者 25 名)                |

科目名			日数	時間数 (単位:h)	科目群		
					農業経営	6次産業化	農村地域活動
「経営管理」 科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3	○	○ 18時間 以上 ※1	○
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6	○		○
	人的資源・労務管理	講義	1	6	○		○
	経営成長・経営継承	講義	1	6	○		○
	農業経営戦略論	講義	1	6	○		○
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12	◎		◎
	農業簿記・経営診断演習	講義・演習	1	6	○	○	○
「戦略計画」 科目	農業経営戦略演習	演習	1	6	◎	◎	◎
	経営改善計画演習	演習	1	6	◎	◎	—
	農業・食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12	◎	◎	—
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	—	—	◎
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6	◎	◎	◎
「農業生産管理」 科目	土壌管理（土壌・肥料）	講義	1	6	○ 9時間 以上 ※1	○ 9時間 以上 ※1	○
	病虫害管理（防除・農薬）	講義	1	6			○
	農業生産の工程管理	講義	1	6			○
	農業機械	講義・演習	0.5	3			○
「6次産業化推進」 科目	鮮度保持・流通技術	講義	1	6	○ 12時間 以上 ※1	○ ○ ○ ○	○
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			○
	地域資源活用論	講義	1	6			○
	食産業ビジネス論	講義	1	6			○
「農業農村 マネジメント」 科目	地域担い手形成論	講義	1	6	○ 12時間 以上 ※1	○ 9時間 以上 ※1	○
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6			○
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6			○
	都市農村交流論	講義	1	6			○
	地域活性化論	講義・演習	2	12			◎
「マーケティング」 科目	食の安全管理	講義	1	6	○	○	○
	商品開発	講義	0.5	3	○	○	○
	デザインとブランド	講義・演習	1	6	○	○	○
	ネット&デジタル技術活用	講義	1	6	○	○	○
現地研修等	現場スタディ	現地研修	2	12	○	○	○
	マーケティング改善演習※2	演習・現地研修	2	12	○	○	○
	農業技術先進地研修※2	現地研修	2	12	○	○	○
	6次産業関連現地研修※2	現地研修	2	12	○	○	○
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6	○	○	○
	インターンシップ【選択科目】	現地研修	1	6	※○	※○	—
受講可能時間数：225時間、修了にかかる必須時間数：120時間（必修科目含む） ※1：記載の単位数以上受講することが望ましい ※2：インターンシップを行う者は※2の科目のいずれかと振替可能 対面とリモートのハイブリット型の講義（7～10講義程度）を予定							

## (2) AFR（岩手農林研究協議会）

AFRは、岩手県農林研究協議会の略称で、平成10年3月に高橋壯学部長（当時）の提唱で、岩手県内の農林科学技術や研究開発に係わる関係者（県農業研究センター、県林業技術センター、県工業技術センター等の県関係試験研究機関、農林業関係民間企業及び岩手大学地域共同研究センター、岩手大学農学部の関係者）が連携して共同研究等の推進を図り、地域の農林業の振興発展に寄与するために発足、令和6年現在、構成機関は、岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手生物工学研究センター、東北農業研究センター、森林総合研究所東北支所の6公所で、「岩手育種談話会」、「木勉会（木を勉強する会）」など6の研究会が多方面にわたり産官学の共同研究を展開している。

AFRの研究会一覧

【令和6年3月現在】

分類	名称	代表者	目的
農	岩手育種談話会	畠山勝徳（岩大農）	岩手県の植物育種に関する事業、研究等を行っている関係者間の研究交流、情報交換を目的とする。
	りんどう研究会	高畑義人（岩大名誉教授）	りんどうの分子生物学的及び細胞生物学的手法を用いて研究している研究者・技術者及び交配種法等従来技術を用いて品種育種している個人育種家等の相互の情報交換を促進し、もって関連領域の研究活動を活性化し、地域におけるりんどうの振興に寄与するとともに会員相互の学術交流を図ることを目的とする。
業	イワテヤマナシ研究会	片山宏則 （神戸大学大学院農学研究科）	岩手県の宝であるイワテヤマナシ（ミチノクナシ）を遺伝資源として蘇らせ、新たな利用方法を開発し、地域振興への活用を図り、次の世代に引き継ぐことを目的とする。
	岩手野菜研究談話会	金澤俊成（岩大教育）	本会は、岩手県内で研究を行っている野菜関係の研究者が、各自の研究や岩手県内の野菜等について、自由な立場で意見交換を行いながら、互いの研究を深め、岩手県や東北の野菜振興について話し合うことを目的とする。

分類	名称	代表者	目的
林業	岩手・木質バイオマス研究会	伊藤幸男（岩大農）	この研究会は、木質バイオマス利用の普及を通じて、岩手の風土、地域性に根ざした循環型社会の形成に資することを目的とする。
	木勉会 （木を勉強する会）	関野 登（岩大農）	森林・林業・木材産業・建築といった川上から川下までの相互理解を深め、木材利用の活性化を、健全な森林の育成・保全・利用の活性化を通じて、森林の育成・保全・利用の一助となることを目的とする。

### 3. 受託研究員の受入

氏名	最終学歴		所属会社名 又は 機関名	研究題目	研究期間		受入 研究科・ 専攻等	指導教員	
	区分				開始	終了		職名	氏名
北村 洸人	C	令和4年度	岩手県食肉 衛生検査所	と畜場で散見される豚の敗血症 について	R6.8.1	R7.1.31	農学部共同獣 医学科	准教 授	山崎朗子

※区分=大学院博士「A」、大学院修士「B」、大学卒「C」、大学院入学資格者「D」、その他「E」

## VI 附属施設



# 1. 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

## 1-1. 地域フィールド総合科学分野（第一分野）

### (1) 概要、教育研究の内容

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター第1分野（農学部内）は、本センターの設置（2002. 4. 1、平14）に伴って設置された。

第1分野は、地域フィールド総合科学分野と称し、フィールドサイエンスに関する教育研究を企画立案し、農学部と地域社会との窓口（連携調整）の役割を担っている。また、地域の活動や課題を調査研究し、総合的フィールド科学教育、地域マネジメント、農畜林複合経営などの実践的な教育研究を行う。さらには、農学部からの協力教員の参加を得て、フィールド科学に関する情報の収集・発信、地域からの支援要請、依頼研究、共同研究を推進する。

### (2) 地域貢献

地域貢献事業は、職業的専門家（経営者・技術者等）、一般市民・児童生徒を対象に開催されている。職業的専門家が対象の事業には、獣医師対象の研修や森林・林業技術者のスキルアップを目指した研修などがある。一般市民・児童生徒が対象の事業では、中学生対象の森林学習やセンター産農林産物の直売などが行われている。

## 1-2. 持続型農業生産技術分野（第二分野、滝沢農場および御明神牧場）

### (1) 概要

持続型農業生産技術分野は、滝沢農場と御明神牧場から成り立っている。

#### ・滝沢農場（所在地：岩手県滝沢市菓子 1552、面積 44ha）

本農場は 1902（明 35）年に盛岡高等農林学校が創設されるに当たり、校舎敷地内（現上田キャンパス）に設置された附属実験農場が始まりである。その後の新制大学移行に伴い、大学の整備計画の進展と農業近代化に対応するため 1966（昭 41）年に農林省種畜牧場用地の一部所管換えを受け、滝沢農場が設立された。以後、1976（昭 51）年 3 月に農産製造実験実習棟が新築されたのを始め、温室、果樹収納貯蔵庫、短期学生宿舎が新設されるなど、施設・設備の整備が行われ現在に至っている。現在は作物および園芸の 2 部門を柱に、学生の実習教育や教員・大学院生等の研究に活用されている。

#### ・御明神牧場（所在地：岩手郡雫石町御明神大石野、54 ha）

本牧場は、1906（明 39）年に設置された盛岡高等農林学校附属経済農場に始まる。戦前には文部省第一拓殖訓練所が併設され、多くの若者が満蒙開拓の夢を抱いて現牧場用地の開墾を行った。大学移行後の農学部附属経済農場を経て 1984（昭 59）年に農学部附属御明神牧場と改称された。ここでは山麓高冷地の立地条件を活かし、家畜の飼養・繁殖管理と衛生、および飼料作物管理とサイレージ調製を中心に実習教育が行われてきた。2002（平 14）年 4 月に寒冷フィールドサイエンス教育研究センター御明神牧場に組織替えとなり、近年は、黒毛和種の優良系統を自家繁殖して繁殖育成に関する高度な研究が行われている。なお、御明神牧場は 2024（令 6）年 6 月 1 日に農学部附属畜産飼料総合教育研究センターへ組織替えとなった。

### (2) 教育研究の内容

実習教育の充実、卒業論文の指導、地域貢献を柱に、教育研究活動を展開している。学内において当分野が担当するのは、作物、園芸、畜産に関する基本技術についての体系的な実習教育である。また、盛岡大学・富士大学の实習や岩手県立盛岡みたく支援学校高等部・岩手大学教育学部附属特別支援学校の農業体験実習等を行っている。加えて、当分野のフィールドでは教育学部や理工学部も含めた多様な実習・実習が行われている。地域貢献では「いわてアグリフロンティアスクール、御明神牧場リカレント教育」などが行われている。

(3) 実習等

滝沢農場及び御明神牧場で実施する学生実習等は、次表のとおりである。

農場実習・牧場実習（学内向け）

学科・課程名等	科 目	単位数	2年		3年	全学	場 所
			前期	後期	前期	後期	
全学向け教養教育	地域クリエイト課題演習	2				3時間	一部を滝沢農場・御明神牧場で実施
植物生命科学科	農場実習Ⅰ	1	3時間				滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習Ⅰ	1	3時間				滝沢農場
植物生命科学科	農場実習Ⅱ	1		3時間			滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習Ⅱ	1		3時間			滝沢農場
植物生命科学科	農場特別実習	1			5日間		滝沢農場
食産業システム学 コース	農場特別実習	1			5日間		滝沢農場
教 育 学 部	栽培理論Ⅰ	2					一部を滝沢農場で実施
教 育 学 部	栽培理論Ⅱ	2					一部を滝沢農場で実施
動 物 科 学 科	牧場実習	1			3泊4日		御明神牧場

学部実習等への協力並びに施設の利用計画

学科・課程名等	科 目	前期	後期	摘 要
動 物 科 学 科	牧場実習	3年		一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験Ⅰ(動物行動学)		2年	一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験Ⅱ(動物繁殖学)	3年		一部を御明神牧場で実施
	人工授精師講習会実習		4年	一部を御明神牧場で実施
	林間放牧による野生動物との緩衝帯としての 里山機能の創出			延べ妊娠牛15頭の貸し出し
獣医学科	繁殖機能制御学実習	4年		一部を御明神牧場で実施
	産業動物臨床(応用編)	5年		一部を御明神牧場で実施
	大動物臨床実習基礎編	5年		実習牛(去勢)の貸し出し
	産業動物臨床実習(基礎編)		4年	一部を御明神牧場で実施
	動物衛生学実習		3年	一部を御明神牧場で実施
	獣医学概論	1年		実習牛(分娩観察)の貸し出し
	共同獣医学科基礎ゼミ	1年		一部を御明神牧場で実施
	直腸検査実習		5年	実習牛の貸し出し
	実習牛の飼養管理			年間を通して4頭程度の実習牛の飼養管理に協力

	研究羊の飼養管理			年間を通して13頭程度の研究羊の飼養管理に協力
東京農工大学 共同獣医学科	総合参加型臨床実習V、VI	5年		一部を御明神牧場で実施
学生支援課	特別支援学生による活動プログラム	特別支援 指定学生	特別支援 指定学生	特別支援指定学生、2名(全学、大学院)。上田下台圃場における、農作業体験、栽培体験

学外実習等への協力並びに施設の利用計画

学外機関名	科目	のべ人数	日時	摘 要
附属特別支援学校	実習	58	10月	滝沢農場で年間5回
みたけ支援学校	農場実習	105	5～10月	滝沢農場で年間7回
盛岡大学	生物学I	51	5月	一部滝沢農場で実施
富士大学	フィールドワークI	22	8月	一部御明神牧場、御明神演習林で実施
	フィールドワークII	27	7月	一部滝沢農場で実施
盛岡大学	地域食材資源論	20	10月	一部滝沢農場で実施
	生物学I	27	10月	一部滝沢農場で実施
滝沢第二小学校		249	5,10月	一部滝沢農場で実施
民間獣医師、畜産技術者外	リカレントプログラム	88	4-6月, 10月, 3月	御明神総合庁舎に宿泊しながら1, 2週間の研修を実施。
中央畜産会「牛獣医療実践セミナー」		11	8月	一部御明神牧場で実施
サイエンススクール		10	7,8月	実習牛の貸し出し

滝沢農場 開放事業等 (2024年度)

月日	部門	内容等	担当職員	劬敷	案内方法等
4月4日(木)	温室	花苗販売	5名	56名	ハガキ50枚で案内
7月11日(木)	果樹	ブルーベリー 摘み取り	全員	73名	学内メール、ハガキ100枚で案内、すべて予約制
7月17日(水)			全員	66名	
7月23日(火)			全員	72名	
7月26日(金)			全員	73名	
7月30日(火)			全員	59名	
8月6日(火)	果樹		5名	100名	学内メール、上田キャンパス(農場実習)
12月6日(金)	果樹	販売会 販売会	7名	120名	学内メール、上田地域町内会へのチラシによる案内 上田キャンパス(農場実習)
12月18日(水)	果樹		8名	130名	ハガキ100枚で案内
1月15日(水)	果樹	リンゴ販売会	8名	70名	12月18日来場者に案内

(4) 土地利用計画 (単位 a)

	滝沢農場	御明神牧場	合計
水田	544		544
畑作	71		71
牧草地	900	3,400	4,300
果樹園	430		430
蔬菜園	26		26
花卉	1		1
温室	4		4
野草地		400	400
小計	1,976	3,800	5,766
建物敷地, 防風林	1,805	1,552	3,357
総計	3,781	5,352	9,133

### (5) 家畜

家畜頭数（令和6年3月31日現在）

種 類	御明神牧場
成育肉牛	75 頭
育成肉牛	39 頭

### (6) 農畜産物売払高

令和6年度 部門別売払高	
部 門	売 払 高
稲 作	10,480 千円
畑 作	51 千円
果 樹	5,100 千円
蔬 菜	256 千円
花 卉	181 千円
農産製造物	972 千円
飼 養	16,635 千円
飼 料 作	0 千円
そ の 他	39 千円
合計	33,714 千円

## 1-3. 循環型森林管理技術分野（第二分野、御明神演習林、滝沢演習林、実験苗畑）

### (1) 概要

循環型森林管理技術分野のフィールドは、御明神演習林（岩手県岩手郡雫石町）、滝沢演習林（岩手県滝沢市）の2演習林と実験苗畑（岩手県盛岡市上田）から成っている。二つの演習林は比較的近距离にあるが、地形、地質、気象、植生など立地条件が異なった特徴をもっており、それぞれの対照的な立地特性を生かし、森林科学の基礎的研究や応用研究が行われている。また、学生の実験実習や卒論・修論研究の場として活用されているほか、動植物、地質、土壌などに関する自然研究や教育にも広く利用されている。

御明神演習林は、1905（明38）年12月農商務省から国有林の所管換えを受け、本学の前身盛岡高等農林学校附属演習林として設置された。1906（明39）年10月に設置された隣接する岩手大学農学部附属経済農場山林を併合し、現有面積は1,040.34haである。

滝沢演習林は、1913（大2）年3月農商務省から国有林の所管換えを受け設置された。1919（大8）年10月これに北接する国有林の所管換えを受け拡大したが、その後東北本線の線路変更による交換分合、四十四田ダム用地としての建設省への所管換えなどで、地積、形状に変動があり、現有面積は280.51haである。

実験苗畑は、盛岡高等農林学校創設とともに、キャンパス北辺に林学苗圃として設けられ、当初は林学実習場として広く保有していたが、その後大学の諸施設の建設に伴い、現在の下台地区に移転し、現有面積は6,080 m<sup>2</sup>である。

### (2) 教育研究の内容

演習林は農学部における森林に関する教育研究の場として、非常に重要な役割を果たしている。演習林を利用して行われている最近の研究テーマには以下のものがある。

森林科学科：「森林収穫技術の高度化」、「森林路網技術」、「広葉樹二次林構成樹種の生理特性と更新」、「ヒバ林の更新メカニズム」、「スギ人工林における光環境と光合成生産」、「林業用車輛の安定性」、「林業作業の労働負担」、「林業の労働形態」、「複層林地施業」、「ケヤキ林施業」、「斜面侵食と土砂流出」、「中小径広葉樹の材質と利用」、「木材の含有成分」、「GIS・GPS・RSによる森林管理技術」、「森林バイオマス利用と造成」、「森林環境教育」、「森林に対する市民の意識」

この他にも他大学、研究機関などから、林業に関する研究のみではなく広く自然研究にも利用されている。演習林はこれらの研究の場を提供して人的・物的に補助協力するのみではなく、共同研究や独自の基礎的、応用的な調査、研究を実施しており、教育面では、学生の実験実習の場として頻繁に活用されている。

農学部における主要な実習には以下のものがある。

森林科学基礎演習、森林測量学実習Ⅰ、森林利用学実習、森林計測学実習、森林造成学実習、砂防学実

習、樹木学実習、林業生産工学実習、野生動物管理学実習

全学部向けの実習としては、地域クリエイト課題演習が実施されている。

御明神演習林および滝沢演習林は、平成 28 年度から文部科学省の「教育関係共同利用拠点」に認定されており、これまで、鹿児島大学「温帯林概論」、岩手県立大学「専門演習入門」「地域環境調査実習 C」「基礎教養入門 II」「経済実習」、富士大学「フィールドワーク I」「フィールドワーク II」、盛岡大学「地域食材資源論」、実践女子大学、東京農業大学、立教大学、早稲田大学など幅広い学問領域で学ぶ他大学の実習に利用されている。加えて、全国の大学生を対象とした公開森林実習「森林管理実戦実習」「冷温帯林と持続的森林・林業」を実施している。

また、演習林を会場として林業技術者を対象としたフォレストテクニカルエクステンションや一般市民・児童・生徒を対象に森林教育を行うフィールドセミナーも開催されている。

### (3) 御明神演習林

#### 地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
1,040.3	265.8	229.9	6.9	263.1	248.4	1,014.1	26.2

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

#### 森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 $m^3$		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	276.8	116,373	2,813	119,186
天然林	727.7	92,583	70,224	162,807
無立木地, 他	35.8	45	28	73
計	1,040.3	209,001	73,065	282,066

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

### (4) 滝沢演習林

#### 地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
280.5	23.6	23.3	33.9	33.9	156.0	270.6	9.9

資料：滝沢演習林第 2 次森林管理計画書

#### 森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 $m^3$		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	112.2	61,870	2,363	64,234
天然林	157.4	36,681	14,916	51,596
無立木地, 他	10.9	—	—	—
計	280.5	98,551	17,279	115,830

資料：滝沢演習林第 2 次森林管理計画書

### (5) 林産物の販売 (令和 6 年度)

区 分	販 売 額	
素 材	御明神演習林	15,631 千円
	滝沢演習林	15,787 千円
	(小計)	31,418 千円
その他 (木工品)	御明神演習林	0 千円
	滝沢演習林	0 千円
	(小計)	0 千円
計	31,418 千円	

## 2. 附属畜産飼料総合教育研究センター (AFSeC)

### (1) 概要

畜産飼料総合教育研究センターは、我が国における畜産飼料の供給・流通に関する諸問題の抜本的な解決を目指し、1) 新しい飼料供給・流通モデルの開発、2) 雑穀などの新規飼料原料の活用、魚粉など既存飼料原料の品質改善を通じた新規畜産飼料の開発、及び3) 飼料給与法など家畜飼養に関する技術革新を通して我が国の食料安全保障に資することを目的とした畜産に関する教育・研究の拠点である。さらに、本学学生に対する実践的教育と畜産技術者・臨床獣医師に対するリカレント教育も行う。すなわち、畜産飼料・飼養技術に関する高度かつ総合的な教育・研究を実施するセンターとして、岩手大学農学部における繁殖・飼養・育種など家畜・家禽生産に関する教育・研究を行う動物科学科、産業動物獣医師を養成する共同獣医学科及び三陸の豊かな漁場を背景に震災復興に資する水産学の教育・研究を行う食料生産環境学科(水産システム学コース)においてそれぞれ独自に行なっている教育・研究を「畜産飼料・飼養技術と飼料の供給・流通システムの構築及びその実践的教育」として連携させる組織としての役割も有する。

### (2) 活動内容

#### ① AFSeC キックオフシンポジウム

開催日時：2024年12月18日（水）13：30～17：30

会場：岩手大学銀河ホール（岩手大学理工学部内）

共催：JST共創の場形成支援プログラム「いわて畜産テリトリー」・岩手県

講演内容：

気候変動に対応した東北地域向け牧草新品種と省力的な草地管理技術

東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 東山 雅一

『咲かないイネ』はWCS飼料稲品種になれるのか！

東京大学大学院 農学生命科学研究科 井澤 毅

岩手県畜産研究所における放牧利用技術に関する最近の研究成果

岩手県農業研究センター 畜産研究所 山口 直己

発育や泌乳ステージを考慮した牛飼料の考え方

明治飼糧 研究開発部 大坂 郁夫

パネルディスカッション（副センター長 平田統一）

#### ②共同授業の開催

科目名：データサイエンス実践基礎（NITコミュニケーションズとの共同開催）

講義期間：2024年11月8日-2025年2月17日（全14回）

講義概要：統計的データ分析から深層学習を用いたデータ分析に至るまで、AI・機械学習技術についての基礎的な講義と演習。講義前半では、機械学習に関する基本的な概念や分析手法、実践演習に必要な理論を学ぶ。講義後半は、小グループでデータ分析に取り組む。実データ、実課題を用いた演習など、社会での実例を題材として学ぶことで、適切なアルゴリズムや手法の選択、モデルの構築、学習からモデルの評価までデータサイエンスにおける実践的な力を養う。

受講者（人数）：動物科学3年生（4名）

大学院農学専攻動物科学コース1年生（8名）

特任研究員（1名）

### 3. 附属動物病院

#### (1) 概要

附属動物病院の前身である家畜病院は盛岡高等農林学校創立の翌年（1903年）に設置されて以来、既に100年以上の歴史を刻んでいる。戦前戦後長く使われてきた木造建物（1,485㎡）を経て、昭和46年には鉄筋コンクリート造りの本館（1,051㎡）が建造され、昭和53年に入院舎（100㎡）、59年に別棟（391㎡）が増築された。以来40年が経過して老朽化し、現在の獣医学教育病院の水準に合致する施設設備とはほど遠い状態が続いていた。この間、平成15年に呼称を動物病院に改め、診療体制の見直しを図ってきた。平成24年度からは本学と東京農工大学とで共同獣医学科を発足させ、双方の大学で獣医学教育を補完しながら、これまで以上に高度化させる体制となった。本学における臨床実習と診療の高度化を図るため、全学からの支援と文部科学省の補助金を使って、平成25年4月に伴侶動物診療棟（総面積1,922㎡）の新築工事が完成し、引き続き旧来の動物病院建物は産業動物診療施設に大改修された。

新築された伴侶動物病院棟は広い待合室、5つの診療室、処置室、犬猫別の入院室、陽圧手術室、各種検査室など高度獣医療を担うに相応しい施設となり、最新の医療機器が設置された。主な診療設備として、MRI診断装置、X線CT撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、超音波断層撮影装置、手術用X線透視装置、デジタル画像データ管理装置、内視鏡、腹腔鏡、硬性鏡、手術顕微鏡、血圧透析装置、ホルター心電計、全自動血液生化学測定装置、電解質・血液ガス分析装置、血球自動計数装置、伴侶動物集中治療用ケージ、麻酔機および麻酔監視装置などがある。平成30年度にはこれまで1室であった外科手術室に加え、施設の改修を行い第二手術室を設置した。令和元年度には、受付業務の簡素化を図り、紙媒体に頼らない診療記録の保存のために、院内ネットワークシステムを構築し電子カルテシステムを導入した。産業動物の臨床教育と研究には、産業動物診療施設を利用するほかに、7名乗りワゴン車、検査機器と冷蔵庫を装備した5名乗りワゴン車、家畜運搬車および自家発電機を搭載して全自動血液生化学測定装置、冷却遠心機、冷凍・冷蔵庫、純水製造装置、携帯用超音波診断装置などを装備した家畜検診車が稼働している。また、治療台、无影灯、顕微鏡、超音波断層撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、麻酔監視装置、血液生化学簡易測定装置、電解質分解装置、血球自動計測装置など一通りの診療機器を装備した犬猫用移動診療車は、東北各県の獣医師会と協定を締結し、災害発生時などに獣医師会に貸し出すなどして被災地域の診療に役立てている。

本学動物病院では産業動物と伴侶動物のバランスのとれた臨床教育をめざし、症例は犬猫だけではなく牛馬も多い。近年では人材は財産との考えから動物病院予算にて雇用するスタッフの充実を図り特任准教授1名、特任助教1名、更には研修医を3名雇用し診療スタッフの充実を図るとともに、動物看護師も9名雇用している。さらには産業動物診療を補助するスタッフとして農学部より技術職員を1名、さらに検査室の技術職員を2名派遣していただいている。この取り組みを通じて伴侶動物症例のみならず、牛の外来受診件数を増加させて学生実習に活用すると共に、キャンパス近隣に位置する農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、家畜改良センター岩手牧場、岩手県畜産研究所、小岩井農場技術研究センター、八幡平市繁殖育成センターなどとの協力で臨床実習牛を確保し、臨床教育や研究の充実を図っている。また、岩手県内の農業協同組合や農業共済組合と連携して家畜検診車を使って牛や馬の集団検診を実施している。伴侶動物診療棟の稼働を機に、平成25年から伴侶動物外来診療体制は、原則東北各県の開業獣医師からの紹介症例のみを診察する二次診療体制に移行して、地域の開業医師と連携を図っている。

(2) 診療状況

① 症例頭数及び収入 (令和6年度 単位: 頭、円)

	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
診療頭数	2,376	1,093	-	4,054	130	-	1	1	7,655
金額	144,055,160	39,287,600	-	10,321,998	2,325,969	-	12,250	33,020	196,035,997

② 学用症例頭数及びこれに要した診療費 (令和6年度 単位: 頭、円)

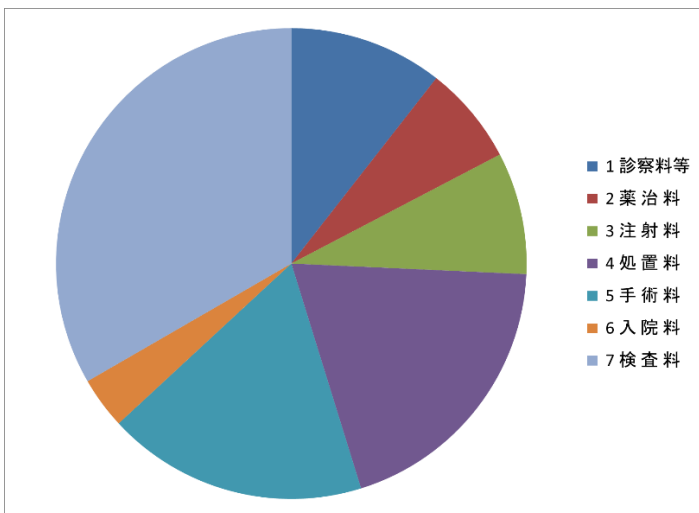
	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
学用頭数	-	6	-	-	50	-	-	-	56
金額	-	126,788	-	-	207,130	-	-	-	333,918

③ 診療収入の内訳

令和6年度(R6. 4. 1~R7. 3. 31 単位: 円)

診察科目	金額	割合
1 診察料等	20,711,647	10.6%
2 薬治料	13,275,210	6.8%
3 注射料	16,430,900	8.4%
4 処置料	38,210,170	19.5%
5 手術料	35,105,000	17.9%
6 入院料	6,960,200	3.6%
7 検査料	65,342,870	33.3%
総計	196,035,997	100.0%

④ 令和6年度動物病院収入内訳



### (3) 臨床教育の内容

動物病院では4年次、5年次学生に対し小動物内科学実習（基礎編&応用編）合計2単位、大動物内科学実習1単位、小動物外科学実習（基礎編&応用編）合計2単位、大動物外科学実習1単位、獣医臨床繁殖学実習1単位、獣医画像診断学実習1単位、総合参加型臨床実習（Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ）合計4単位の実習を履修させている。さらに、平成24年度より開始された東京農工大学との共同獣医学科における総合参加型臨床実習Ⅴ、Ⅵとして、平成28年度より東京農工大学に在籍する5年次学生に対して合計2単位の实習を岩手大学農学部附属動物病院にて履修させている。総合参加型臨床実習は伴侶動物と産業動物診療の総合的な臨床実習で、例年6月から12月初旬まで12週間にわたり火曜日と水曜日に5年次学生を班分けして、伴侶動物は院内にて外来診療動物を、産業動物は附属動物病院所属の獣医師に加え、近隣の獣医師を委嘱して牛の診療実習をさせている。総合診療実習の最終回には全員が担当症例をまとめた発表会を実施している。なお、岩手大学に所属する5年次学生は総合参加型臨床実習Ⅲ、Ⅳとして東京農工大学動物医療センター（東京都府中市）における臨床実習と本学での農工大教員による対面実習（合計2単位）の実習を履修している。

本年度発表会のプログラムは別表のとおりである。

日時：令和6年11月13日 午前10時30分開始  
場所：岩手大学教育学部 北棟ホール

令和6年度 フィールド実習症例報告会 プログラム

1. 開会・司会（一條 俊浩 産業動物診療科長）
2. 開会の挨拶（片山 泰章 動物病院院長）
3. 発表注意事項（発表時間5分、質疑応答3分）
4. 発表準備（座長、演者スタンバイ）

番号	名前	名前(カナ)	担当教員・獣医師	演 題	タイムスケジュール
座長：森田 智也先生					
1	伊藤 春奈	イトウ ハルナ	森田先生	犬の肺高血圧症	10:35~10:43
2	海上 晴香	ウナカミ ハルカ	宮本先生	犬の免疫介在性減少症	10:44~10:52
座長：藤原 玲奈先生					
3	上田 俊介	ウエダ シュンスケ	藤原先生	肺腫瘍を疑う犬	10:53~11:01
4	高橋 洗紀	タカハシ コウキ	宮本先生	手術後再発したイヌの多発性皮膚肥満細胞腫	11:02~11:10
座長：宮本 良先生					
5	菅原 悠矢	スガワラ ユウヤ	宮本先生	メラノーマのゴールデンレトリバー	11:11~11:19
6	廣岡 美紀	ヒロオカ ミキ	森田先生	犬の一次孔型心房中隔欠損	11:20~11:28
休憩 (10分)					
座長：中田 浩平先生					
7	林 秀雄	ハヤシ ヒデオ	山崎先生	ヨークシャー・テリアにおける蛋白漏出性腸症を疑う例	11:38~11:46
8	宮下 隼人	ミヤシタ シュント	森田先生	重度大動脈狭窄症の幼犬	11:47~11:55
座長：南雲 隆弘先生					
9	内田 貴子	ウチダ タカコ	山崎先生・宮本先生	腎性二次性上皮小体機能亢進症を併発した全身性エリテマトーデスの犬	11:56~12:04
10	水江 陽菜	ミズエ ヒナ	片山先生	猫の右後肢足根関節及び股関節脱臼	12:05~12:13
昼 食					
座長：木村 淳先生					
11	三上 大智	ミカミ ダイチ	宮崎先生	ホルスタイン種育成牛の肺炎	13:30~13:38
12	瀬川 凛	セガワ リン	高島先生・木村先生	黒毛和種子牛の大腸骨髄部横骨折	13:39~13:47
座長：土谷 佳之先生					
13	風間 達哉	カザマ タツヤ	尾形先生・土谷先生	黒毛和種子牛の母乳性白痢	13:48~13:56
14	市村 宏士	イチムラ ヒロシ	尾形先生・木村先生・土谷先生	骨融解を伴う慢性関節炎を呈した乳用子牛	13:57~14:05
座長：木南 藍子先生					
15	小山 志帆	オヤマ シホ	藤岡先生・木南先生	黒毛和種子牛の上腕骨骨折	14:06~14:14
16	堤 貴彦	ツツミ タカヒコ	高島先生	ホルスタイン種成乳牛における化膿性腎炎	14:15~14:23
17	福原 詩子	フクハラ ウタコ	植木先生	黒毛和種子牛における頭部腫瘍	14:24~14:32
休憩 (10分)					
座長：吉野 仁美先生					
18	久原 隼	クハラ リク	尾形先生・木南先生	ホルスタイン種子牛の大腸骨化膿性骨髄炎	14:42~14:50
19	濱野斗真	ハマノ トウマ	木南先生・土谷先生	ホルスタイン種子牛の中耳炎	14:51~14:59
座長：宮崎 珠子先生					
20	山田 雄大	ヤマダ ユウタ	尾形先生・木村先生	慢性的な下痢症を呈した子馬における馬回虫症	15:00~15:08
21	上原 菜	ウエハラ シオリ	宮崎先生	支柱肢跛行を呈したサラブレッド種の白帯病	15:09~15:17
座長：高橋 正弘先生					
22	羽柴 みさと	ハシバ ミサト	尾形先生・土谷先生	ダウンー症候群を疑うホルスタイン種乳牛	15:18~15:26
23	高橋 咲那	タカハシ サナ	木南先生・土谷先生	黒毛和種子牛の変形関節症	15:27~15:35
座長：金澤 朋美先生					
24	山田 朋世	ヤマダ トモヨ	宮崎先生・関先生	ホルスタイン種育成牛の慢性肺炎	15:36~15:44
25	高橋 悠人	タカハシ ユウト	田高先生	ホルスタイン種乳牛における卵胎嚢腫とその経過	15:45~15:53

5. 講評（片山 泰章 動物病院院長）
6. 閉会（一條）

16:00 終了

## 4. 附属植物園

### (1) 概要

附属植物園は、盛岡高等農林学校創設時（明治 35 年）、敷地東南部に設置され、数年後に現在の教育学部構内北部に移転した。昭和 49 年、大学整備拡充に伴い創立当時の植物園、樹木園、校舎敷地を合わせ現在地に再移転した。面積 49,500 m<sup>2</sup>、現在 137 科 530 属 800 種以上の木本・草本植物が生育している。本植物園は、植物学を基礎とする農業生命科学や森林科学など幅広い学問分野の研究教育に資するべく、国内外の植物の蒐集に努めるとともに自生種の保護管理に力を入れている。設置以来百年を経過し、都市域では稀少貴重な巨木の杜が各所に形成されている。四季を通じて様々な野鳥が訪れ昆虫相も豊富で、都市域の生物共生系モデルとして注目され、学内活用はもとより、広く学外にも解放され、地域の人々への環境教育の場ともなっている。藩政時代の武家屋敷の庭が忍ばれ、宮沢賢治ゆかりの数々の樹木や石川啄木の妻節子生誕地など盛岡に生きた人々の歴史が随所に残っている。

植物園内北側に建つ農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）は、平成 6 年国指定の重要文化財となった。平成 14 年には開学百周年を迎え、本学ゆかりのメタセコイヤの記念植樹がおこなわれ、賢治モニュメントが設置された。翌 15 年には、植物園内の旧高等農林時代の図書館を岩手大学ミュージアム本館として使用することとなり、報知板や案内板の新設・散策路の補修など多くの整備がなされた。

### (2) 主な構成

#### ① 自啓の森

旧盛岡高等農林学校学生寮“自啓寮”跡地に、岩手の山野に発達する自然林を模し、階層構造を組み込み、郷土森林生態観察モデル林として、昭和 60 年に造成されたアカマツ・コナラ群落、コナラ・クリ群落、ブナ・ミズナラ群落の 3 ブロックで構成され、一隅に“自啓寮跡”の記念碑が建つ。

#### ② 北水の池

岩手大学環境整備第Ⅲ期計画（昭和 55 年度実施）によって、「北水の池」、「水生植物展示圃」、「築山」が農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）の南東側に造成された。北水の池は昭和 55 年に「破碎転圧工法」（旧農業土木学科農地造成研究会の考案）で造成され、1,350 m<sup>2</sup>、水深 0.2~1.2m で、漏水がないことで評価された。池の余水は、水生植物展示圃に流れ込み、経由して東側の土水路に流下し、「湿地帯」へと導かれる。

#### ③ 水生植物展示圃

「自啓の森」が郷土の樹木をモチーフとしたのに対し、本造成では、水分環境傾度を軸とする、草本植物主体の一連の植物配置が計られた、さまざまな湿地条件がもたらす多様な生物層とともに、岩礫山体によって乾性基盤の立体景観をつくりだし、自然、生態系、そして水と緑の修景について、一体的に学べる空間をめざした。展示圃の総面積は 600 m<sup>2</sup>で、培土層の深さや水深を変えて、6つの区画が池東端の築山を囲むように並んでいる。本展示圃では、関係する学外の方々とも共同して、展示、試験を行っている。展示圃の区画配置は、0区（深水）、1区（中深水）、2区（浅水）、3区（中深水）、4区（深水）、5区（深水）となっている。

#### ④ 旧高等農林のガラス温室（森の駅ポランハウス）

農業教育資料館南のガラス温室は、大正 14 年に完成し、当時は東北一の規模を誇り、冬でもバナナ、パイナップル、ゴムなどの南洋植物が常緑葉を光らせ、学外からの参観が絶えなかった。長きにわたっての学内事業により改修・整備がなされ、「森の駅ポランハウス」として再スタートし、地域社会に向けた情報発信の場として、また教職員学生が取り組む環境教育や本学に集うものの交流の場として、よく利用されている。

#### ⑤ 宮澤賢治モニュメント

農業教育資料館南側のドイツトウヒのそばに設置されている。賢治の花巻農学校時代も終わりに近い大正 15 年、学校付近の畑で撮った写真がモチーフとなっており、帽子をかぶってうつむいている様はどこかベーターベンに似ている。

⑥ 旧第一学生寄宿舍前のヒノキ

賢治は、第一寄宿舍（南寮）の一室に居る頃、窓越しに見える若いヒノキを題材に「ひのきの歌」を詠んでいる。今やそのヒノキは、百年の星霜を刻む大成木となり、賢治の心を伝えている。

⑦ ポランの日時計

「ポランの広場」の一隅に設置されている。日時計と説明板は、宮澤賢治が愛用した楽器（チェロ）と譜面台の関係を模倣している。太陽による標柱の影を文字盤で読み時刻を計る。盛岡太陽時を基準として作られているため、常用時（明石）との時差として-25分と近似差による補正が必要である。

⑧ 旧第三教練跡地に立つメタセコイヤ

属名メタセコイヤ (*Metasequoia*) は、三木 茂（盛岡高等農林学校、大正 10 年卒業）により命名され世に知られるようになった、かつての学び舎第三教練地の跡地に、本種大成木が見下ろすように立っている。ラクウショウと並びたつ空間は見事な景観を形成している。

⑨ 旧上田新小路

植物園の中央、東西に小径が残る。この上田新小路一帯は、嘉永時代に新たに開かれた侍屋敷町である。当時、諸士の屋敷割り、間口 13 間、奥行 25 間、300 坪が基準となっていた。ちなみに石川啄木の妻節子は明治 19 年上田新小路に生まれ幼少期をここで過ごしている。

⑩ 目時のスギとヒバおよび山邊のマツ

南部藩の時代、家臣団の名門目時家の屋敷は、ヒバ（実はサワラ）やスギを生け垣にしていたようである。初代盛岡市長の目時敬之は本屋敷で生まれ、市長時代はしばしば全職員を招き会合が催された。

旧高等農林学校の通用門を入ってすぐ正面が山邊家の庭にあたる。やはり、当家の庭園は、侍屋敷が並ぶ一体で、ひと際みごとだったと見られる。マツはゴヨウマツ（別名ヒメコマツ）で老樹の伏臥姿はみごと、当時の侍屋敷の庭が偲ばれる。

(3) 園内概況

○珍しい植物

- ① 岩手県が南限分布地のもの：ヒメカユウ、アカエゾマツ
- ② 岩手県が北限分布地のもの：カヤ、モミ、ヒメクルミ、ミズメ、イヌシデ、ヤブサンザシ、ニガイチゴ、ヤマニガイチゴ、チドリノキ、オオバアサガラ
- ③ 岩手県が固有産地のもの：シダレカツラ、モリオカシダレ（サクラ）
- ④ 西日本が分布地のもの：ヤマコウバシ、ナツツバキ、アオギリ、モクゲンジ、アキニレなど
- ⑤ 外国産原種：チョウセンモミ、ブンゲンストウヒ、モンクナマツ、バンクスマツ、ストロープマツ、リキダマツ、メタセコイヤ、ラクウショウ、エンピツビャクシン、ニオイヒバ、コノテガシワ、カシグルミ、シナサワクルミ、オウシュウシラカンバ、オウシュウブナ、ユリノキ、アメリカスズカケノキ、エンジュ、シンジュ、コブカエデ、トリネコバノカエデ、サトウカエデ、ベニバナトチノキ、キュウエイ、セイコウシナノキ、チョウセンゴシュユ、サンシュユ、クロフネツツジ、アメリカトネリコ、ハナキササゲなど

○花

- 3月下旬 マンサク、ギンドロ、バッコウヤナギ、フクジュソウ、オオイヌノフグリ、ハコベなど
- 4月上旬 アセビ、レンギョウ、サンシュユ、ウメ、コウバイ、ヒョウガミズキ、アブラチャンなど
- 中旬 カツラ、シダレカツラ、コブシ、エゾムラサキツツジ、スイセンなど
- 下旬 エドヒガン、ソメイヨシノ、ミネザクラ、ドウダンツツジ、イタヤカエデ、チドリノキなど
- 5月上旬 ユキヤナギ、ボケ、ヤマブキ、ハクモクレン、シバザクラ、ヒメオドリコソウ、チューリップなど
- 中旬 ヤマツツジ、クロフネツツジ、モクレン、リキュウバイ、シロヤマブキ、キリなど
- 6月上旬 ボタン、ハナショウブ、カキツバタ、ヒトツバタゴ、ハクウンボク、ミズキなど

- 中旬 シャクヤク、ショウブ、ケアサガラ、エゴノキ、ユリノキ、ミヤコワスレ、フランスギク  
など
- 下旬 ハナキササゲ、イボタノキ、ナツハゼ、スイレン、サツキ、ニワフジ、ウメモドキ、シャ  
スターデージー、ムラサキツユクサ、セイヨウノコギリソウなど
- 7月 ナツツバキ、アジサイ、セイヨウシナノキ、ネムノキ、ムラサキシキブ、ノリウツギ、ジ  
ャノヒゲなど
- 8月 エンジュ、サルスベリ、ムクゲ、オオウバユリ、ヤブラン、ミズヒキ、オオハンゴンソウ  
など
- 9月 アキニレ、ヤマハギ、ミヤギノハギ、マルバハギ、ハナタデ、イヌタデなど
- 10月 ハナヅノツクバネウツギ、ノコンギク、ホトトギス、ミゾソバ、キクイモ、キンエノコロ、  
ハマギクなど

## 5. 附属農業教育資料館

### (1) 概要

岩手大学農学部附属農業教育資料館は、明治35年3月に我が国最初の高等農林学校として設置された盛岡高等農林学校の本館で、大正元年12月に竣工した。この旧本館は、青森ヒバを用いた明治後期を代表する木造二階建て総面積約1,007㎡の欧風建物で、他に便所や校舎との間をつなぐ渡り廊下が付属していた。当時一階は、校長室、事務室、会議室等として、また二階の大講堂（446.3㎡）は学内の諸儀式に使用されていたが、昭和24年、学制改革により岩手大学が設置されてからは、大学本部として一階は学長室、事務室などに利用されていた。昭和49年に大学本部が現在地に移転後、老朽化が激しくなったため、昭和52年11月に修復され、翌53年から岩手大学農学部附属農業教育資料館として活用されるようになった。農業教育資料館は、盛岡高等農林学校開校以来、今日の農学部に至る農業教育関係の資料および宮澤賢治在学中の資料を主に展示公開するとともに、二階講堂は学内の入学、卒業にかかわる諸儀式、ならびに学会、研修会、諸会議などに広く活用されてきた。その後、農業教育資料館は平成6年に再度大修復工事が行われ、装いも新たに再出発した。

この農業教育資料館（旧本館）は、明治期に設置された国立の専門学校の中心施設のうち、現存する数少ない遺構の一つであり、改造が少なく保存状態も良好で、我が国の学校建築の歴史を知る上で貴重な建物であることにより、平成6年7月2日、門番所と旧正門（土塁の一部を含む）を含め、重要文化財に指定された。

なお、平成24年4月23日～同年10月31日までを工期として、耐震化工事が行われ、ほぼ大正元年の竣工当時の姿に復元された。この工事に合わせて、展示資料の整理とリニューアルが行われ、平成25年5月31日には岩手大学農学部創立110周年記念式典が二階講堂にて举行された。

### (2) 展示資料

盛岡高等農林学校設立の経緯から現在までの歴史的な変遷、高農時代の実験器具類、当時の教官の研究業績関連資料の一部（鈴木梅太郎博士研究報告、大獄了博士遺品、内田繁太郎博士の笹標本）、その他初代玉利喜造校長、関豊太郎教授の冷害関係研究資料や後年の関教授の手帳、教材用剥製標本、図譜類、写真、学生のノート、組織標本の顕微鏡スケッチ、事務関係書類等の歴史的資料、卒業生著書、寄贈図書、専門図書の一部等を展示している。

宮澤賢治関係資料としては、在学当時の「校友会会報」、「注文の多い料理店」の原本、賢治および同級生らの卒業論文、「岩手県稗貫郡地質及び土性調査報告書」、「アザリア」（一部）、「雨ニモマケズ」、恩師関豊太郎教授宛「手紙」等の複写および賢治全集、学生時代の写真、関豊太郎教授の賢治追想の文、賢治在学時代の地質調査用具、岩石標本作製用器材、鉱物・岩石標本、賢治が高農時代に採取した岩石および盛岡周辺の探索マップ、賢治が作った顕微鏡用岩石薄片、その当時に使われた教材、賢治と小野寺伊勢之助教授に関する資料、その他賢治に師事した松田甚次郎関係の資料等を展示している。

### (3) 令和6年度入館者数

単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
256	704	415	486	325	560	445	342	89	74	149	276	4,121

(4) 農業資料館収蔵資料の他施設・団体への貸出実績

相手先	目的	貸出情報
国立科学博物館	企画展「高山植物～高嶺の花たちの多様性と生命のつながり～」	植物標本
長瀬町観光協会	「短歌と岩石で、長瀬・皆野・寄居の宮沢賢治の足跡をめぐるツアー」	岩石標本写真等
株式会社TBSスパークル	NHK Eテレ「偉人の年収How much?」	資料館外観
株式会社岩手めんこいテレビ	テレビ番組「サタデーファンキーズ」制作	資料館外観、内観、宮澤賢治関連資料撮影
外山御料牧場・開拓研究会	ホームページ「宮沢賢治と外山牧場」掲載	玉利喜造校長肖像写真
アートラブミュージック	ガイドブック「地球の歩き方 みちのく」掲載	資料館外観、内観
文京区立森鷗外記念館	特別展「111枚のはがきの世界—伝えた思い、伝わる魅力」	卒業生写真
令和6年度岩手県ヘリテージマネージャースキルアップ講習会	研修報告書に掲載および個人研究資料	資料館外観、内観
株式会社レマン	「大人の休日倶楽部」掲載	資料館外観
(株)NHKエデュケーショナル	放送大学「宮澤賢治と宇宙」DVD教材制作	「蛇紋岩」標本写真
明治図書出版株式会社	「よくわかる国語の学習」掲載	岩石標本写真
読売新聞	インタビューコーナー「あすへの考」取材(2025年1月26日掲載)	資料館内観

## 6. 附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

### (1) 概要

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）は、健康な家畜の生産から加工、流通を経て食卓に至るまで、いわゆる「Farm to Table」で食の安全・安心に関する科学を学際的・横断的に希求し、その成果を地域と世界に発信する拠点として、平成18年4月1日に設置された。FAMSは現在4つの部門：企画調整部門、食の安全部門、動物生産部門および環境放射線衛生学部門で構成され、食の安全に関する分野横断的な卒後教育の提供、食品に関する地域密着型・問題解決型の研究推進、農場の衛生管理の向上に対する支援等に取り組んでいる。この中でも特に卒後教育には力を入れており、分野を問わず食に関わる人を対象にした全体研修会のほか、各分野の人を対象にした部門別研修会を、企画調整部門を除く各部門で開催している。

近年、食の安全確保においてHACCP（Hazard Analysis and Critical Control Points）やGAP（Good Agricultural Practice）方式が国際標準となり、食に関する事業者はその導入が求められている。FAMSでは東北地域の関係団体とともに「東北農場HACCP研究会」を設立し、農場におけるHACCP導入に対する普及支援活動も行っている他、東京大学、東北大学、大阪公立大学、神戸大学、および宮崎大学の食に関する各センターと連携した活動にも取り組んでいる。

### (2) 活動内容

#### ① FAMS 事業推進委員会

動物医学食品安全教育研究センター(FAMS)の運営方針や事業内容について、大学外の行政 機関・民間企業等と意見交換をする目的で設置された委員会である。

- ・開催日：令和6年7月11日(木)
- ・参加者：FAMS 事業推進委員 19名

#### ② 卒後教育活動

##### 1) 全体研修会

第21回FAMS全体研修会

- ・テーマ：「今改めて考える「食品の安全性評価と安全確保」」
- ・開催日：令和6年9月17日(火)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館ぼらんホール
- ・参加者：34名

##### 2) 部門別研修会

(ア) 食の安全部門研修会 および JRA 畜産振興事業にかかる研修会

プログラム：「Droplet Digital PCR テクニカルセミナー

～バイオラッドが提供するアプリケーション紹介～

- ・開催日：令和6年8月30日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館遠隔講義室スペースCおよびMicrosoft Teamsによるオンライン同時開催
- ・参加者：45名

(イ) JRA 畜産振興事業 シンポジウム

- ・テーマ：「東北から発信する牛伝染性リンパ腫清浄化対策の最前線  
～あと一步、地域で取り組む清浄化対策～」
- ・開催日：令和7年2月28日(金)
- ・場 所：仙台国際センター会議棟3階白樫一体

- ・参加者：80名

### ③ 地域連携活動

#### 1) 第11回 東北農場 HACCP 研究会

- ・開催日：令和7年3月15日(土)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館2階ぼらんホール
- ・参加者：20名

#### 2) 家畜の病態解析に関わる農業共済組合（NOSAI）とのネットワーク構築

今年度は牛14頭（黒毛和種8頭、ホルスタイン種6頭）を病理学的に解析した。学術的に特筆すべき症例は少なく、関節炎や陳旧性骨折や臍動脈炎など臨床診断を確認する事例が多かった。

### ④ FAMS 共催・協賛事業

#### 1) 6大学共同開催フォーラム

- ・テーマ：「食の安全安心の航路を拓く from individual to global health」
- ・開催日：令和6年11月28日(木)
- ・場 所：神戸大学瀧川記念学会館2階大会議室
- ・主 催：神戸大学大学院農学研究科食の安全・安心科学センター、東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター、岩手大学動物医学食品安全教育研究センター、大阪公立大学食品安全科学研究センター、東北大学食と農免疫国際教育研究センター、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター
- ・参加者：30名(学内参加者3名)

#### 2) 令和6年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター新入職員並びに若手研修会

- ・開催日：令和6年8月28日(水)～8月30日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部 動物病院等
- ・主 催：NOSA東北家畜臨床研修センター（事務局NOSAI岩手）
- ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター  
〃 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
- ・参加者：8名(NOSAI 宮城、NOSAI 秋田、NOSAI 山形、NOSAI 福島)

#### 3) 令和6年度岩手大学 FAMS・FCD「診療技術セミナー」NOSAI 東北中堅獣医師講習会

- ・開催日：令和6年11月27日(水)～11月29日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター(FAMS)、産業動物臨床・疾病制御教育研究センター(FCD)
- ・共 催：NOSAI東北家畜臨床研修センター 公益社団法人日本獣医師会
- ・参加者：5名(NOSAI山形、NOSAI福島、NOSAI岩手)

### ⑤ 研究活動

日本中央競馬会畜産振興事業「地域 BLV 検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」

- ・期 間：令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・研究代表：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・共同研究：宮城県農業共済組合、帝京科学大学

・研究分担：NOSAI 東北家畜臨床研修センター、農研機構 動物衛生研究部門、等

⑥ 成果発表会

FAMS 成果発表会および JRA 牛白血病対策セミナー

- ・開催日：令和7年2月18日(火)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館7番講義室(口頭発表)および遠隔講義室スペースC
- ・主 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター(FAMS)
- ・参加者：38名

⑦ 会議開催実績

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1) 運営委員会    | 2回          |
| 2) 企画調整部門会議 | 8回(メール会議含む) |

## 7. 附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）

### (1) 概要

岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（Farm Animal Clinical Skills and Disease Control Center; FCD）は、産業動物臨床教育と実践的な参加型臨床実習を行う拠点として産業動物臨床教育の向上を支援すること、並びに家畜疾病制御に係る教育研究体制を整備し、学部・大学院・卒後教育を行うとともに産業動物分野を支える獣医師人材を育成する拠点を構築することを目的とし、令和4年6月に設立された。FCDは3つの部門：企画調整部門、産業動物実習部門および感染症制御部門で構成され、主に以下の活動を行っている。

- ① 産業動物臨床に関する実践的参加型臨床実習の提供および卒後教育の提供
- ② 重要な家畜伝染病の制御・診断・予防法に関わる研究

### (2) 活動内容

#### ① 産業動物実習部門活動実績

##### 1) 産業動物参加型臨床実習

- ・開催日：令和6年6月24日（月）～7月5日（金）
- ・参加人数：東京農工大学共同獣医学科5年生37名

##### 2) 産業動物参加型臨床実習

- ・開催日：令和6年7月29日（月）～8月2日（金）
- ・参加人数：韓国 江原大学校 8名

##### 3) 産業動物参加型臨床実習

- ・開催日：令和6年8月19日（月）～8月23日（金）
- ・参加人数：東京大学 2名

##### 4) 家畜衛生対策推進協議会主催 産業動物臨床実習（牛獣医療実践セミナー）

- ・開催日：令和6年8月19日（月）～8月23日（金）
- ・参加人数：6大学9名

##### 5) 久慈市短角牛牧野検診実習

- ・開催日：令和6年8月8日（木）、27日（火）
- ・参加人数：延べ2名

##### 6) FCDセミナー「乳牛の未来：遺伝子改良を通じた生産性向上の可能性」

- ・開催日：令和7年2月27日（木）
- ・参加人数：24名

##### 7) リカレント教育セミナー

###### ア) 「蹄病」

- ・開催日：令和6年6月15日（土）
- ・講師：はさまキャトルクリニック 村山勇雄
- ・参加人数：獣医師30名 本学学生2名参加（協賛：むつの会）

###### イ) 「最新のOPU-IVF」

- ・開催日：令和6年9月7日（土）

- ・講 師：有限会社小比類巻家畜診療サービス 小比類巻正幸
- ・参加人数：獣医師 35 名（協賛：むつの会）

ウ) 「乾乳期の乳房炎対策の新技术とオルベシール情報提供」

- ・開 催 日：令和 6 年 11 月 16 日（土）
- ・講 師：ゾエティス・ジャパン株式会社
- ・参加人数：獣医師 29 名 本学学生 2 名参加（共催：動物病院セミナー）

エ) 「附属動物病院における臨床症例のまとめ」

- ・開 催 日：令和 7 年 3 月 29 日（土）
- ・講 師：岩手大学農学部 一條俊浩教授
- ・参加人数：獣医師 46 名 本学学生 4 名参加（協賛：むつの会）

## ② FCD 共催事業

1) 令和 6 年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター新人若手職員研修会

- ・開 催 日：令和 6 年 8 月 28 日（水）～8 月 30 日（金）
- ・会 場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主 催：NOSAI 東北家畜臨床研修センター（事務局 NOSAI 岩手）
- ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター  
       〃      ：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
- ・参加人数：8 名

2) 令和 6 年度岩手大学 FAMS・FCD 「診療技術セミナー」NOSAI 東北 中堅獣医師講習会

- ・開 催 日：令和 6 年 11 月 27 日（水）～11 月 29 日（金）
- ・会 場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主 催：NOSAI 東北家畜臨床研修センター（事務局 NOSAI 岩手）
- ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター  
       〃      ：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

3) 岩手大学公開講座「動物のお医者さんになるためには」  
 ～自然を守る獣医師編～野生動物や環境も診る獣医師～

- ・開 催 日：令和 7 年 3 月 13 日（木）
- ・会 場：岩手大学農学部 5 号館 ぼらんホール
- ・参加人数：：101 名（うち WEB65 名）

4) 第 11 回東北農場 HACCP 研究会

- ・開 催 日：令和 7 年 3 月 15 日（土）
- ・会 場：岩手大学農学部 5 号館 ぼらんホール
- ・参加人数：：20 名

## ③ 感染症制御部門活動実績

1) 八幡平市繁殖育成センターにおける BLV 検査への協力（継続事業）

- ・検査数：計 370 件

2) 外部機関からの病性鑑定受入

- ・病 理 解 剖：NOSAI および開業獣医師（牛 14 件、馬 2 件）、飼養展示施設（馬 1 件、山羊 1

件)、農場(鶏 4件)

- ・病理組織学的検査：NOSAI(牛3件、馬1件)、飼養展示施設(兔1件、鳥類2件)、保護施設(鳥類1件、コウモリ1件)
- ・寄生虫検査：農場(岩手県内羊10件、宮城県内羊30件)
- ・原虫検査：飼養展示施設(16件)、保護施設(1件)
- ・病原検索：飼養展示施設1件

### 3) 企業との共同研究

- ・新規：1件(寄生虫診断キット開発1件)
- ・継続：3件(産業動物臨床・病理1件、ウイルス病原診断1件、ウイルス血清診断1件)

### 4) Droplet Digital PCR テクニカルセミナー (FCD・FAMS 共同講習会)

- ・開催日：令和6年8月30日(金)
- ・会場：岩手大学農学部5号館 スペースC
- ・参加人数：45名

### 5) 岩手大学 FAMS 第21回全体研修会 今改めて考える「食品の安全性評価と安全確保」(FCD 共催)

- ・開催日：令和6年9月17日(火)
- ・会場：岩手大学農学部5号館 ぼらんホール
- ・参加人数：34名

### 6) 日本中央競馬会(JRA) 畜産振興事業シンポジウム

「東北から発信する牛伝染性リンパ腫清浄化対策の最前線 ～あと一步、地域で取り組む清浄化対策～」

- ・開催日：令和7年2月28日(金)
- ・会場：仙台国際センター会議棟3階 白樺一体
- ・参加人数：80名

## ④ FCD 後援事業

### 1) 令和6年度日本家畜臨床学会総会並びに第55回学術集会

- ・開催日：令和6年11月15日(金)～11月16日(土)
- ・参加人数：80名

### 2) 日本産業動物臨床学会 特別講演「北米で実施されている最新の乳牛繁殖プログラム」

- ・開催日：令和7年1月27日(月)
- ・講師：米国ウイスコンシン大学 Paul Fricke 教授
- ・参加人数：50名

### 3) 農場管理専門獣医師育成高度専門・実践研修会養豚コース

- ・開催日：令和7年3月17日(月)～19日(水)
- ・参加人数：5名

## ⑤ 会議開催実績

- 1) 運営委員会 4回(メール会議含む)
- 2) 企画調整部門会議 5回(メール会議含む)



## VII 事務組織等



## 1. 事務組織

事務長	櫻田 忠幸
学部運営グループ	
主査 (副事務長)	工藤 朗
主査	菅野 麻莉子
主査	山田 識子
主査	工藤 幸子
主任	五十嵐 麻依
主任	中澤 弘明
主任	小松 敬
事務職員 (再雇用)	清水 千香子
事務補佐員	藤原 こずえ
事務補佐員	姫野 志織
事務補佐員	佐藤 徳子
事務補佐員	民部 田良紗
臨時用務員	兼田 奈美子
臨時用務員	千田 優子
臨時用務員	鳴尾 順子
寒冷フィールドセンターグループ	
農学系専門員	安藤 範夫
事務職員 (再雇用)	長代 健児
事務職員 (再雇用)	小野寺 昭好
事務補佐員	宮野 朝子
事務補佐員	北垣 正子
臨時用務員	高橋 真由美
連合大学院グループ	
主査 (副事務長)	伊藤 真理子
主査	石井 敬之
主任	相川 和慶
主任	高橋 希里子
事務補佐員	大瀧 明子
地域連携推進室	
主任	上野 愛生
特任研究員	高橋 浩進
事務補佐員	岩間 愛美
事務補佐員	西川 由香
事務補佐員	山口 真喜子

※ 令和6年10月1日現在

## 2. 令和6年度予算関係

支出額

(単位：円)

区分	学部	附属寒冷フィールドサイ エンス教育研究センター	合計
運営費	115,794,309	65,482,895	181,277,204
外部資金	341,883,676	4,987,050	346,870,726
合計	457,677,985	70,469,945	528,147,930

※学部には畜産飼料総合教育研究センター分を含む。また連大分は含まない。

### 3. 職員の動向

#### (1) 教育職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
<b>【採用】</b>			
6. 4. 1	教授（食料生産環境学科）	下瀬 環	水産研究・教育機構水産資源研究所主任研究官
6. 7. 1	助教（共同獣医学科）	藤原 正俊	北海道釧路家畜保健衛生所危機管理主査
6. 7. 1	助教（共同獣医学科）	宮本 良	附属動物病院特任助教
6. 8. 1	助教（動物科学科）	斎藤 梨絵	埼玉大学大学院理工学研究科研究員
〃	教授（共同獣医学科）※クロスアポイントメント	猪熊 壽	東京大学大学院農学生命科学研究科教授 ※現職
6. 9. 1	准教授（食料生産環境学科）	荒木 笙子	東北大学大学院工学研究科助教
6.10. 1	准教授（森林科学科）	阪上 宏樹	九州大学大学院農学研究院助教
7. 3. 1	教授（食料生産環境学科）	中村 勝則	秋田県立大学生物資源科学部准教授
〃	助教（食料生産環境学科）	舛谷 悠祐	東北農業研究センターICT活用技術グループ研究員
<b>【昇任】</b>			
6. 5. 1	准教授（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）	渡邊 学	助教（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）
6. 6. 1	教授（森林科学科）	齋藤 仁志	准教授（森林科学科）
6.11. 1	教授（動物科学科）	村元 隆行	准教授（動物科学科）
6.12. 1	教授（植物生命科学科）	河村 幸男	准教授（植物生命科学科）
〃	教授（食料生産環境学科）	前田 武己	准教授（食料生産環境学科）
7. 2. 1	准教授（食料生産環境学科）	塚越 英晴	助教（食料生産環境学科）
<b>【退職】</b>			
6. 8. 31	退職	山崎 朗子	准教授（共同獣医学科）
7. 3. 31	定年退職	木村 賢一	教授（応用生物化学科）
〃	定年退職	一條 俊浩	教授（共同獣医学科）
〃	定年退職	落合 謙爾	教授（共同獣医学科）

## (2) 事務職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
<b>【配置換】</b>			
6. 4. 1	農学部事務長	櫻田 忠幸	法人運営部経理課長
〃	農学部学部運営グループ主査（副事務長）	工藤 朗	戦略企画・評価分析室戦略企画グループ主査（副課長）
〃	農学部農学系専門員	安藤 範夫	農学部事務長
〃	農学部学部運営グループ主査	山田 識子	法人運営部経理課調達グループ主査
〃	農学部連合大学院グループ主査	石井 敬之	農学部学部運営グループ主査
〃	農学部主任	五十嵐麻依	法人運営部総務広報課主任 [秘書室]
〃	学務部学務課専門教育グループ主査（副課長）	大森 弘光	農学部学部運営グループ主査（副事務長）
〃	法人運営部学術情報課図書館資料管理グループ主査（副課長）	黒澤 喜一	農学部寒冷フィールドセンターグループ主査（副事務長）
〃	法人運営部人事課給与・共済グループ主査（副課長）	普入 一恵	農学部学部運営グループ主査
〃	法人運営部学術情報課総務グループ主査	岩渕 多恵	農学部寒冷フィールドセンターグループ主査
〃	法人運営部人事課人事グループ主査	山根 康介	農学部連合大学院グループ主査
<b>【退職】</b>			
7. 3. 31	定年退職	安藤 範夫	農学部農学系専門員
〃	退職	長代 健児	農学部事務職員（再雇用）[滝沢農場]
〃	退職	小野寺昭好	農学部事務職員（再雇用）[御明神牧場]

(3) 技術職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【昇 任】 6. 4. 1	農学系技術部農学系第一技術室長	田口 芳彦	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門員
【退 職】 7. 3. 31	退職	千田 広幸	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術職員（再雇 用）

---

令和8年3月31日発行

発行 岩手大学農学部

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

TEL 019-621-6103

FAX 019-621-6107

発行責任者 岩手大学農学部長 小 出 章 二

---

*IWATE UNIVERSITY*

---

*FACULTY  
OF  
AGRICULTURE*